

令和 8 年 度

安城市の教育

安城市教育委員会

安 城 市 民 憲 章

(昭和47年制定)

わたくしたちは安城市民です。
わたくしたちの愛する安城を、いっそう魅力にみちた
生きがいのあるまちにするため、市民生活の心がまえとして、
この憲章を定めます。

わたくしたちは、

- *たがいに助け合い、住みよいまちをつくりましょう。
- *きまりを守り、良い習慣を育てましょう。
- *自然を愛し、きれいな水とみどりのまちをつくりましょう。
- *教養を高め、若い力を育てましょう。
- *健康で、明るく楽しい家庭をつくりましょう。

青少年をすこやかにはぐくむ都市宣言

(昭和57年6月8日)
議 決

あすの安城市を築く青少年が、豊かな情操と正しい社会性
を持ち、心身共にたくましく育つことは、市民すべての願い
である。

この願いを実現するため、市民ひとりひとりが姿勢を正し、
青少年をとりまく環境及び諸問題への関心と認識を深め、相
互の連帯を強めることによって、青少年が情熱と自覚と責任
を持って行動できるよう見守っていく必要がある。

ここに市民の総力を結集し、次代を担う青少年の健全育成
をめざし、安城市を「青少年をすこやかにはぐくむ都市」と
することを宣言する。

市 章



〔昭和35年に制定〕

安城の「安」を図
案化したもので、
下部を末広がり
にし発展を象徴、
丸く囲んだのは
円満・和を象
徴しています。

市 の 木
(クロマツ)



〔市民投票
昭和47年に制定〕

かつての安城ヶ原
は、小松の原野で
あり、現在の安城
の緑の主体となっ
ています。旧東海
道の松並木は、400
年の歴史を秘めて、
市の文化財に指定
されています。

市 の 花
(サルビア)



〔市民投票
昭和47年に制定〕

だれにでも作りや
すく、家庭や学校
の花壇に多く栽培
され市民に親しま
れています。夏か
ら秋にかけて燃え
るような赤い花を
つけ、躍進著しい
安城をしのばせま
す。

シンボルマーク



〔公募
平成4年に制定〕

安城の頭文字「A」
を図案化したもの
で、青と緑の2色。
未来に向かった大
空と大地をイメー
ジし、調和と力強
い発展を表現して
います。

はじめに

第9次安城市総合計画がスタートし、3年目となりました。

学校教育では、引き続き「学び合いやかかわり合いを重視した次世代を担う児童生徒の育成」「豊かな心やたくましい体の育成と健康教育の推進」「様々な支援を必要とする児童生徒へのきめ細やかな対応」「安全・安心・快適を重視した教育環境の充実」の4つを基本方針に掲げ、めざす姿の実現に向け取り組んでまいります。これまでの基本成果指標に示されている目標値について、現状を踏まえながら丁寧に検証していき、次なる課題を明確にし、成果を重視して計画を推進していきたいと考えております。そして、すべての子どもたちが自他の個性や生き方を認め、夢や希望をもって明るく元気に生きられるよう、2つの点において継続して充実を図ってまいります。

1点目は、「様々な支援を必要とする児童生徒へのきめ細やかな対応」です。本年度、社会福祉士を新たに3名増員し、計12名のSSW（スクールソーシャルワーカー）が市内の中学校区を担当しています。他機関との連携を図りながら、子どもたちの置かれたさまざまな環境に働きかけた支援を行ってまいります。また、新たに全中学校に校内教育支援センター支援員を配置したり、スクールアシスタント（児童生徒支援・介助員）を継続配置したりしてより一層充実した個への支援に向けた整備を進めています。

2点目は、「学び合いやかかわり合いを重視した次世代を担う児童生徒の育成」です。各学校では、総合的な学習の時間などで、持続可能な社会の実現に向けて、子どもたちが主体的に考え行動する実践が行われています。体験学習や問題解決学習を重視し、探究的な見方や考え方を働かせながら、よりよく問題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質や能力の育成に努めてまいります。また、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に積極的に取り組み、個別最適な学びと協働的な学びの往還を意識した教育活動を推進し、自ら学び続ける力の育成をめざしていきます。

「こどもまんなか社会」を実現するために、本市では「安城こども BOOSTERS」をキャッチコピーとして、様々な施策が進められています。昨年度より新たに、小学校2校と中学校1校で「コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動」が始まり、市内5校での実施となりました。地域と学校が連携・協働し、より多くの方々と手を携えて子どもの健やかな成長を支えていきます。

学校教育では、不易の部分大切にしながらも、変化に対応しながら、将来の安城市を担う子どもたちのさらなる成長を願い、着実な歩みを進めてまいります。そして、「地道ではあるが進取の精神に富んだ安城教育」を合言葉に、本市の特色を生かした教育施策をさらに推進していきます。

ここに「令和8年度版 安城市の教育」を刊行いたしました。この冊子を通じて安城教育に対する理解を深めていただくとともに、引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。

安城市教育委員会教育長 石川 良一

目 次

はじめに

I 安城市の概要	1
II 教育委員会	2
1 教育委員会委員	2
2 教育委員会の組織及び事務分掌	3
(1) 教育委員会の組織と職員数	3
(2) 事務分掌	4
3 教育費予算額等の推移	6
(1) 教育費当初予算額の推移	6
(2) 教育費決算額の推移	7
III 学校教育	8
1 学校教育の推進	8
(1) 教育実践の活動	8
(2) 教育センターの活動	18
2 児童生徒と教職員	21
(1) 幼小中学校児童生徒数	21
(2) 教職員数	23
(3) 中学卒業者の状況	24
(4) 児童生徒数推計	24
3 心身の健全育成活動	24
(1) 学校教育関係体育行事	24
(2) 学校保健	25
(3) 独立行政法人日本スポーツ振興センター	25
(4) 生徒指導推進の組織	25
4 野外教育活動	26
5 就学・奨学制度	27
(1) 奨学金制度	27
(2) 私立高等学校等授業料補助	27
(3) 就学援助	28
(4) 特別支援教育就学奨励	28
(5) 幼児教育無償化（私立幼稚園）	28
6 学校施設の設置状況	29
7 学校給食	30
(1) 学校給食の目標	30
(2) 学校給食の組織	30
(3) 調理場施設及び調理数	31
(4) 給食実施計画	31
(5) 食に関する指導	31
(6) 給食費の推移	32
(7) 給食内容	32
(8) アレルギー対応	32
(9) 小中学校児童生徒学校給食費 無償化事業について	32

IV 生涯学習	33
1 生涯学習	33
(1) 生涯学習の目標	33
(2) 青少年教育	33
(3) 社会教育施設・団体等	38
2 公民館	40
(1) 公民館組織	40
(2) 公民館事業	41
(3) 公民館等施設	45
(4) プラネタリウム	46
(5) 利用状況	47
3 市民会館	49
(1) 市民会館の概要	49
(2) 利用状況	49
4 図書情報館	50
(1) 図書情報館事業の目標	50
(2) アンフォーレ本館（図書情報館） の施設概要	50
(3) 蔵書冊数	51
(4) 登録者・来館者の状況	51
(5) 図書館事業の状況	52
5 歴史博物館	54
(1) 目標	54
(2) 館蔵資料	54
(3) 施設概要	55
(4) 利用状況	56
6 埋蔵文化財センター	57
(1) 概要	57
(2) 利用状況	57
7 市民ギャラリー	58
(1) 概要	58
(2) 利用状況	59
(3) 文化振興	60
8 丈山苑	63
(1) 概要	63
(2) 利用状況	63
9 文化財保護事業	65
(1) 目標	65
(2) 指定文化財	65
10 史料整理活用事業	66
(1) 調査・収集資料	66
(2) 教育普及活動	66
11 スポーツ	67
(1) スポーツ振興の基本方針	67
(2) 「する」スポーツの振興	67
(3) 「みる」スポーツの振興	71

(4)	「おしえる」スポーツの振興 ----	72
(5)	「ささえる」スポーツの振興 ----	72
(6)	スポーツ施設環境の整備 -----	73
(7)	スポーツ団体等の育成・支援 ----	74
(8)	東京2020オリンピック・ パラリンピック開催後における スポーツの振興 -----	75
(9)	体育施設 -----	77
(10)	利用状況 -----	79

付 録

1	歴代の委員 -----	81
2	教育委員会の沿革 -----	84
3	教育関係施設・休館日一覧 -----	92

I 安城市の概要

安城市役所の所在地	〒446-8501 愛知県安城市桜町18番23号 TEL <0566> 76-1111 (代表)
安城市の位置	東経 137° 04′ 北緯 34° 57′
安城市の面積	86.05km ² (南北13.7km、東西10.6km) 市街化区域 21.77km ² 調整区域 64.28km ²
市制施行	昭和27年5月5日 市域の変遷 町村合併 旧依佐美村の3町 昭和30年4月1日 旧明治村の6町 昭和30年4月1日 岡崎市の5町 昭和35年1月1日 旧桜井町の全町 昭和42年4月1日
安城市の気象	令和7年 平均気温 17.1℃ 最高気温 37.8℃ 最低気温 -2.9℃ 年間降水量 1083.5mm 昭和49年以降 (記録) 最高気温 40.0℃ (平成6年8月5日) 最低気温 -7.5℃ (昭和52年1月24日)

人口と世帯数

(各年度10月1日現在)

年 度	総 数	男	女	世帯数
令和2年度	190,155	97,477	92,678	76,868
令和3年度	189,543	97,134	92,409	77,360
令和4年度	188,999	96,876	92,123	78,014
令和5年度	188,456	96,391	92,065	78,680
令和6年度	187,867	96,196	91,671	79,692
令和7年度	187,609	96,024	91,585	80,712

産業と構造

区分		第1次	第2次	第3次	分類不能
就職人口	平成27年度 国勢調査	2,243人	38,343人	47,343人	4,550人
		2.43%	41.46%	51.19%	4.92%
	令和02年度 国勢調査	1,948人	36,861人	48,007人	2,607人
		2.18%	41.22%	53.68%	2.92%



Ⅱ 教育委員会

1 教育委員会委員



教 育 長
石 川 良 一



教育長職務代理者
加 藤 滋 伸



委 員
久 恒 美 香



委 員
深 津 敦 司



委 員
松 林 亜 紗 子

(令和8年4月1日現在)

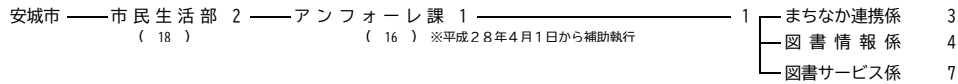
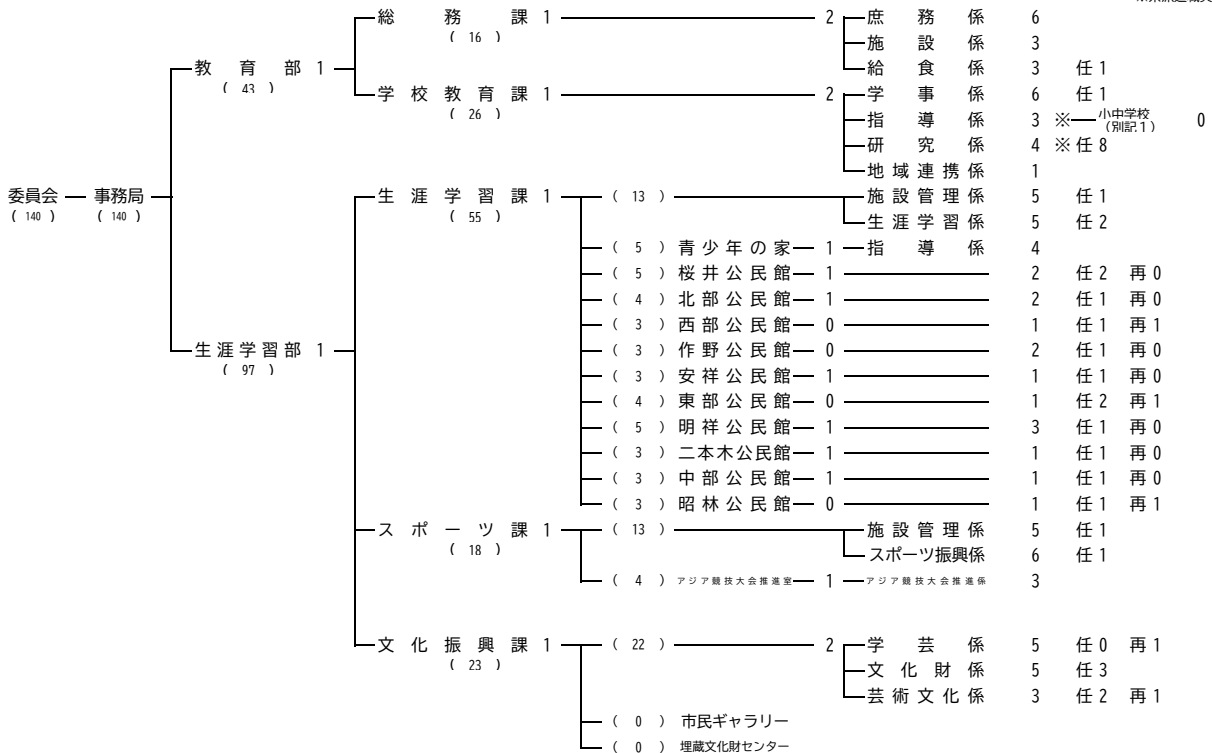
職 名	氏 名	委 員 の 任 期
教 育 長	い し かわ よ し か ず 石 川 良 一	(令和3年4月1日就任) 令和9年3月31日
教育長職務代理者	か とう し げ の ぶ 加 藤 滋 伸	(平成28年10月7日就任) 令和8年9月30日
委 員	ひ さ つ ね み か 久 恒 美 香	(令和元年10月1日就任) 令和9年9月30日
委 員	ふ か つ あ つ し 深 津 敦 司	(令和2年10月1日就任) 令和10年9月30日
委 員	ま つ ば や し あ さ こ 松 林 亜 紗 子	(令和7年10月1日就任) 令和11年9月30日

2 教育委員会の組織及び事務分掌

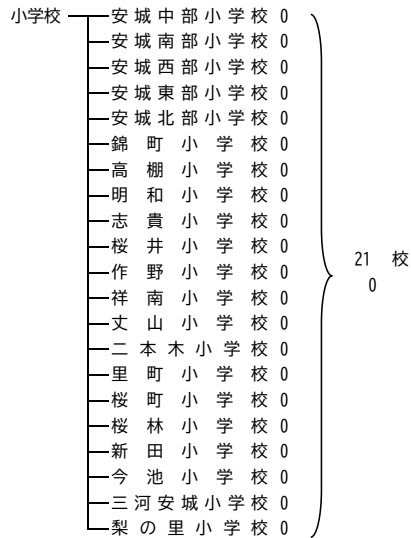
(1) 教育委員会の組織と職員数

(令和8年4月1日現在)

※県派遣職員含む



(別記1) 小中学校



(2) 事 務 分 掌

部	課 教育機関	係	事 務 分 掌
教 育 部	総務課	庶務係	(1)学校及び幼稚園の設置、管理及び廃止（幼稚園にあつては、設置に限る。）に関する事。 (2)職員の任免その他の人事に関する事。 (3)教育に係る調査及び基幹統計その他の統計に関する事。 (4)教育委員会の会議の庶務に関する事。 (5)教育委員会規則その他公表を要する規程の立案及び公布に関する事。 (6)公印の保管に関する事。 (7)学校の予算の執行管理に関する事。 (8)私立学校及び私立幼稚園の助成に関する事。 (9)教育行政に関する相談に関する事。 (10)教育センターの施設及び設備の管理に関する事。 (11)教育部内の調整に関する事。 (12)その他課内の調整及び課内他の係に属さない事。 (13)その他他の課に属さない事。
		施設係	(1)学校及び幼稚園の用地取得に関する事。 (2)学校の施設及び教具その他の設備の整備に関する事。 (3)学校の施設及び設備の国庫補助及び県費補助に関する事。 (4)学校の施設台帳及び財産台帳の整備に関する事。 (5)教育センターの施設及び設備の整備に関する事。
		給食係	(1)学校等の給食に関する事。 (2)給食用物資に関する事。 (3)学校給食共同調理場の施設及び設備の整備に関する事。 (4)その他学校給食に関する事。
	学校教育課	学事係	(1)安城市野外センターの設置、管理及び廃止に関する事。 (2)学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒及び児童の入学、転学及び退学に関する事。 (3)教科書その他の教材の取扱いに関する事。 (4)学校の環境衛生に関する事。 (5)学校医の委嘱及び報酬に関する事。 (6)要保護及び準要保護の生徒及び児童の就学援助並びに特別支援教育の生徒及び児童の就学奨励に関する事。 (7)その他課内の調整及び課内他の係に属さない事。
		指導係	(1)教職員の任免その他の人事の内申に関する事。 (2)学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導、進路指導及び職業指導に関する事。 (3)教職員その他教育関係職員の研修に関する事。 (4)教職員その他教育関係職員並びに生徒及び児童の保健、安全、厚生及び福利に関する事。 (5)教職員の服務の監督及び勤務成績の評定に関する事。 (6)その他学校教育の指導に関する事。
		研究係	(1)教育関係職員の研修に関する事。 (2)教育に関する専門的又は技術的事項の調査及び研究に関する事。 (3)教育に係る資料収集及び情報提供に関する事。 (4)教育相談事業に関する事。 (5)教育支援センターのうちふれあい学級北教室及びふれあい学級南教室の設備の管理及び整備に関する事。 (6)企画運営委員会に関する事。 (7)視聴覚機材及び教材の利用及び貸出しに関する事。 (8)視聴覚教材の制作に関する事。 (9)その他教育の振興に関する事。
		地域連携係	(1)学校運営協議会に関する事。 (2)地域学校協働活動に関する事。 (3)学校施設開放に関する事。
部	課 教育機関	係	事 務 分 掌
生涯学習部	生涯学習課	施設管理係	(1)中央公民館の施設及び設備の管理運営に関する事。 (2)公民館の連絡調整に関する事。 (3)生涯学習部内の調整に関する事。 (4)安祥閣及び市民会館に関する事。 (5)その他課内の調整及び課内他の係に属さない事。

部	課 教育機関	係	事 務 分 掌
生涯学習部	生涯学習課	生涯学習係	(1)生涯学習の計画及び振興に関すること。 (2)社会教育委員に関すること。 (3)中央公民館事業の運営に関すること。 (4)社会教育関係団体の指導育成に関すること。 (5)プラネタリウムの企画運営に関すること。 (6)ユネスコ活動に関すること。
	青少年の家	指導係	(1)青少年教育に関すること。 (2)子ども会等の少年団体の育成指導に関すること。 (3)ユースカレッジに関すること。 (4)青年教室及び青年学級に関すること。 (5)スカウト連絡協議会に関すること。 (6)青少年の家の施設及び設備の管理運営に関すること。
	青少年愛護センター		(1)青少年街頭指導に関すること。 (2)青少年相談に関すること。 (3)その他青少年の非行防止に関すること。
	公民館		(1)公民館事業の運営に関すること。 (2)図書館資料の利用に関すること。 (3)公民館の施設及び設備の管理運営に関すること。 (4)明祥福祉センターに関すること。
	スポーツ課	施設管理係	(1)体育施設の使用許可に関すること。 (2)体育施設の施設及び設備の管理運営に関すること。 (3)その他課内の調整及び課内他の係に属さないこと。
		スポーツ振興係	(1)スポーツ推進委員及び体育関係団体の指導育成に関すること。 (2)自主体育事業の企画及び運営に関すること。 (3)その他スポーツ振興に関すること。
		アジア競技大会推進係	(1)アジア競技大会に関すること。
	文化振興課	学芸係	(1)博物館、市民ギャラリー、埋蔵文化財センター、安祥城址公園及び丈山苑の施設及び設備の管理運営に関すること。 (2)博物館、市民ギャラリー、埋蔵文化財センター及び丈山苑の総合調整に関すること。 (3)博物館事業の企画及び実施並びに博物館資料の研究に関すること。 (4)学校その他の教育機関との協力及びその活動の援助に関すること。 (5)その他課内の調整及び課内他の係に属さないこと。
		文化財係	(1)文化財の調査及び保護に関すること。 (2)文化財に関する学習、研修等の企画及び実施に関すること。 (3)歴史資料の調査、収集、整理、保管及び供用に関すること。 (4)埋蔵文化財センターの事業の企画及び実施並びに埋蔵文化財に関すること。
		芸術文化係	(1)文化芸術の振興に関すること。 (2)文化鑑賞事業及び美術展事業に関すること。 (3)市民ギャラリー事業に関すること。
部	課 教育機関	係	事 務 分 掌
市民生活部	アンフォーレ課	まちなか連携係	(1)中心市街地拠点施設に関すること。 (2)中心市街地拠点施設によるまちなかの交流・賑わい創出に関すること。 (3)アンフォーレ運営の企画調整に関すること。 (4)新美南吉を活用したまちづくりの推進に関すること。 (5)その他課内の調整及び課内他の係に属さないこと。
		図書情報係	(1)図書館運営の企画調整に関すること。 (2)安城市図書館協議会に関すること。 (3)図書館の情報発信に関すること。 (4)図書情報機器の管理及び利活用に関すること。 (5)図書情報館内の連絡調整に関すること。
		図書サービス係	(1)図書館資料の収集、整理、保存及び利用に関すること。 (2)読書活動の奨励に関すること。 (3)レファレンス業務に関すること。 (4)図書館行事の企画調整に関すること。 (5)その他図書館奉仕に関すること。

※ 図書情報係、図書サービス係の事務については、教育委員会の権限に属する事務。
(地方自治法第180条の7に基づく補助執行)

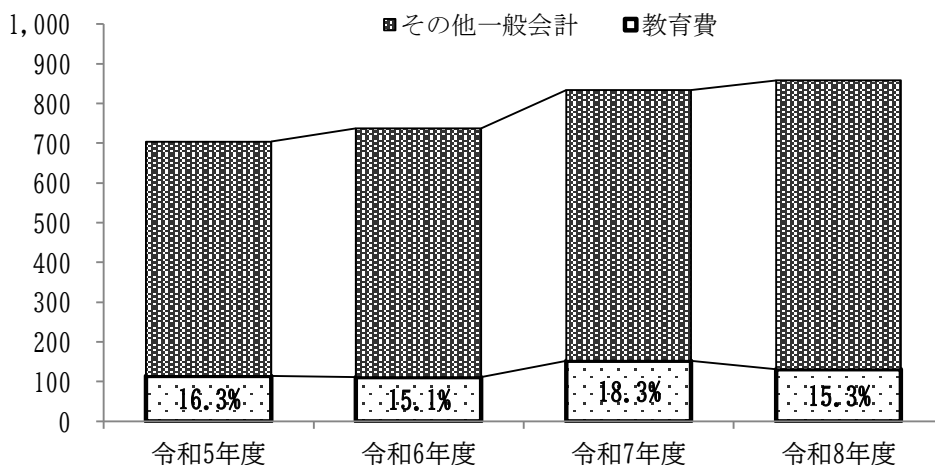
3 教育費予算額等の推移

(1) 教育費当初予算額の推移

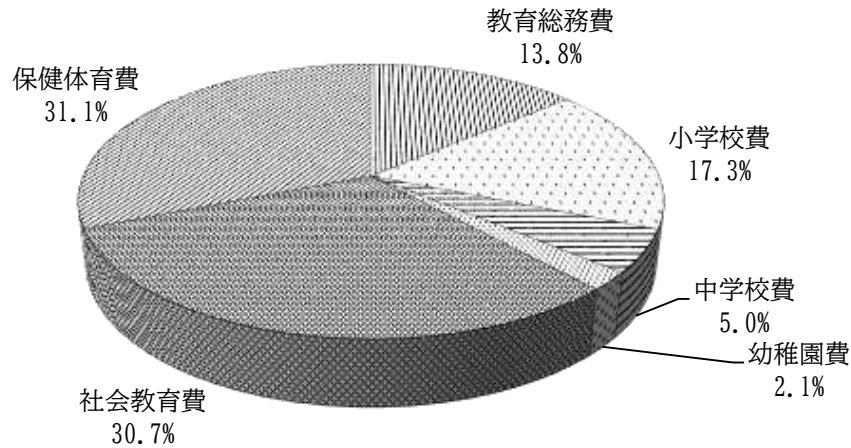
単位：千円

年度	区分	一般会計 予算額	教育費 予算額	一般会計中 教育費の割合 %	科目	予算額	教育費 構成比 %
令和5年度		70,420,000	11,508,692	16.3	教育総務費	1,151,461	10.0
					小学校費	2,748,290	23.9
					中学校費	1,213,397	10.5
					幼稚園費	373,700	3.2
					社会教育費	2,151,281	18.7
					保健体育費	3,870,563	33.6
令和6年度		73,690,000	11,142,313	15.1	教育総務費	1,407,939	12.6
					小学校費	1,825,809	16.4
					中学校費	1,270,687	11.4
					幼稚園費	357,500	3.2
					社会教育費	2,502,279	22.5
					保健体育費	3,778,099	33.9
令和7年度		83,360,000	15,234,503	18.3	教育総務費	1,880,189	12.3
					小学校費	2,229,659	14.6
					中学校費	3,009,966	19.8
					幼稚園費	325,500	2.1
					社会教育費	2,857,235	18.8
					保健体育費	4,931,954	32.4
令和8年度		85,780,000	13,105,982	15.3	教育総務費	1,807,898	13.8
					小学校費	2,269,363	17.3
					中学校費	650,690	5.0
					幼稚園費	280,500	2.1
					社会教育費	4,026,479	30.7
					保健体育費	4,071,052	31.1

単位（億円）



令和8年度教育費当初予算額の構成



(2) 教育費決算額の推移

単位：千円

年度	区分	一般会計 決算額	教育費 決算額	一般会計中 教育費の割合 %	科目	決算額	教育費 構成比 %
令和4年度		72,199,200	9,788,946	13.6	教育総務費	1,133,936	11.6
					小学校費	2,101,646	21.5
					中学校費	866,693	8.9
					幼稚園費	364,015	3.7
					社会教育費	2,142,841	21.9
					保健体育費	3,179,812	32.5
令和5年度		69,591,201	10,095,684	14.5	教育総務費	1,161,453	11.5
					小学校費	2,183,518	21.6
					中学校費	944,032	9.4
					幼稚園費	326,479	3.2
					社会教育費	1,944,761	19.3
					保健体育費	3,535,439	35.0
令和6年度		79,761,992	10,649,970	13.4	教育総務費	1,345,428	12.6
					小学校費	1,599,487	15.0
					中学校費	1,082,239	10.2
					幼稚園費	291,186	2.7
					社会教育費	2,312,909	21.7
					保健体育費	4,019,718	37.7
令和7年度		82,940,202	14,342,579	17.3	教育総務費	1,736,910	12.1
					小学校費	2,112,692	14.7
					中学校費	2,622,512	18.3
					幼稚園費	259,920	1.8
					社会教育費	2,748,805	19.2
					保健体育費	4,861,739	33.9

Ⅲ 学校教育

1 学校教育の推進

(1) 教育実践の活動

ア 学校教育の重点指導項目

- (ア)人としての多様なありかたや生き方を考える教育を推進し、かけがえのない自己の健康と命の大切さを実感し、自他の個性や生き方を認め、夢や希望をもって明るく元気に生きる力としなやかで折れない心を育てる。
- (イ)個別最適な学びと協働的な学び（学び合い）の往還を意識した「主体的・対話的で深い学び」を通して、生涯にわたって自ら学び続ける力を育てる。
- (ウ)一人一人を大切に、家庭や地域社会、関係機関等と連携・協働しながら、きめ細やかで適切な指導・支援を行い、自己の可能性を伸ばす力を育てる。

イ 具体的な指導事項

(ア)学校経営

- a 児童生徒一人一人に居場所があり、一人一人を大切にする学校づくりをすすめる。
- b 学校教育目標の実現に向けて、全教職員の共通理解と協働体制を確立し、学習者主体の視点を意識しながら、情熱と活力と創意によって指導の充実を図る。
- c 児童生徒の実態や保護者・地域の願いをふまえた、社会に開かれた特色ある教育課程を編成する。児童生徒がどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるかを明確にしながら、その実現を図る。
- d 責任体制を明確にし、各校のグランドデザインに基づき、個々の業務の効率化を図りながら、具体的活動を通して職責が遂行できるように努める。
- e 学校生活全般にわたる安全点検を常時行い、施設・設備の整備に努めるとともに、防犯・防災体制の充実と安全意識の高揚を図る。
- f 教育におけるICT化に対応し、情報の収集・活用に努めるとともに、個人情報の保護及び情報公開制度の趣旨を正しく受け止め、情報及び機器の管理の徹底を図る。
- g 幼保小や小中間の連携を図り、継続した支援ができる体制づくりの充実に努める。
- h 学校経営に対する説明責任を自覚して、適切な情報提供や情報発信に努めるとともに、学校評価（自己評価・学校関係者評価）を充実させ、教育活動の改善を図る。
- i 児童生徒や保護者、地域からの期待に応え、教職員が信頼されるように努める。

(イ)教科・学習指導

- a 発達段階に応じて、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。
- b 指導目的を明確にし、主体的・対話的で深い学びを生み出す指導内容や指導方法・指導時間の工夫改善に努める。
- c SDGsとの関連も含めた体験学習や問題解決学習を重視し、自ら学び、自ら考える力の育成に努める。
- d 各教科の特質に応じた言語活動の充実に努めるとともに、学び合いにより自分の考えをまとめたり、話したりする活動を取り入れるなどの学習活動の充実を図る。
- e 学習指導要領に則した指導、指導と評価の一体化及び「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を明確にした授業づくりを研究し、その実践に努める。
- f 児童生徒一人一人の理解の状況や習熟の程度などに応じたきめ細やかな指導の充実を図るとともに、家庭と連携して学習習慣の確立に努める。
- g 学習の中で自他の存在や生き方を認めたり、認められたりする喜びを味わわせるなど、学習指導と生徒指導の一体化を図る。

(ウ)道徳教育・特別の教科道徳

- a 命を大切に、人を思いやる心を育むため、人間尊重の基盤に立った道徳教育を展開

し、心のふれあいや豊かな体験活動の充実を図る。

- b 道徳教育推進教師が中心となり、道徳教育の全体計画及び別葉を作成し、全教師が一貫性のある道徳教育を組織的に展開できるように指導体制の充実を図る。
- c 家庭や地域社会との連携による開かれた道徳教育の推進を図り、地域ぐるみで児童生徒の道徳性の育成に努める。
- d 魅力的な教材の開発を含め、よりよい資料の収集と指導方法の工夫改善に努める。
- e 自ら考え判断して、責任ある行動がとれるよう、多面的・多角的に考えたり、議論したりする「考え、議論する道徳」のあり方を研究する。
- f 児童生徒の人間的な成長を見守り、よりよく生きようとする努力を認め、勇気付ける評価のあり方を工夫する。

(エ)総合的な学習の時間

- a ねらいや育てたい力を明確にした題材を用いて全体・年間指導計画を作成し、探究的な見方・考え方を働かせながら、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質や能力を育成する。
- b カリキュラム・マネジメントの充実により横断的・総合的な学習、探究的な学習を展開し、解決に必要な知識・技能を身に付け、その有用性を実感できるようにする。
- c 地域の人・もの・こととのつながりを大切にし、保護者や地域の人々、専門家などと交流して、SDGsとの関連も含めた体験的な学びの実現に努める。

(オ)特別活動

- a 望ましい集団活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度の育成に努める。
- b 活動・体験のねらいを明確にした全体計画や各活動・学校行事の年間指導計画を立て、自発的・自治的な活動の質を高める工夫をする。
- c 小・中学校9年間で「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」を視点に、社会で生きて働く資質・能力を育成する。

(カ)生徒指導

- a 児童生徒一人一人の人格を尊重し、心のふれあいを基本とした学年・学級づくりに努める。
- b 朝や帰りの会・掃除・給食など、日常的な活動を大切にして、集団の中で自己有用感に裏付けられた自己肯定感や充実感を実感できる居場所づくりと絆づくりに努める。
- c 児童生徒理解やスクールライフノート等を活用しながら教育相談の充実を図り、共感的な人間関係を基盤にした一貫性のある粘り強い指導を組織的にすすめる。
- d 学校教育活動全体を通して、自己存在感や自己指導能力を育む指導を工夫し、豊かな心と社会の一員としての資質や態度の育成に努める。
- e 基本的生活習慣の定着を図り、自律心と実践力の育成に努める。
- f 児童生徒の実態に即し、家庭や地域、関係機関と連携した指導体制づくりや、小中学校が相互に連携した生徒指導体制づくりをすすめる。

(キ)いじめ・不登校に対する指導

- a 学校いじめ防止基本方針に従い、いじめに関するアンケートやQ-U検査の結果等を活用して、いじめの実態を具体的かつ継続的に把握するとともに、情報の重要度に応じた校内の「報告・連絡・相談・確認」体制を確立し、「いじめ・不登校対策委員会」などの機能の充実を図る。対応に当たる際には、初期段階からいじめ重大事態を見据えた丁寧な対応を心がける。また、安城市教育センターの教育相談やスクールカウンセラーなどの効果的な活用をする。
- b いじめを当事者同士だけではなく学校全体の問題としてとらえ、未然防止と早期発見に努めるとともに、いじめは絶対に見逃さない、許さないという毅然とした態度でいじめ解

消を図る。

- c 不登校は、どの児童生徒にも起こりうるという認識に立ち、児童生徒が「心の居場所」を実感できるように、校内教育支援センター職員と連携を図りながら全職員が一致協力して人間味のある温かい指導を心がけ、不登校児童生徒に寄り添うようにする。
- d 特に配慮を要する児童生徒については、S S W（スクールソーシャルワーカー）との連携を強化し、児童生徒や保護者との連絡等を行ったり、関係機関との連携を図ったりしながら、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけて支援を行う。
- e ふれあいネット事業及び青少年健全育成会では、その意義や趣旨に立ち返り、いのちの教育の一層の充実を図る。

(ク)キャリア教育・進路指導

- a 進路指導を生き方の指導ととらえ、自分自身の価値を見いだして将来に期待をもつことができるよう、教育活動全体を通したキャリア教育の実践に努める。
- b キャリア教育の視点で教育活動を見直し、発達段階に応じた系統性のある指導をすすめる。
- c キャリアガイダンス機能の充実や啓発的な体験活動を通して職業観・勤労観を育み、自らの力でよりよい生き方を選択する能力や態度の育成に努める。
- d 持続可能な社会の担い手づくりを意識し校内組織と指導体制の充実を図り、学校と家庭・地域社会との信頼に基づく、個に応じた指導をすすめる。
- e 「社会に開かれた教育課程」の理念のもと、家庭・地域住民等とキャリア教育の目標やビジョンを共有し、連携・協働できる体制づくりに努める。

(ケ)情報教育・情報モラル教育

- a I C Tの積極的な活用を図り、学習意欲を高めるとともに、児童生徒の情報活用能力の育成に努める。
- b 一人一台のタブレット端末を効果的に活用することにより、学び合いの充実を図る。
- c 携帯電話やS N Sをはじめとしたインターネット利用における適切な態度や行動を身に付けるなど、道徳科との関連を図りながら情報モラル教育の推進を図る。
- d 年間指導計画に基づき、発達段階に則した「プログラミング的思考」の育成を図る。
- e 家庭と連携を深めながら、情報社会で適正な活動を行うためのものとなる考え方と態度の育成に努める。
- f 情報モラル教育を学校全体で推進し、児童生徒自身が「被害者とならない、加害者とならない、加害行為に手を貸したり傍観したりしない」という視点で、児童生徒や保護者に啓発していくように努める。

(コ)環境教育

- a 学校教育活動全体を通して環境教育を推進し、環境問題への理解を深め、環境の保全やよりよい環境の創造のために主体的に取り組む態度や資質・能力の育成に努める。
- b 地域の実態に合った身近な環境問題を取り上げ、学校・家庭・地域社会との連携を通して体験学習、問題解決学習をすすめる。
- c S D G s と関連付けながら、持続可能な社会の構築につながる見方・考え方を育み、よりよい環境づくりに向けた働きかけができる実践力を培う。

(サ)国際理解教育

- a 学校教育活動全体を通して国際理解教育を推進し、発達段階に応じて系統的に指導をすすめる。
- b 外国の人々の生活や文化を理解し、尊重するとともに、郷土や我が国の文化・伝統を大切にしている態度の育成に努める。
- c 学校外の人材の活用やS D G s との関連も含めた体験学習への取り組みを通して、異なる文化や価値観をもつ人々との関わり方や相互理解の重要性に目を向けさせ、国際的視野

に立って意思の疎通ができる能力を育む。

(シ)外国人児童生徒教育

- a 外国人児童生徒の日本の学校教育への適応と日本語の能力向上を図るために、一人一人の能力や実態の把握に努め、学年や能力に合わせた段階的・系統的な指導を日本語適応教室相談員、日本語適応指導教室、日本語初期指導教室と連携しながら、全職員の共通理解のもとにすすめる。
- b 外国人児童生徒の母語、文化や生活習慣を大切にする指導を心がけ、他の児童生徒の国際理解に生かせるような活躍の場を設定するよう努める。
- c 進路に関する資料の収集や提供に努め、家庭と連携・協力を図りながら、希望のもてる進路選択ができるよう指導をすすめる。

(ス)学校図書館教育

- a 言語環境の基盤となる学校図書館の役割を明確にするとともに、学校司書や図書情報館と連携して「きーぼ一便※₁」「朝読便※₂」「テーマ便※₃」の効果的な活用を図り、読書センター、学習・情報センターとしての機能を充実させる。
- b 学校司書と連携し、学校図書館の利用指導を充実させ、学校図書館を積極的かつ効果的に利用できる児童生徒の育成に努める。
- c 読書活動を推進し、豊かな情操を育むとともに、読書に親しむ児童生徒の育成に努める。
- d 読み聞かせや環境整備などにおいて、家庭・地域社会と連携し、地域の人材を活用して、学校図書館の積極的な利用に努める。
※1「きーぼ一便」…個人が図書を学校端末から予約し、配達されるもの。
※2「朝読便」…1コンテナ図書20冊のセットで市内各校教室に巡回されるもの。
※3「テーマ便」…学習テーマに合わせた資料を学校端末から予約し、配達されるもの。

(セ)健康・安全教育

- a 学校教育活動全体を通して、児童生徒の心身の健康保持増進と体力の向上を図り、生涯を通して健康で安全な生活を送るための資質・能力の育成に努める。
- b 毎日の健康観察や児童生徒とのふれあいを大切にする中で、心身の問題の早期発見と早期対応を図るとともに、心の健康づくりに努める。
- c 「自分の生命は自分で守る」という自覚と態度を学年に応じて指導する。特に学校内外での感染症対策・生活安全・交通安全・災害対策に対する意識を高め、実際場面に生きる危険予測・回避能力の育成に努める。
- d 学校給食を食に関して総合的に学習する場とし、感謝の心を育てるとともに、栄養教諭らと連携しながら、健康の自己管理能力を高める指導の充実を努める。
- e 食物アレルギーや病気・けがなどの不測の事態に対処する体制を整備し、緊急時においても適切に対応ができるように努める。

(ソ)人権教育

- a 人権尊重の精神を培い、人権問題を直感的にとらえる感性及び人権への配慮が態度や行動に現れる人権感覚の育成をめざす。
- b 児童生徒の発達段階に応じ、学校教育活動全体を通してSDGsや男女共同参画社会との関連を含めた学習を計画的にすすめるとともに、校内研修を充実させたり、進んで研修に参加したりするようにする。
- c 発達段階や状況を踏まえ、教材・指導の手引き等を活用した「生命（いのち）の安全教育」を実施する。学校教育活動全体で性暴力被害防止に向けた取組をすすめる。
- d 性的少数者への十分な配慮ときめ細かな支援の充実を図る。

(タ)特別支援教育

- a 特別支援コーディネーターを中心に、こども園・幼稚園・保育園、保護者、専門家、こ

ども発達支援センター、医療機関などとの連携を図りながら、障害についての正しい理解のもとに一人一人の教育的ニーズを的確に把握する。

- b 切れ目のない教育的支援を行うため、「合理的配慮」の観点をつまみ、保護者との連携のもと、実態を基に個別的教育支援計画及び指導計画を作成し、全教職員で情報を共有しながら個々の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導と支援に努める。
- c さまざまな障害特性や支援の方法に関する研修を推進し、全教職員の共通理解による支援体制の充実に努める。

ウ 少人数指導

(ア)目的

- ・ 小学校全学年及び中学校第1・2学年において学級規模の大きい学級の解消を図り、学級を基盤とした生活指導と学習指導が一体となった、きめ細やかな指導と個性重視の指導を実現する。
- ・ 中学校第2学年において35人以下による学級編制を実施し、環境が大きく変化する進級時などにおいて、生徒の円滑な学校生活への適応を促し、基礎的・基本的な内容の定着等が図られるよう実践研究を行う。

(イ)実施状況

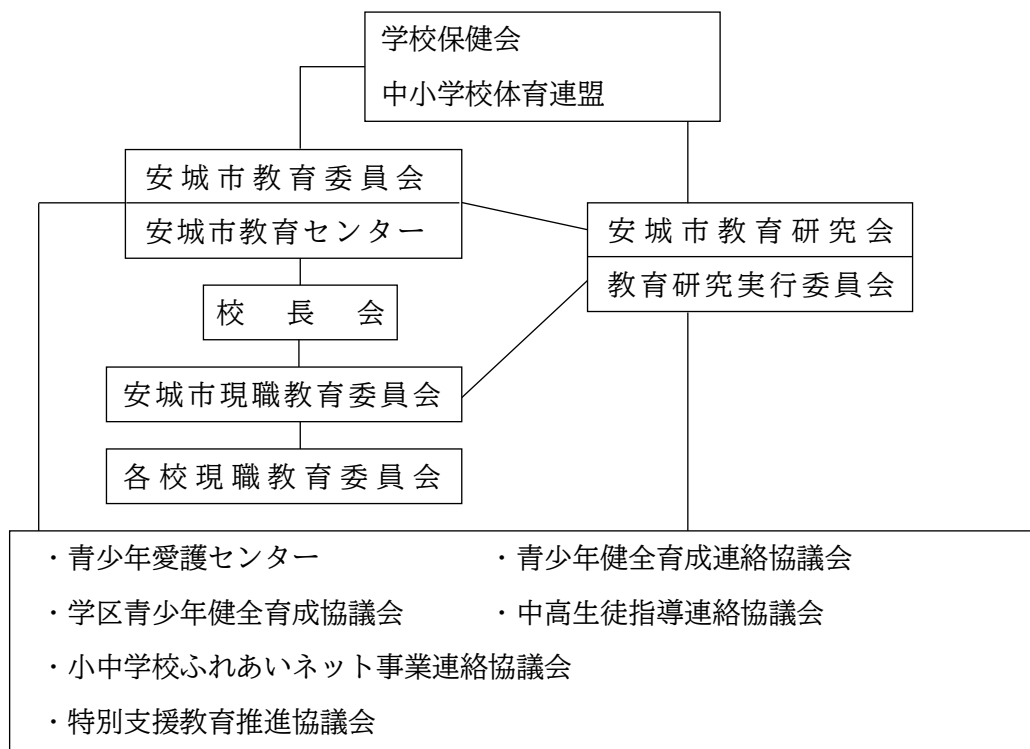
- ・ 中学校2年生 県少人数（35人）学級8校
- ・ 県の少人数学級編成研究指定校として実施する

中学校	実学級数 (通常)	第2学年		
		生徒数	学級数	平均人数
安城南中	23	258	8	32.3
安城北中	23	302	9	33.4
明祥中	12	154	5	30.8
安城西中	23	258	8	32.3
桜井中	21	251	8	31.3
東山中	20	251	8	31.4
安祥中	15	150	5	30.0
篠目中	19	214	7	30.4

令和8年5月1日現在

エ 現職教育の推進と運営

(ア) 組 織



(イ) 運 営

a 方 針

市教委は校長会、安城市教育研究会、安城市現職教育委員会などと連携し、全教職員の研修を図る。

b 任 務

- 現職教育の運営、推進を図る。
- 基本方針並びに現職教育年間計画を策定する。
- 諸行事の連絡調整を図る。

c 常任委員会

- 校 長 会 代表（2名）
- 教 頭 会 代表（2名）
- 教育研究会 代表（5名）
- 市教委、教育センター（9名）

(ウ) 活 動

a 各校の現職教育（令和8年度）

学 校 名	研 究 主 題
中 部 小	「主体的に学び、自ら育つ子の育成」 —児童が願いを実現する授業・特別活動を通して—
南 部 小	「自ら聴き合い、仲間とともに学び合う子の育成」 ～一人残らず学び合える授業づくりをめざして～
西 部 小	「より良い自分の実現に主体的に向かう児童の育成」 —課題解決の方法を児童が自ら選び、思考を深める授業づくり—
東 部 小	仲間と共に地域の未来を切り拓く東部っ子の育成 ～「なぜ？」を見いだし「もっと！」があふれる 東部小探究サイクルを軸として～
北 部 小	みんなと関わることで 自己の学びを深める子の育成 ～できた・分かった、なるほど、もっとと思える授業づくり～
錦 町 小	学びのエネルギーをもとに、仲間と共に考えを深める子の育成 —多様な考えをいかす授業づくりを通して—
高 棚 小	主体的に考え、聴き合いを通して学びを深める子の育成 ～仲間や地域と協働的に学ぶ授業づくり～
明 和 小	わかって楽しい できてうれしい —主体性と多様性を大切にした授業づくり—
志 貴 小	「主体的・対話的に学びを深めていく志貴っ子の育成」 ～志貴小 みんなで 学びアイ・認めアイ・高めアイ～
桜 井 小	学びを つなげる かさねる 広げる 桜井っ子 ～桜井のひと・もの・ことを生かした横断的な学習を通して～
作 野 小	自他を認め、ともに高め合う作野っ子の育成 ～安心できる学級づくりと聴き合いを大切にした授業づくり～
祥 南 小	学びをたのしむ祥南っ子の育成 ～楽しむから愉しむを目指して～
丈 山 小	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の往還を通して自ら学び続ける 子の育成
二本木小	胸をはり、腕を組んで、未来へ伸びる  ～仲間と創る、自分だけの学びのカタチ～
里 町 小	学びをデザインする児童の育成

学 校 名	研 究 主 題
桜 町 小	自分の未来を切り拓く桜町っ子の育成 ～あたたかい人間関係の中で、学びを深め合う授業づくりを通して～
桜 林 小	自他を尊重し、柔らかな生き方が身につく子の育成 ～探究的な学習を通じて、主体的に学ぶ力を培う教育活動の研究～
新 田 小	自分の思いや考えを伝えながら 主体的に問題解決に向けて動き出す新田っ子の育成 －地域の人・もの・ことに着目した 生活科・総合的な学習の時間における実践を通して－
今 池 小	自分の考えを伝え合うことができる子の育成
三河 安城小	自ら課題をもち、かかわり合いながら、学び続ける子の育成 －三河安城小マイプラン学習の実践を通して－
梨の里小	主体的に明日を拓く梨っ子の育成 －「つながる」児童をめざしたかかわり合い－
南 中	自己の思いや考えを深め、表現できる生徒の育成 ～つながりを生かした授業づくり～
北 中	自己を見つめ、チャレンジし続ける生徒の育成
明 祥 中	自己を調整しながら、みんなで学びを深める生徒の育成 ～一人一人の心が動き出す授業の創造～
西 中	自らの手で未来を切り拓く生徒の育成 －考えを深める授業づくりを通して－
桜 井 中	学びに没頭する生徒の育成 －生徒の思いを取り入れた単元構想と 生徒の自治力を育成する授業づくりを通して－
東 山 中	わたしを信じる みんなを信じる －「自分軸」を発揮して学ぶ「きき合い」の授業－
安 祥 中	話し合いを通して考えを深め、粘り強く学び続ける生徒の育成 － 敬愛力を土台にして、学びを楽しむ授業づくり －
篠 目 中	仲間とのかかわりのなかで、自らの考えを深め・広げられる子の育成 ～主体的に追究する子どもの姿を引き出す単元構想～

- b 教育研究発表会
委嘱校の研究発表（安城中部小学校、新田小学校、安祥中学校）
- c 各種研修、講座、講演会

研 修	校長・教頭合同研修 養護教諭・生徒指導・教育支援担当合同研修 新規採用者研修（4回） 3年目教員研修 学校事務職員基礎研修 養護教諭基礎研修 いのちの教育推進研修 安城市研究報告会 国内教育視察研修	教務・校務情報主任・合同研修 事務職員担当者研修 2年目教員研修 2・3・4年目教員合同研修 教職基礎研修（2回） コミュニティスクール研修（3回） 授業デザイン研修 個への支援推進研修 指導員県外研修
開設講座	情報モラル ミライシードを使って授業をしよう ミライシードの機能を使いこなそう いのちの教育サポートプランを生かした「Q-Uの利活用」 個への支援「自傷行為への理解と対応」 個への支援「不登校児童生徒への理解と支援のヒント」 個への支援「生徒指導のポイント」 私の授業づくり「日本語教育」「総合的な学習」	
講演会	教育センター講演会	

- d 音楽会準備、音楽会、教育展準備、教育展（4年一巡で実施）

内 容	目 的	特 色
音楽会（令和8年度）	・音楽を通して児童生徒に内在する感性や創造性を発揮させることで、心豊かな人間の育成を図る。	・市内29校を8ブロック（中学校区）に分け、それぞれが一つのテーマで表現する。
教育展準備（令和3年度）	・教育全領域にわたる児童生徒の追究の充実を図り、次年度に生かす。	・児童生徒など広くアイデアを募り、次年度に生かす。
教育展（令和4年度）	・児童生徒の日常の学習活動発表の場として、その成果を展示する。 ・市の教育の現状や実態をもとに、学校教育、家庭教育の方向を示す。	・市内全小中学校の学校紹介 ・創意工夫のある屋内展示 ・教育全領域にわたる児童生徒の作品、活動の様子の紹介

- e 教育講演会
市内教職員の教養を高め、資質の向上を図る。
- f 特別支援教育推進協議会
- 目 的 特別支援教育の推進を図る。
 - 主な事業 特別支援教育の啓発と普及
障害のある児童生徒の調査及び研究
その他特別支援教育推進のために必要な事業

オ 現職教育訪問

訪問の着眼点	(1) 特色ある教育課程の編成と実施の現状 (2) 学習指導の多様化、充実についての諸方策と実践 (3) 学習指導要領の趣旨をふまえた教育の実践 (4) 生徒指導上の問題点とその対策 (5) 安全教育＜交通安全・保健安全・安全管理＞への取り組みの状況 (6) 進路指導の現状と問題点 (7) 教育環境の整備状況 (8) 新規採用教員の研修状況 (9) 教職員の心身の健康
実施期間	現職教育訪問 （6月～11月）毎年各校1回 ※研究発表校を除く

カ 指導員訪問

各校の教科指導の現状や実態をもとに、教育の将来的展望に立ち、教育全般の向上に寄与する目的をもって、現場教育の担当者から指導員を選任し、指導にあたっている。

国語、社会、算数・数学、理科、生活、音楽、図工・美術、体育・保健体育、家庭、技術、外国語教育、道徳、特別活動、総合的な学習、生徒指導、図書館教育、情報教育、養護、特別支援教育の各指導員で次のような訪問指導を実施している。（令和8年度より日本語教育相談員を新たに設置）

（ア）年間指導計画に基づく計画訪問

（イ）市教委と一体となった現職教育訪問

（ウ）各校の要請に応じる要請訪問

(2) 教育センターの活動

ア 発 足 平成6年4月1日

イ 運営方針

市内小・中学校教育の研究・研修センターとして、教職員の研究活動の援助・推進を図るとともに、安城市の教育文化の向上と振興を図る。そのために、研修・調査研究・教育相談・教育情報活用に関して、研究活動の推進とさらなる活性化を図る。

ウ 重点目標

「時代が求める教育課題への対応」と「蓄積された研究成果の活用」に主眼を置き、令和8年度学校教育の指導方針である「いのちの教育」「学び合いのある授業づくり」「一人一人を大切にしたいきめ細やかな支援」を踏まえ、学校における教育活動への支援事業の充実に努める。

(ア)教職員として必要な実践的指導力と専門性を高める。【研修事業】

(イ)教職員の資質向上につながる調査研究と研修を支援する体制の充実に努める。

【調査研究事業】

(ウ)いじめ・不登校や進路・適性等に関する相談をはじめ、保護者や教職員のさまざまな相談に応じる。【教育相談事業】

(エ)「学び合い」の授業づくりのために、教育関係情報の収集や共有化を進める。

【教育情報活用事業】

エ 組 織

◇ 教育センター職員

学校教育課長、所長、研究係長、指導主事(3)、社会教育指導員（兼家庭相談員）(16)、社会福祉士(8)、教育支援センター指導補助員(1)、臨床心理士・公認心理師(6)、情報処理技術者、事務職員、夜間管理人(2)

◇ 教育センター企画運営委員

小中学校長会長、安教研会長、教育相談専門家、PTA連絡協議会代表者、安教研教務研究委員会委員長、こども発達支援課長、青少年の家所長

オ 事 業

(ア)教育研修

- a 市教委主催研修会の企画・運営
- b 希望参加による開設講座の開催
- c 講演会の開催

(イ)教育調査研究

- a 文部科学省、県教委研究補助による研究
- b 市教委指定研究による研究

●情報教育研究 (4名)

●特別支援教育スタートアップ研究 (4名)

●日本語適応指導推進研究 (4名)

●教師力向上支援研究 (4名)

c 派遣研究生

6名を愛知教育大学等へ派遣し研究を深め、資質向上を図るとともに、研究成果を各小中学校の現職教育等へ還元する。

d 自主研究グループ

研究活動の推進援助を図り、各自の力量を高めるとともに、地域に生きる教職員の親和共励を図る。

●健康教育研究「はぐくみ」の会 ●「教師力」を高める「勇気づけ」の心理学

●「できた」を増やす学習支援の会 ●学び合いの授業づくりに向けた ICT

●みんなの日本語教育 ●低学年の学びを支える会

●重松鷹泰先生の足跡から学ぶ会 ●あなたの町にもきっとあるはず♪わくわく地域教材の会

●授業が変わる！教材研究ワークショップ

e 教育研究論文の募集

(a) 教科指導 (b) 道徳科 (c) 外国語活動

(d) 総合的な学習の時間 (e) 特別活動 (f) 特別支援教育

(g) 教育相談 (h) 学校・学年・学級経営

(i) 生徒指導 (j) 進路指導 (k) 健康教育

(l) その他

f 教職員の研究相談

・研究・実践上の諸問題について、随時教職員の相談に応じる。

・研究図書、資料提供、実践例の紹介、講師・研究校情報の提供を行う。

g 関係教育機関との連携研究

全国教育研究所連盟、東海北陸教育研究所連盟への加入により、先進的な研究の交流を行い、本センターの研究について積極的に紹介していく。

h 研究紀要の発行（第63集）と発行準備（第64集）

(ウ)教育相談

a 来所相談 担当：家庭教育相談員

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

b 電話相談 担当：家庭教育相談員 *こころの電話76-9674（くろうなし）

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

c ふれあい相談 担当：臨床心理士・公認心理師

月曜日～金曜日 午前10時～正午、午後1時～午後5時

*月曜日は夜間の相談（午後5時～6時）を実施する。

*相談内容に応じて親子並行面接を行う。

d 訪問相談（いじめ・不登校、進路・適性等）担当：SSW、臨床心理士、公認心理師

月曜日～金曜日（必要に応じて）

- e 教育支援センター「ふれあい学級・ふれあい学級北教室・ふれあい学級南教室」の運営

不登校児童生徒が学校復帰や社会的自立に向かうよう、個別指導、集団適応指導、生活指導、補充学習およびカウンセリング等を行う。

月・火・水・金曜日 午前9時～午後3時

木曜日 午前9時～正午

※ふれあい学級北教室・ふれあい学級南教室は月曜日閉館

- f 教職員相談

月曜日～金曜日 午前9時～正午、午後1時～午後5時

(エ)教育情報提供

- a 教育情報の収集・提供（インターネットによる情報提供）

●教育図書の充実と活用（視聴覚教材を含む）

●教育図書・研究資料 12, 362冊

●教育関係文献目録の編集・発行

●小・中学校への視聴覚教材の貸出

- b 教育機器利用の研究・促進

- c 教育センター情報ネットワークによる教育情報の提供

- d 教育センター所報「啐啄」の発行

(オ)その他

- a 「かがくのひろば」の審査会開催

- b 全国、東海北陸教育研究所連盟との連携

2 児童生徒と教職員

(1) 幼小中学校児童生徒数

小学校児童数

(令和8年5月1日現在)

	学年別 学校名	1年		2年		3年		4年		5年		6年		普通学級計		特別支援学級学年別児童数							特別支 援 学級数	合 計
		児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	1	2	3	4	5	6	計		
1	安城中部小	73	3	77	3	73	3	73	3	65	2	81	3	442	17	2	1	0	7	2	4	16	3	458
2	安城南小	102	3	95	3	98	3	74	3	102	3	77	3	548	18	3	3	2	3	5	3	19	4	567
3	安城西部小	73	3	84	3	78	3	92	3	71	3	76	3	474	18	3	2	3	3	2	3	16	4	490
4	安城東部小	72	3	80	3	74	3	81	3	77	3	85	3	469	18	2	2	2	0	3	6	15	4	484
5	安城北小	87	3	103	3	103	3	108	4	121	4	122	4	644	21	5	3	3	6	3	3	23	5	667
6	錦町小	90	3	86	3	91	3	82	3	90	3	127	4	566	19	7	6	5	6	5	2	31	5	597
7	高棚小	40	2	45	2	40	2	52	2	37	2	43	2	257	12	3	1	1	2	0	2	9	4	266
8	明和小	39	2	41	2	40	2	51	2	42	2	62	2	275	12	1	0	1	3	0	1	6	3	281
9	志貴小	27	1	19	1	32	1	35	1	27	1	21	1	161	6	2	0	0	0	1	0	3	1	164
10	桜井小	143	5	151	5	150	5	172	5	148	5	144	5	908	30	6	10	8	7	9	7	47	8	955
11	作野小	60	2	69	2	61	2	74	3	82	3	87	3	433	15	1	1	4	5	3	5	19	4	452
12	祥南小	37	2	40	2	40	2	40	2	44	2	39	2	240	12	3	3	5	7	8	3	29	7	269
13	丈山小	106	4	116	4	119	4	121	4	119	4	125	4	706	24	4	4	4	7	2	8	29	6	735
14	二本木小	97	3	97	3	105	3	118	4	123	4	135	4	675	21	2	4	6	3	1	4	20	4	695
15	里町小	80	3	91	3	70	2	87	3	79	3	79	3	486	17	0	3	4	2	3	3	15	5	501
16	桜町小	61	2	84	3	78	3	71	3	77	3	62	2	433	16	6	7	7	4	3	3	30	7	463
17	桜林小	72	3	74	3	94	3	89	3	77	3	92	3	498	18	2	4	4	5	3	2	20	3	518
18	新田小	48	2	60	2	40	2	52	2	45	2	62	2	307	12	2	6	1	6	4	4	23	4	330
19	今池小	59	2	62	2	71	3	59	2	72	3	66	2	389	14	1	5	4	7	2	5	24	5	413
20	三河安城小	89	3	76	3	104	3	90	3	90	3	112	4	561	19	0	0	3	1	2	2	8	3	569
21	梨の里小	53	2	36	2	65	2	72	3	62	2	79	3	367	14	1	2	2	3	1	3	12	3	379
小学校計		1,508	56	1,586	57	1,626	57	1,693	61	1,650	60	1,776	62	9,839	353	56	67	69	87	62	73	414	92	10,253

中学校生徒数

	学年別 学校名	1年		2年		3年		普通学級計		特別支援学級学年別生徒数				特別支 援	合 計
		生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級	1	2	3	計		
1	安 城 南 中	256	8	258	8	268	7	782	23	8	8	4	20	5	802
2	安 城 北 中	228	7	302	9	272	7	802	23	8	4	6	18	4	820
3	明 祥 中	133	4	154	5	117	3	404	12	4	3	6	13	4	417
4	安 城 西 中	254	8	258	8	250	7	762	23	3	3	3	9	2	771
5	桜 井 中	232	7	251	8	225	6	708	21	8	3	8	19	4	727
6	東 山 中	210	6	251	8	231	6	692	20	0	9	4	13	3	705
7	安 祥 中	156	5	150	5	168	5	474	15	11	5	8	24	4	498
8	篠 目 中	202	6	214	7	207	6	623	19	4	4	8	16	3	639
中学校計		1,671	51	1,838	58	1,738	47	5,247	156	46	39	47	132	29	5,379

安城市小中学校 児童生徒総計								15,086	509					546	121	15,632
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--------	-----	--	--	--	--	-----	-----	--------

幼稚園・幼保連携型認定こども園園児数

幼稚園		(令和8年5月1日現在) ()は学級数 単位：人				
幼稚園名	満 3 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合 計	定 員
石橋幼稚園	2 (1)	65 (3)	90 (3)	58 (2)	215 (9)	310
ともえ幼稚園	2 (1)	15 (1)	22 (1)	29 (1)	68 (4)	350
愛知学泉大学附属幼稚園	3 (1)	65 (3)	67 (3)	76 (3)	211 (10)	314
愛知学泉短期大学附属幼稚園	4 (1)	49 (2)	35 (2)	49 (2)	137 (7)	209
愛知学泉大学附属桜井幼稚園	4 (1)	63 (3)	61 (3)	52 (2)	180 (9)	280
合計	15 (5)	257 (12)	275 (12)	264 (10)	811 (39)	1,463

幼保連携型認定こども園

	こども園名	0～2歳	満3歳	3歳	4歳	5歳	合計	定員
公 立	城ヶ入こども園		0 (0)	12 (1)	5 (※)	15 (1)	32 (2)	55
	東 部こども園		0 (0)	9 (1)	7 (1)	10 (1)	26 (3)	51
	高 棚こども園		0 (0)	15 (1)	12 (1)	13 (1)	40 (3)	51
	えのきこども園		0 (0)	9 (1)	11 (1)	9 (1)	29 (3)	55
	三ツ川こども園		0 (0)	8 (1)	15 (1)	19 (1)	42 (3)	55
	安 城こども園		0 (0)	30 (2)	42 (2)	45 (2)	117 (6)	195
事 業 団	さくのこども園		0 (0)	49 (4)	52 (3)	55 (2)	156 (9)	225
	安城北部こども園		0 (0)	14 (1)	16 (1)	14 (1)	44 (3)	75
	東 栄こども園		0 (0)	11 (1)	20 (1)	21 (1)	52 (3)	110
	根 崎こども園	26 (1)	0 (0)	24 (1)	25 (1)	30 (1)	105 (4)	95
私 立	てらベクリエイティブこども園	56 (3)	4 (1)	59 (2)	58 (2)	46 (2)	223 (10)	258
	子 宝保育園	36 (3)	0 (0)	19 (1)	17 (1)	18 (1)	90 (6)	100
	慈 恵幼稚園		0 (0)	72 (4)	86 (4)	72 (3)	230 (11)	315
	第二慈恵幼稚園	23 (3)	0 (0)	77 (4)	89 (4)	88 (4)	277 (15)	345
	にほんぎ幼稚園	34 (2)	7 (0)	74 (3)	70 (3)	72 (3)	257 (11)	301
	スマイリーこども園 さとまち	41 (3)	0 (0)	28 (1)	25 (1)	27 (1)	121 (6)	136
	光 徳保育園	31 (3)	0 (0)	20 (1)	16 (1)	20 (1)	87 (6)	94
	桜 井こども園	43 (3)	2 (0)	26 (1)	24 (1)	29 (1)	124 (6)	125
	ブライトこども園 安城桜町	56 (3)	0 (0)	27 (2)	27 (1)	26 (1)	136 (7)	140
	麦のうさぎ保育園	32 (3)	0 (0)	20 (1)	22 (1)	17 (1)	91 (6)	95
	合計	378 (27)	13 (1)	603 (34)	639 (31)	646 (30)	2,279 (123)	2,876

※5歳と合同クラス

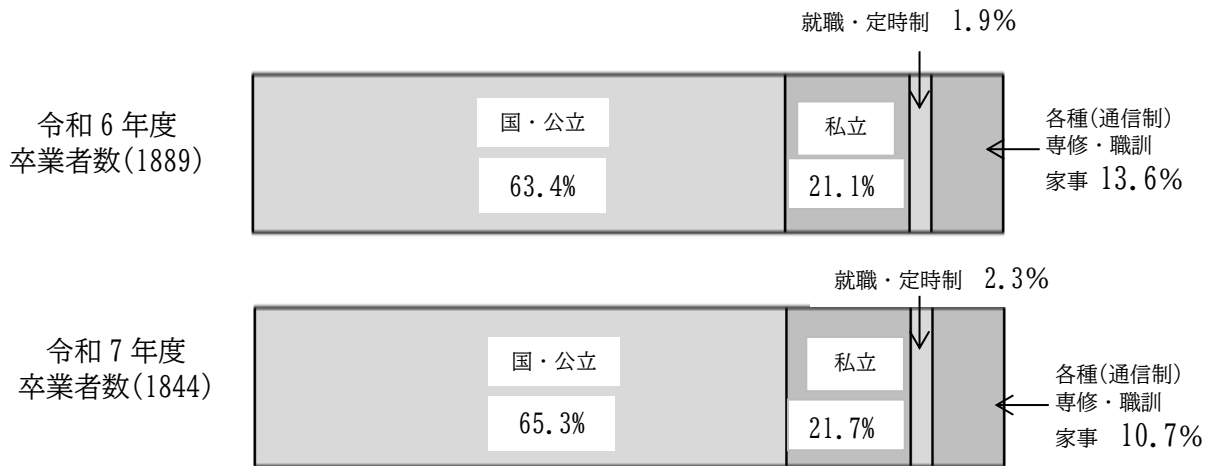
(2) 教職員数

(小中学校)

(令和8年5月1日現在) 単位：人

種別 学校名	校 長	教 頭	教 員				市 常 勤 講 師	栄 養 教 諭・ 職 員	計		再任用職員				事 務 職 員	校 医					用 務 員	
			教 諭		養 教	県 講 師										学 校 医	歯 科 医	眼 科	耳 鼻 科	薬 剤 師		
			男	女					男	女	フル	ハーフ										
安 城 中 部 小	1	1	8	18	1	1		1		11	19				1	1	1	1	1	1	1	
安 城 南 部 小	1	1	10	14		養教 1		1		11	17	1			1	1	1	1	1	1	1	
安 城 西 部 小	1	1	11	16	1					12	18				1	1	1	1	1	1	1	
安 城 東 部 小	1	1	6	19	1					7	21	1			1	1	1	1	1	1	1	
安 城 北 部 小	1	1	10	23	1	1		1		12	26	1			1	1	1	1	1	1	1	
錦 町 小	1	1	10	18		1 養教 1		1		11	22				1	1	1	1	1	1	1	
高 棚 小	1	1	8	10	1	2				9	14				1	1	1	1	1	1	1	
明 和 小	1	1	7	11	1	1			1	9	14				1	1	1	1	1	1	1	
志 貴 小	1	1	4	5	1					5	7				1	1	1	1	1	1	1	
桜 井 小	1	1	15	33	2	1		1		18	36				2	1	1	1	1	1	1	
作 野 小	1	1	7	15	1	2				8	19				1	1	1	1	1	1	1	
祥 南 小	1	1	8	16	1	1		1		11	18				1	1	1	1	1	1	1	
丈 山 小	1	1	6	28	1	2			1	9	30		4		2	1	1	1	1	1	1	
二 本 木 小	1	1	6	30	1			1		7	33		2		1	1	1	1	1	1	1	
里 町 小	1	1	11	16	1	1				12	19				1	1	1	1	1	1	1	
桜 町 小	1	1	7	21	1	1			1	9	24		2		1	1	1	1	1	1	1	
桜 林 小	1	1	7	18	1					7	21		2		1	1	1	1	1	1	1	
新 田 小	1	1	8	12	1	2				9	15				1	1	1	1	1	1	1	
今 池 小	1	1	10	11	1	2		1	1	11	17	1			1	1	1	1	1	1	1	
三河安城小	1	1	6	23	1					8	24	1			1	1	1	1	1	1	1	
梨 の 里 小	1	1	8	14	1	1				9	16				1	1	1	1	1	1	1	
小 学 校 計	21	21	173	371	20	19	養教2	8	4	205	430	5	10	23	21	21	21	21	21	21	21	
			544							635												
安 城 南 中	1	1	28	15	2	6				33	21				2	2	2	1		1	1	
安 城 北 中	1	1	21	17	2	10			1	31	23	1			2	2	2	1		1	1	
明 祥 中	1	1	14	11	1	2				15	15				1	1	1	1		1	1	
安 城 西 中	1	1	22	21	1	1				23	24				2	1	1	1		1	1	
桜 井 中	1	1	17	22	1	3			1	22	24				2	1	1	1		1	1	
東 山 中	1	1	21	17	1	1				24	18				2	1	1	1		1	1	
安 祥 中	1	1	21	12	1	1				24	13				2	1	1	1		1	1	
篠 目 中	1	1	25	15	1	3				28	18				2	1	1	1		1	1	
中 学 校 計	8	8	169	130	10	27		0	2	200	156	1	0	15	10	10	8	0	8	8	8	
			299							356												
総 合 計	29	29	342	501	30	46	養教 2	8	6	405	586	6	栄養 0	10	養教 0	38	31	31	29	21	29	29
			843							991		16										

(3) 中学卒業者の状況



(4) 児童生徒数推計

	令和8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度
小学校	10,253	9,805	9,465	9,011	8,636	8,203
中学校	5,379	5,390	5,177	5,186	5,041	4,984

※令和8年度は、5月1日現在の児童・生徒数の実数。
※令和9年度以降は、令和8年5月1日現在の入学前人口より推計し算出。

3 心身の健全育成活動

(1) 学校教育関係体育行事

ア 令和8年度行事

- 4月・安城市中学校春季陸上競技大会
- 5月・各小学校運動会
- 6月・西三河中学校陸上競技選手権大会
- ・安城市中学校選手権大会
- ・西三河中学校選手権大会（～7月）
- ・愛知県中学校選手権大会（～8月）
- 10月・各小学校運動会（～11月）
- ・各中学校体育大会
- ・西三河中学校駅伝大会
- 11月・愛知県中学校駅伝大会

イ 令和7年度児童生徒の体位平均値

区 分			身 長 cm			体 重 kg		
			市平均	県平均	全国平均	市平均	県平均	全国平均
小 学 校	1年	男	116.2	116.2	116.9	21.0	21.3	21.6
		女	114.8	116.1	116.0	20.3	21.1	21.2
	2年	男	122.3	122.6	123.0	23.9	24.1	24.5
		女	121.2	121.6	122.1	23.2	23.5	24.0
	3年	男	128.1	127.9	128.6	27.0	27.2	27.8
		女	127.3	127.2	127.8	26.4	26.3	27.0
	4年	男	133.7	133.8	134.1	30.8	31.0	31.4
		女	133.7	133.9	134.4	30.2	30.6	31.0
	5年	男	139.0	138.9	139.6	34.4	34.7	35.3
		女	140.3	140.8	141.4	34.3	34.6	35.3
中 学 校	1年	男	145.2	145.3	146.2	38.7	39.2	39.9
		女	147.1	147.9	147.9	39.6	40.1	40.2
	2年	男	153.4	153.0	154.2	44.8	44.5	45.8
		女	152.1	152.0	152.3	44.1	43.7	44.5
	3年	男	160.5	160.3	161.1	50.4	49.9	50.6
		女	154.2	154.8	155.0	47.1	47.3	47.6
	4年	男	165.4	165.6	166.9	54.6	55.0	54.9
		女	155.6	156.1	156.4	49.2	49.4	49.8

備考 県平均及び全国平均については令和6年度の数値。

(2) 学校保健

学校保健会

目 的 学校教育における保健衛生の普及、推進

組 織 学校医、学校歯科医、学校薬剤師、学校長、保健主事、養護教諭
その他学校保健関係者

(3) 独立行政法人日本スポーツ振興センター

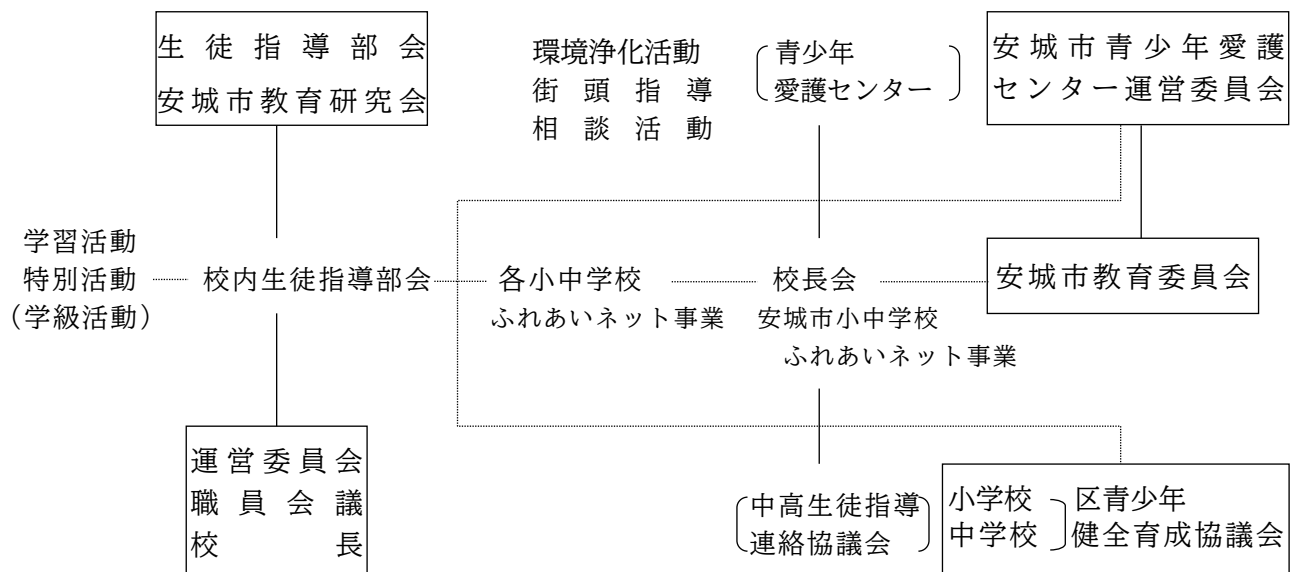
心身ともに健康な児童・生徒の育成に資することを目的とし、学校安全の普及
充実と災害共済給付関係の事務を行っている。

学 校 安 全 学校安全については当会の災害共済給付事務に伴う災害報告
書による児童・生徒の災害の事例、実態を把握し、これを調査
分析し学校安全の充実に役立てている。

また、この資料については、毎年発行の「児童・生徒 発育
と健康状態」に編集掲載している。

災害共済給付 災害共済給付については、学校の管理下で発生の災害につい
て（1件5,000円以上）、センターへの医療費の請求を行っ
ている。また、死亡見舞金、障害見舞金の制度もある。

(4) 生徒指導推進の組織



4 野外教育活動

目 的 自然に囲まれた環境の中で、豊かな人間性の育成を図る。

キャンプ場	安城市作手高原野外センター		
開設年月日	昭和47年4月		
所 在 地	愛知県新城市作手白鳥字本宮辻1番地4 電話 0536-37-2107		
所在地の 緯度・経度	北緯 34° 55' 35.3" 東経 137° 25' 35.4"		
環 境	本宮山山系の山並みが連なる標高550mの地、ウグイス等の野鳥が鳴き、杉・桧等の美林と山あいを流れる豊かな清流に囲まれた好適地である。		
自然観察 登山コース	群生する植物と生息する各種昆虫類の生態観察や採集とともに、体力の増強を図り、健全な精神の鍛練をめざして、本宮山自然観察登山コースを設けた。		
標高・面積	標高 550m 面積 約3万㎡		
安城市 からの 距離・時間	距離 約5.6km 時間 約1時間30分（自家用車）		
施設の概要	・キャンプ場 ・ファイヤー場 ・避難棟（鉄筋コンクリート2階建て994.88㎡） ・運動広場（2ヶ所） ・野外便所（2ヶ所、各53.76㎡） ・炊事棟（2ヶ所、各56.70㎡） ・南サイト避難等兼倉庫（木造1階建） ・油庫 ・休憩場 ・まき小屋 ・休憩広場 ・水遊び場 ・テント 40張		
利用状況	小学生	一般等	計
令和7年度	1,833	233	2,066
令和6年度	1,780	223	2,003
利用者	本市小学5年生が自然教室で利用及び一般利用		

※令和8年度、中学校は愛知県美浜自然の家で実施、茶臼山高原野外センターを廃止

5 就学・奨学制度

(1) 奨学金制度

能力があるにもかかわらず、経済的理由により高等学校の修学が困難な者に対して必要な資金を支給する。

また、平成14年2月から、主たる生計維持者の失職等の事由で家計収入が激減し、高等学校の修学が困難な者に対しての緊急奨学金制度を開始した。

- ・奨学金の額 9,000円以内／月額
- ・奨学生の状況（緊急奨学金の状況は備考欄に別記）

年 度	人 数（人）	支 給 額（千円）	備 考
6	70	7,560	緊急奨学金 7人 396,000円
7	76	8,100	緊急奨学金 7人 648,000円

(2) 私立高等学校等授業料補助

私立高等学校等に在籍する者の保護者に対して、授業料の補助を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減、教育の機会均等の原則を確保し、あわせて私立高等学校等の教育振興に寄与することを目的とする。

- ・補助金の額 世帯の所得により年額12,000円または30,000円を上限とする。

年 度	人 数（人）	支 給 額（千円）
6	643	14,725
7	701	14,742

(3) 就学援助

経済的理由によって就学困難な児童生徒に対し、学用品・学校給食費・修学旅行等の費用を援助し、義務教育の円滑な実施を図る。

(令和7年度)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	人数 (人)	金額 (千円)	人数 (人)	金額 (千円)
学用品費等	728	10,593	511	13,513
修学旅行費	121	2,746	165	9,863
学校給食費	0	0	0	0
通学費	0	0	0	0
新入学用品費	101	5,764	139	8,757

(4) 特別支援教育就学奨励

特別支援学級等へ就学する児童・生徒のうち、保護者の負担能力の程度に応じて経済的負担を軽減し、学校教育の普及奨励を図る。

(令和7年度)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	人 数	金 額 (千円)	人 数	金 額 (千円)
学用品等	257	3,103	80	2,315

(5) 幼児教育無償化（私立幼稚園）

子育てを行う家庭の経済的負担の軽減を図ることを目的として、子ども・子育て支援法が改正され、令和元年10月から幼児教育・保育の利用料を無償化。

年度	人 数 (人)	補 助 額 (千円)
6	977	277,008
7	857	244,490

6 学校施設の設置状況

(令和8年5月1日現在)

種別 学校名	開設 年度	校地面積 (㎡)				建物面積 (㎡)			プール m
		建物地	運動場	その他	計	校舎	第1体育館	第2体育館	
1 安城中部小	M41	10,874	15,311		26,185	6,081	698		25×10
2 安城南小	M41	8,536	10,848		19,384	4,541	690		25×10
3 安城西小	M41	5,213	23,494	867	29,574	4,983	650		25×10
4 安城東小	M41	5,372	8,646		14,018	4,020	692		25×10
5 安城北小	M41	10,487	10,775		21,262	5,490	1,234		25×10
6 錦町小	S29	9,004	13,704	394	23,102	5,962	920		25×10
7 高棚小	M41	7,500	8,612	256	16,368	3,541	681		25×10
8 明和小	M41	7,137	10,301	787	18,225	3,675	626		25×10
9 志貴小	S36	5,253	9,714		14,967	2,676	513		25×10
10 桜井小	S35	11,425	7,335		18,760	8,298	1,142		25×10
11 作野小	S44	6,621	15,229		21,850	6,113	710		25×10
12 祥南小	S46	9,117	13,667		22,784	4,223	680		25×10
13 丈山小	S46	7,770	10,610	1,704	20,084	5,196	682		25×10
14 二本木小	S48	8,063	10,716		18,779	6,217	681		25×10
15 里町小	S54	7,626	12,741		20,367	5,570	693		25×10
16 桜町小	S55	10,515	10,565		21,080	8,489	699		25×10
17 桜林小	S56	9,749	10,061		19,810	4,716	695		25×10
18 新田小	S57	9,946	13,414		23,360	4,449	717		25×10
19 今池小	S61	9,693	9,444		19,137	5,733	720		25×10
20 三河安城小	H14	12,439	6,570		19,009	8,333	1,227		25×10
21 梨の里小	H18	11,582	8,583		20,165	7,792	1,217		25×10
小学校計		183,922	240,340	4,008	428,270	116,098	16,567		
1 安城南中	S24	16,315	19,819		36,134	8,867	1,356	634	25×15
2 安城北中	S24	16,104	19,886		35,990	8,644	1,352	794	25×15
3 明祥中	S22	17,964	15,753	2,376	36,093	5,821	1,346	728	25×15
4 安城西中	S34	11,758	16,172		27,930	8,564	1,373	760	25×15
5 桜井中	S22	15,943	12,982	475	29,400	6,770	1,312	600	25×13.6
6 東山中	S50	14,750	20,035		34,785	6,826	1,358	600	25×15
7 安祥中	S56	19,051	13,786	598	33,435	6,535	1,346	600	25×15
8 篠目中	S58	13,398	17,032		30,430	7,751	1,346	600	25×15
中学校計		125,283	135,465	3,449	264,197	59,778	10,789	5,316	

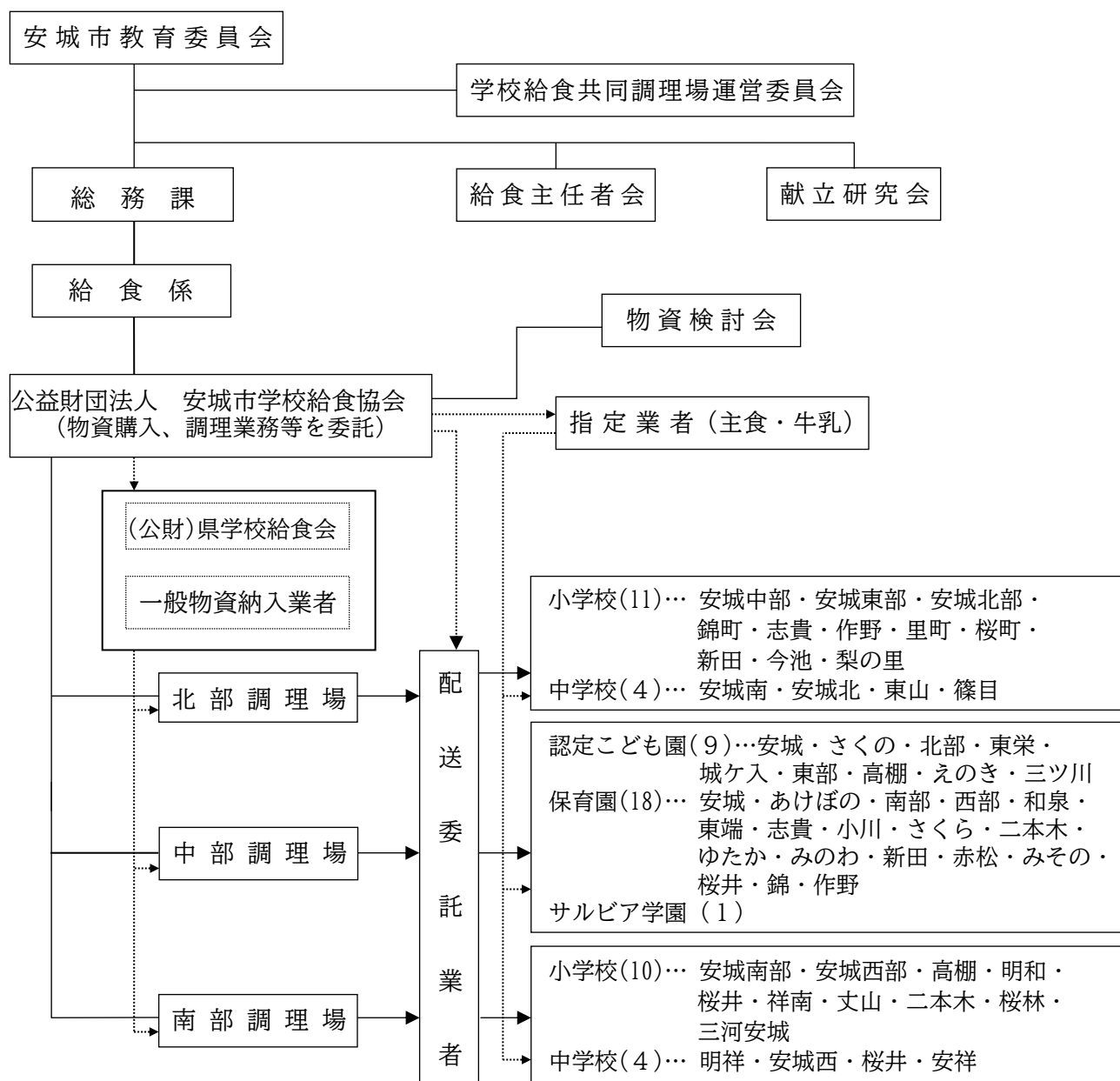
※ 校舎面積は附帯施設を含まない

7 学校給食

(1) 学校給食の目標（学校給食法第2条）

- ア 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- イ 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
- ウ 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- エ 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- オ 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
- カ 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- キ 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

(2) 学校給食の組織



(3) 調理場施設及び調理数

施設名		北部学校給食共同調理場	中部学校給食共同調理場	南部学校給食共同調理場
所在地		安城市新田町吉池71	安城市福釜町笠松1	安城市和泉町南梶25
開設時期		令和3年9月	平成21年8月	平成19年9月
敷地面積 (駐車場等含む)		9,731.28㎡	5,761.84㎡	9,705.08㎡
建物面積 (附属建物含む)		6,037.27㎡	2,571.06㎡	3,784.76㎡
建設費		4,154,903千円 (用地取得費含む)	1,594,028千円 (旧南部調理場解体整備費含む)	2,074,763千円
調理能力		10,000食/日	5,000食/日	10,000食/日
給食数等	小学校	11校 5,398食	——	10校 5,832食
	中学校	4校 3,242食	——	4校 2,667食
	認定こども園	——	9園 707食	——
	保育園	——	18園 3,182食	——
	サルビア学園	——	1園 81食	——
	調理場	97食	61食	68食
	合計	8,737食	4,031食	8,567食

※令和8年4月1日現在

(4) 給食実施計画 (令和8年度)

小中学校	185回
認定こども園 幼稚園コース	198回
認定こども園 保育園コース 及び 保育園	231回
サルビア学園	222回



(5) 食に関する指導 (栄養教諭5名、学校栄養職員1名 市栄養士2名)

- ① 児童生徒への個別的な相談指導 (偏食、痩身願望、肥満、食物アレルギー等)
- ② 栄養教諭・学校栄養職員により小学校1、3年生及び中学校1年生を対象とした学級活動における食の授業や、食に関する指導に関連した教科等で担任とチームを組んだ指導、学校保健委員会及び献立表・リーフレット等による啓発活動を推進し栄養指導を展開。
- ③ 市栄養士による認定こども園・保育園年長児を対象とした食育指導を実施。

(6) 給食費の推移

(1人1食当たり)

年度	区分	小学校	中学校	幼稚園 ～R2まで	保育園 認定こども園	改正時期
S43		45円	55円			7月
44		50	60			//
45		57	68			//
46		60	71			//
47		60	71	60円		4月
48		75	85	75		7月
49		100	115	100		//
50		120	140	120		//
51		130	150	130		//
52～54		140	165	140	73.82円	//
55		155	185	150	82.46	//
56～58		162	192	155	87.02	10月
S59～H2		175	205	162	94	//
3～5		185	220	170	97	//
6～10		200	235	190	97	6月
11～20		215	250	195	100	10月
21～28		235	270	200	105	4月
29～		255	290	215	115	4月
R元～5		255	290	215	215	10月
R6		280	320		215	4月
R7		300	350		240	4月
R8～		330	380		250	4月

※保育園は令和元年9月まで副食代 ※令和5年9月から小中学生は無償

(7) 給食内容

○主食

- ・米 飯…………… 週3回以上
- ・パ ン…………… 月2～3回
- ・め ん…………… 月1～2回 (ソフトめん・うどん・ラーメン・きしめん)

○牛 乳

毎食。栄養素がバランスよく含まれており、特にカルシウムが多く、成長期の子どもには欠かせないものとなっている。

○副 食

摂取基準を満たすように、主食との組み合わせを考慮して食材を選択し、季節(旬)のもの、行事食、地場産物等を取り入れた献立を作成。

(8) アレルギー対応

毎月、食物アレルギー詳細献立表、献立材料一覧表などを各園、学校及び保護者へ送付し、情報提供等連携を図っている。また、令和4年度より北部調理場管内の小中学校に対し食物アレルギー対応食(「卵」「乳」除去食)を提供し、令和6年度から南部調理場管内の小中学校へも対応食の提供を開始した。引き続き、物資選定の際には、できるだけアレルゲンの少ないものを選定する。

(9) 小中学校児童生徒学校給食費無償化事業について

少子化対策の一つとして、市立小中学校に通う児童生徒の給食費の無償化を令和5年9月から開始した。また、アレルギー等を理由に給食を欠食する児童生徒、特別支援学校及び市外小中学校へ通う児童生徒の保護者へは給食費相当額を支給する。

IV 生涯学習

1 生涯学習

(1) 生涯学習の目標

第4次安城市生涯学習推進計画の基本理念「だれもが楽しく、つながり、人
とまちの明日を創る 学びあい」のもとに、以下の推進テーマに沿って生涯学
習を推進する。

- ア 市民活動・地域活動の担い手育成につながる生涯学習
- イ 市民自ら企画・運営し、市民同士で、楽しみながら、学び、教える生涯学習
- ウ 長寿社会を地域で豊かに生きるための大人の生涯学習
- エ ものづくり文化の創造と次世代育成につながる生涯学習
- オ 場所や時間の制約を受けないオンラインも組み合わせた生涯学習

推進テーマに沿って、下表のとおり生涯学習を推進する。

	基本目標	施策の方針
1	多様なニーズに応じた学 びの機会の提供	・ 市民ニーズに応じた学習の提供 ・ ライフステージに応じた学習の提供 ・ 安城市の地域資源を活かした学習の提供
2	学びの成果を地域に活か すつながりづくり	・ 自主グループの育成と地域の絆づくり ・ ボランティア活動等への橋渡し
3	市民の主体的な学びを支 える環境づくり	・ 市民の主体的な学びの支援と生涯学習の総合的 な情報提供 ・ 相談体制の充実 ・ 指導者の発掘・育成・活用 ・ 生涯学習施設の維持管理と運用

※令和7年度までは第4次安城市生涯学習推進計画の計画期間、令和8年度からは安城市生
涯学習推進計画（生涯学習・スポーツ）の計画期間

(2) 青少年教育

ア 青年教育

(令和7年度)

事業名	内 容			事業目的
ユース カレッジ (第73期)	学習期間 5月9日～3月20日 学習内容 ・ 一般教養……福祉講座、冠婚葬祭の基礎知識など ・ 指導者養成…行事の計画、ファシリテーター講座など ・ 体育・レク…モルック、ソフトバレーボールなど 学習回数 33回 在籍者数(※) 17人(男4人、女13人) ※年間通じて5回以上出席した者とする。			余暇活動の善用、生涯 学習の契機。有志指導者 たる意識と資質の向上。 地域社会の担い手とし て郷土愛の醸成と連帯 感を尊重する態度の養 成。現代社会に対応で きる知識と価値観の向上。
青年講座	講座名	開催日・回数	受講者数	青年の余暇を有意義 に利用し、活動を通して
	芝生でモルックをしよう！	5月24日	4人	

事業名	内 容			事業目的
	はじめてのN I S A ～資産形成の基本編～	6月7日～ 6月21日 (全3回)	10人	仲間づくりを図り、青年活動を活発にしてい くとともに青年の学習 の場とする。
	親子お金のアカデミー	7月26日	4人	
	芝生でモルックをしよう！	10月18日、 10月25日 (全2回)	5人	
	ボディメンテナンスで体の歪み解消！	10月16日～ 12月18日 (全6回)	15人	
	秋を感じる和菓子を作ろう	10月22日、 10月29日	11人	
	バレンタイン用アイシングクッキーを作ろう	2月7日	8人	
	宝石せっけんを作ろう	3月7日	2人	

イ 青少年団体等育成・支援

社会教育団体の自主的な活動を助長し、会員相互の参加意識に基づく民主的な運営を育成する。

有志指導者の発掘と社会教育リーダーを養成し、各種指導体制の確立を図る。

(令和7年度)

事業名	内 容		事業目的
安城市スカウト 連絡協議会	ボーイスカウト ガールスカウト ・総会 ・理事会 ・新入団員募集 ・環境美化運動 ・各団活動	2団体 163人 2団体 63人 5月 月1回程度 7月・2月 年間 年間	市内のボーイスカウト・ガールスカウト各団相互の連絡を深めるとともに団の育成強化を図り、スカウト活動の推進を図る。
安城市子ども会 育成連絡協議会	連絡協議会 学区育成会 単位子ども会 会員 ・総会 ・子ども会実態調査 ・青少年リーダークラブ員募集 ・環境美化推進活動 ・ソフトボール・フットベースボール地区大会 ・ソフトボール・フットベースボール中央大会 ・花いっぱい花だん活動 ・安城市子ども会大会 ・スポーツ振興（ドッジボール大会ほか） ・文化振興（写生大会ほか）	1 20 79 3,252人	地域の子どもの健全育成を図る。

全国子ども会 安全共済会	・加入者 子ども会会員 3, 255人 子ども会指導者等 1, 532人 ・見舞金支給状況 15件 144, 279円	少年団体等の会員や指導者が安心して活動できるよう安全共済会への加入の促進を図る。
青少年リーダー 養成	・ジュニアリーダークラブ研修会 期日 4月～3月 会場 安城市青少年の家 参加者 23人（準ジュニアリーダーを含む）	子ども会活動をけん引していくために、必要な知識や技術を習得し、リーダーとしての素養を養う。
青少年ボランティア活動支援センター事業	ボランティア派遣件数 13件 ボランティア登録者数 49人	団体（地域子ども会）の活動を、ボランティア派遣を含めたコーディネートにて、支援する。

ウ 二十歳を祝う会

（令和7年度）

内 容		事業目的
日時	令和8年1月11日（日） 午後1時30分から	二十歳となった若者に対し、健やかに成長したことを祝い、社会の担い手として活躍できるよう激励する。
会場	東祥アリーナ安城	
対象者	2,000人	
参加者	1,545人（77.3%）	
内容	・式典 祝辞、お祝い映像投影（シーホース三河）、誓いのことば、恩師ビデオメッセージ投影 ・催し オンライン抽選会、撮影用パネル屋外設置 集合写真撮影 ・記念品 デンパーク入園券、デンパーク買物券、マーメイドパレス・スポーツセンター入場券、プラネタリウム観覧券、歴史博物館・市民ギャラリー観覧券	

エ 青少年健全育成

(令和7年度)

事業名	内 容
青少年健全育成推進事業 ○学区青少年健全育成会 ○学区青少年健全育成協議会 ○青少年健全育成連絡協議会 ○青少年健全育成顕彰事業 ○地域ぐるみ親子ふれあい推進事業	・36育成会（小学校区21、中学校区8、高等学校区7） ・「青少年をすこやかにはぐくむ都市」の地域ぐるみで推進を図る。 ・家庭の日の推進、地域懇談会、あいさつ運動、講演会、学級講座、校外指導活動、健全育成協議会との連携活動ほか ・9育成協議会（中学校区8、高等学校区1） ・学区青少年健全育成会と連携して健全育成活動を推進する。 ・地区別懇談会、講演会、校外指導活動ほか ・学区青少年健全育成会、健全育成協議会と連携して各種健全育成運動の推進を図る。 ・被顕彰者 指導育成者6人4団体、児童・生徒29人 ・親と子のふれあいを目的とした事業を実施することにより健全な家庭環境の醸成を図る。 （15学区で実施、参加者3,194人）
困難を抱える若者支援事業 ○若者総合相談窓口 ○親の学習会	・相談者数 202人（うち新規相談者126人） ・相談回数 延べ2,199回（うち対面相談344回） ※R6より、対面に加え電話、メール、LINE相談を追加。 ・参加者数 延べ37人 ・開催回数 6回
青少年環境浄化活動推進事業 ○有害図書類追放 （ポイボックス）回収状況 ○こども110番の家設置事業	・年間回収総数 3冊 ・うち有害図書数 3冊 ・市内全域 1,115箇所に設置
青少年健全育成等県民運動の推進と展開 ○青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動 ○青少年によい本をすすめる県民運動 ○子ども・若者育成支援県民運動 ○「家庭の日」県民運動	スローガン「非行の芽 はやめにつもう みな我が子」 夏期（7月1日～8月31日） 冬期（12月20日～1月10日） スローガン「育てよう 豊かな心 読書から」 （10月1日～31日） スローガン「はぐくもう 自分らしく生きる子 愛知の子」 （11月1日～30日） スローガン「親と子の 対話がつくる よい家庭」 （2月1日～28日） ・広報啓発活動

オ 子ども運動広場

地域住民が体育振興のために自主的に行う子ども運動広場の整備及び管理に対して助成を行い、体力づくり・地域のふれあい活動の推進を図る。

(令和7年度)

設置年度	設置町内会	現地面積 (㎡)	所在地
S 5 4	東別所	2, 7 9 6	東別所町屋敷
//	小川	4, 5 7 6	小川町山中
5 5	藤野	2, 9 8 5	川島町太田屋敷
5 6	根崎	5, 8 0 1	根崎町東出口
5 7	石井	3, 2 8 2	石井町辻原
//	東端	1, 7 5 9	東端町小山
5 8	柿碕	1, 0 1 2	柿碕町宮ノ西
//	東町	1, 0 6 8	東町獅子塚
5 9	上条	2, 9 6 3	上条町大通
6 0	城ヶ入	5, 9 2 5	城ヶ入町稲場
6 2	池浦	3, 7 7 8	池浦町丸田
6 3	東尾	2, 0 3 9	安城町赤塚
//	赤松	2, 3 8 2	赤松町隅田川
H 元	古井新町	1, 3 7 9	古井町一本木
3	里	3, 0 5 3	里町三郎
4	古井	2, 8 9 7	古井町釈迦山
7	山崎	2, 3 6 0	山崎町溝川
1 4	浜屋	4, 2 4 7	浜屋町宮東
1 6	横山	7, 9 1 9	横山町山田
1 7	箕輪	4, 1 5 5	箕輪町屋下
2 1	福釜	8, 0 0 0	福釜町十郎
R 元	大岡	1, 9 5 7	大岡町宮前
合計	2 2 か所	7 6, 3 3 3	

(3) 社会教育施設・団体等

ア 青少年の家

(ア) 青少年の家の概要

青少年やその指導者が、自主的で、規則正しい共同生活を営み、講座、話し合い、レクリエーション活動などを行う拠点施設。

所在地 安城市新田町池田上1番地（安城市総合運動公園内）

設置年月日 昭和58年3月27日新築（前青年の家・昭和42年開館）

平成18年2月20日改修（人にやさしい街づくり事業）

建物の構造 鉄筋コンクリート造2階建及び鉄骨鉄筋造一部2階建

建築の規模 建築延面積 1,999.82㎡

休館日 毎週月曜日（休日を除く）、年末年始

(イ) 利用状況

（令和7年度）

区分	青少年	一般	合計
件数（件）	4,539	994	5,533
人数（人）	42,390	11,443	53,833

イ 安祥閣

(ア) 安祥閣の概要

所在地 安城市安城町馬池97番地1

設置年月日 昭和54年3月26日

建物の構造 鉄骨及び鉄筋コンクリート造2階建

建物の規模 建築延面積 368.61㎡

休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日にあたるときはその翌日）、年末年始

指定管理者 令和6年度から5年間、テルウェル西日本株式会社東海支店に管理運営を委託

(イ) 利用状況

（令和7年度）

区分	茶室	茶室 （控室）	楓の間	櫨の間	桜の間	松の間	計
件数（件）	85	104	308	218	262	205	1,182
人数（人）	4,142	4,326	6,125	5,249	5,699	4,745	30,286

ウ 社会教育関係団体

(令和7年度)

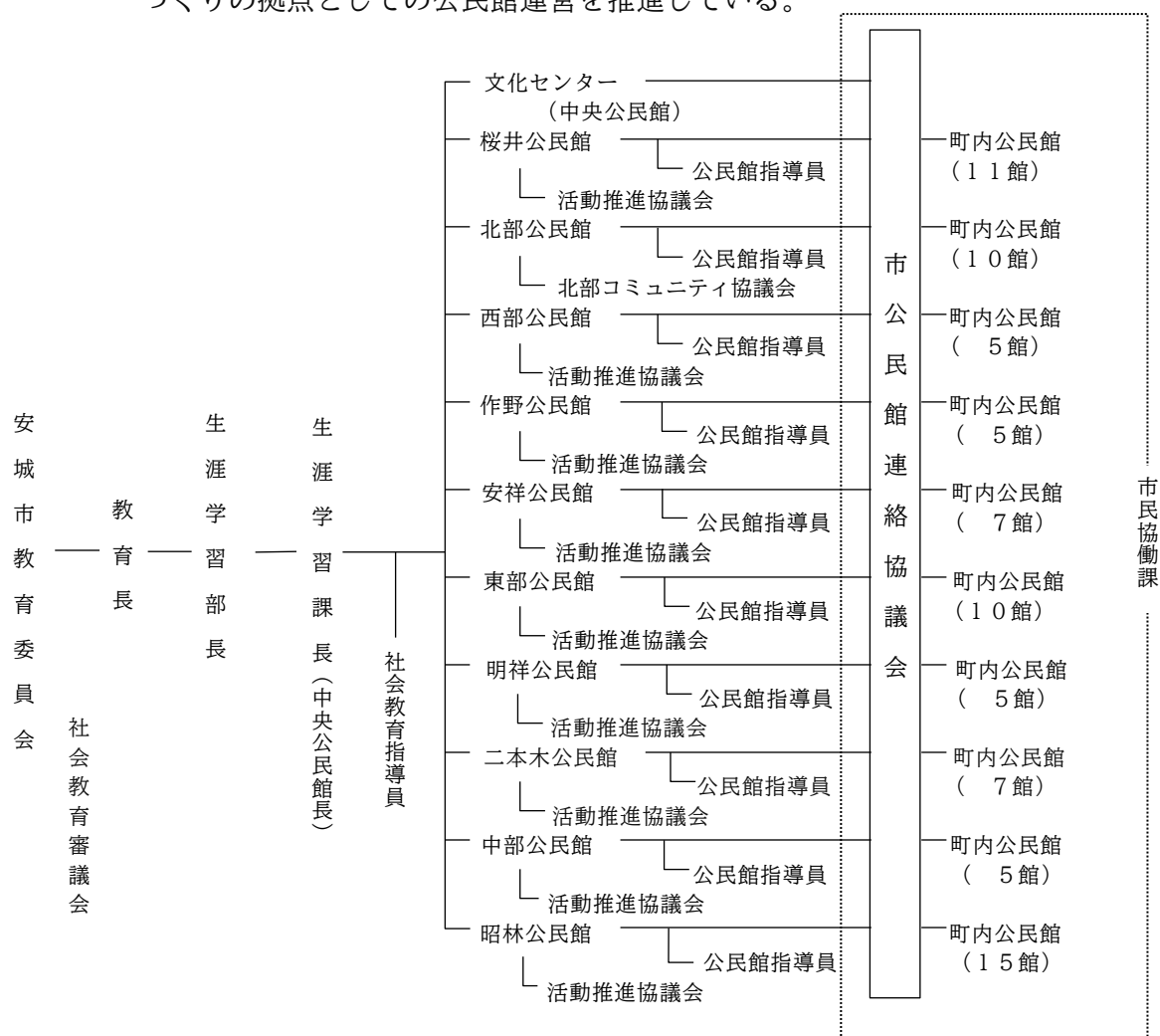
団 体 名	設立年月	単位組織数 (組織)	会 員 数 (人)	年間予算額 (千円)	市補助金額 (千円)
安城市子ども会育成連絡協議会	S.32.4	79	3,252	3,433	2,564
安城市スカウト連絡協議会	S.52.4	4	226	413	230
安城市小中学校PTA連絡協議会	S.49.5	29	91	950	0
安城市少年少女発明クラブ	H.11.5	1	109	6,102	2,300
安城文化協会	S.21.4	67	1,099	8,641	2,000

2 公民館

(1) 公民館組織

生涯学習の担い手は市民一人一人であり、その活動は、市民の自由な意志により、それぞれに合った手段や方法で行われるものである。

市の役割は、学習環境を整備し、市民の生涯学習活動を支援することにある。安城市の公民館は、中央公民館を中心として、公民館全体の一体感や方向性の確立に努めるとともに、地区公民館は、概ね中学校区に1か所という配置を踏まえ、学習機会や交流の場であることはもとより、地域に軸足を置いた地域のまちづくり、ひとづくりの拠点としての公民館運営を推進している。



(令和7年度)

(2) 公民館事業

公民館事業の目標に基づき、市民の世代各層にわたる学習意欲を満たすための事業を展開する。

また、地域住民のふれあい事業を推進し、地域における連帯意識の高揚と世代間の交流を図る。

ア 公民館講座の開設

各地区公民館において地域の特性を生かした各種の講座を開設し、知識・技能の向上や豊かな心と生きがいづくりに努める。

(令和7年度)

公民館名	前期	夏季	後期	冬季	その他	講座数計 (講座)	開催回数 (回)	受講者数 (人)
桜井公民館	6	5	5	2	0	18	49	275
北部公民館	4	4	4	4	0	16	39	204
西部公民館	4	6	5	5	0	20	50	295
作野公民館	4	4	3	5	0	16	33	188
安祥公民館	4	4	3	3	0	14	40	167
東部公民館	4	4	4	4	0	16	35	206
明祥公民館	4	5	5	3	0	17	29	229
二本木公民館	4	3	4	4	0	15	33	205
中部公民館	5	4	4	4	0	17	35	259
昭林公民館	4	5	4	5	0	18	43	239
計	43	44	41	39	0	167	386	2,267

イ 学級・教室等の開設

(ア) 高齢者教室

高齢者にふさわしい社会的適応能力を高め、積極的に生きがいを求める学習をする。

(令和7年度)

	教室名	地区	開催回数	参加者数
1	桜井高齢者教室	桜井	10	120
2	北部高齢者教室	北部	9	160
3	志貴高齢者教室	北部	9	59
4	西部高齢者教室	西部	8	115
5	作野高齢者教室	作野	8	82
6	安祥高齢者教室	安祥	6	85
7	東部高齢者教室	東部	8	115
8	明祥高齢者教室	明祥	5	143
9	二本木高齢者教室	二本木	8	61
10	中部高齢者教室	中部	6	92
11	昭林高齢者教室	昭林	10	172
	計		87	1,204

(イ) 家庭教育学級・乳幼児学級

家庭で子どもの教育をする場合の心構え・子どものしつけ・教育上の問題点など、家庭教育上の共通の問題や、乳幼児の健全な心身の成長を願い、子育てのあり方について学習する。

(令和7年度)

	教室名	地区	開催回数	参加者数
1	桜井乳幼児学級	桜井	7	15
2	北部乳幼児学級	北部	10	36
3	西部家庭教育学級	西部	8	30
4	作野乳幼児学級	作野	6	12
5	安祥家庭教育学級	安祥	8	26
6	東部家庭教育学級	東部	8	16
7	明祥家庭教育学級	明祥	8	19
8	二本木乳幼児学級	二本木	10	26
9	中部乳幼児学級	中部	10	19
10	昭林家庭教育学級	昭林	8	40
	計		83	239

(ウ) シルバーカレッジの開催

高齢者が健康で、充実した生活を送ることができるよう、社会適応能力や教養を高め、生きがいを積極的に求めるための幅広い学習をする。

学年	回数	受講者数	卒業・修了者数
1年生	23回	23	22(修了者)
2年生	23回	29	28(卒業者)

・レベルアップ講座(令和7年度)

回数 3回、受講者数 198人

(エ) ものづくり講座(令和7年度)

デジタル機器を導入し、利用講習会や講座を開催する。

回数 48回、受講者数 396人

(オ) 社会課題対応講座の開催(令和7年度)

社会的、現代的課題を座学や体験を交え総合的に学習し、現代にふさわしい公共性、自律性を備えた人間の育成に努める。

回数 3回、受講者数 26人

(カ) 公民館特別講座の開催(令和7年度)

各公民館への愛着をより深めてもらうことを目的に、各地区の地域課題や特色を活かした講座を開催する。

回数 10回、受講者数 137人

(キ) こどものまち・ドリームタウン(令和7年度)

日時 11月30日(日)

会場 安城市青少年の家

大人スタッフ22人、こどもスタッフ(こども実行委員含む)22人、

当日参加者数 408人

(ク) その他イベント

- ・「鼓響～未来へ繋ぐ共鳴～ SHIN×東山太鼓」 参加者 259人
- ・「太鼓の響きを感じてみよう」(「鼓響～未来へ繋ぐ共鳴～ SHIN×東山太鼓」内ワークショップ) 参加者 2人
- ・プラネタリウム音楽会「星空と安城市少年少女合唱団の共演 ～冬の星空に響く春の歌声～」 参加者 71人
- ・「宇宙服試着体験」(プラネタリウム音楽会「星空と安城市少年少女合唱団の共演 ～冬の星空に響く春の歌声～」内企画) 参加者 12人

(ケ) 市民企画講座

市民(団体)の柔軟な発想を生かすとともに、市民主体の生涯学習の推進を図ることを目的に実施する。

講座数 8 講座・参加者数 101人(令和7年度)

(コ) 職員出前講座・市民出前講座

講座数 40 講座・回数 336回(令和7年度)

(カ) 家庭教育講演会の開催

家庭教育や現代の子どもを取り巻く社会状況に関連した講演会を開催することにより、子どもたちを健やかに育む環境作りを推進する。(安城市小中学校PTA連絡協議会と共催)

(令和7年度)

1月17日	JAXA宇宙飛行士のおはなし 講師 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA) 宇宙飛行士 古川 聡 氏
-------	---

(シ) 自主グループ主催講座の開催

自主グループがその活動分野の講座を主催運営することで、市民主体の生涯学習の推進を促進するとともに学習機会の拡大を図る。

- ・実施グループ数 25グループ (令和7年度)
- (桜井4・北部0・西部1・作野0・安祥5・東部1・明祥5・二本木0・中部1・昭林8)
- ・参加者数 計81人

(ス) 地域で子育て活性化事業

生涯学習の視点から子育て支援に関する事業を実施することにより、子ども及び保護者の健全な成長と人間力の向上を促すとともに、地域全体での子育て支援体制の充実を図る。(NPO法人ほのぼのふぁみりーへ委託) (令和7年度)

- ・ほのぼの広場 49回開催 参加者 延べ1,027人
- ・ほのぼのクラブ 8回開催 延べ37人(全て東部公民館にて実施)

(セ) 公民館まつり・発表会・地域ふれあい事業・文化事業の開催

地区公民館及び町内公民館を拠点として活動しているグループや個人が1年間の学習の成果を発表できる場とするとともに、市民に公民館活動を広く知ってもらうために各地区公民館ごとに開催する。また、多種多彩な事業を通じ地域における世代を超えた交流を図る。

参加者 延べ28,698人

a 公民館まつり日程（令和7年度）

開催館	開催日
桜井公民館	2月14日～2月15日
北部公民館	3月7日～3月8日
西部公民館	11月22日～11月23日
作野公民館	1月24日～1月25日
安祥公民館	12月6日～12月7日
東部公民館	2月7日（2月8日は衆議院議員総選挙のため中止）
明祥公民館	11月8日～11月9日
二本木公民館	2月7日（2月8日は衆議院議員総選挙のため中止）
中部公民館	1月17日～1月18日
昭林公民館	2月14日～2月15日

b その他イベント

- ・桜井子どもハッピーハロウィン祭 参加者数 551人
- ・明祥こどもフェスティバル～ミュージックの日～
（明祥こどもジャズコンサート） 参加者数 190人

(リ) 天文普及事業

広大な広がりと長大な時の流れをもつ宇宙に、人々が描く夢やロマン、関心の強さといったものには計り知れないものがある。プラネタリウムの投映を含めた天文普及を図ることにより、これらの夢や興味を正しい方向へ導き、天文現象等に対する探究心や認識を高める。
(令和7年度)

a 星空ウォッチング

全4回（内1回は雨天のため解説のみ実施） 参加者 251人

b 特別投映

全31回 参加者 2,080人

c プラネタリウムフェスタ

- ・ふうせん工作 参加者 90人
- ・星座早見盤工作教室 参加者 51人
- ・解説員になろう！ 参加者 15人

(タ) 愛知教育大学連携公開講座の開催

協定に基づいて愛知教育大学と様々な講座を連携して開催する。

(令和7年度)

講座数 2講座、受講者数 28人

(3) 公民館等施設

(令和7年度)

施設名	開館年月	所在地	面積 (㎡)		施設内容
			敷地	延床	
文化センター (令和2年4月1日より、ネーミングライツにより「へきしんギャラクシープラザ」を愛称としている。)	S56.11	桜町17番11号	9,256	5,921	ホール(502席)、ファミリア(120席)、会議室(10室)、和室(2室)、展示室(2室)、音楽室、創作活動室、クッキングルーム
桜井公民館	S55.4	桜井町大役田1番地1	4,821	2,439	多目的ホール、会議室(6室)、和室(2室)、実習室、学習室、図書室(児童センター及び桜井支所併設)
北部公民館	S58.4	里町4丁目12番地4	10,746	2,699	多目的ホール、大会議室、会議室(4室)、実習室、和室、図書室(児童センター及び北部支所併設)
西部公民館	S60.4	福釜町釜ヶ淵20番地1	8,700 広場 (5,127)	1,030	大会議室兼体育室、会議室(1室)、和室(2室)、実習室、図書室、運動広場
作野公民館	S63.4	篠目町古林畔26番地	9,383 広場 (2,304)	1,439	大会議室兼体育室、会議室(3室)、和室(2室)料理実習室、実習室、図書室、学習室、多目的広場(児童センター併設)
安祥公民館	H2.4	安城町城堀30番地	歴史博物館 (7,590) に含まれる	1,328	大会議室兼体育室、会議室(3室)、和室(2室)、陶芸実習室、多目的室、図書室、学習室
東部公民館	H3.4	大岡町源覚16番地	5,709 広場 (1,949)	1,415	大会議室兼体育室、会議室(2室)、和室(2室)、料理実習室、実習室、芸能室、図書室、遊戯室、学習室、多目的広場
明祥公民館	H3.7	和泉町大下38番地1	明祥プラザ (26,086) に含まれる	明祥プラザ (3,987) に含まれる	多目的ホール、会議室(3室)、和室、実習室、芸能室、文化室、図書室、学習コーナー、テニスコート(明祥支所、福祉センター、児童センター及びふれあい学級南教室併設)
二本木公民館	H5.5	三河安城本町1丁目13番地9	1,708	1,652	大会議室兼体育室、会議室(4室)、和室(2室)、実習室、図書室、学習室(児童センター併設)
中部公民館	H7.8	新田町小山西83番地	3,360	1,716	大会議室、会議室(4室)、図書室、学習室、実習室(2室)、和室(2室)(児童センター併設)
昭林公民館	H8.4	安城町広美10番地1	4,634	1,498	ホール(159席)、音楽室(2室)、大会議室、会議室(2室)、実習室、遊戯室、和室(2室)

(4) プラネタリウム（文化センター内）

プラネタリウムは惑星の複雑な動き、全天の恒星、天文の諸現象などを模式的に簡易化して投映している。

また、本体投映機に加え種々な補助投映機を使用し、動きのある映像やバラエティーに富んだドラマチックな演出を行うことができる。

一般投映番組、幼児向番組、学習用番組（小学校４年生用）を投映している。

・所要時間 約６０分

・定 員 １２０名

・観 覧 料 大人３００円、小中学生１００円、幼児５０円

団体（２０名以上）大人２４０円、小中学生８０円、幼児４０円

・投映時間

回	時 刻	火～金曜日	土・日曜日・休日
１	１０：００	※１	幼児投映
２	１１：００	※１	一般投映
３	１３：００	※１	一般投映
４	１４：３０	※１	一般投映

※１ 春・夏・冬休みの期間は一般投映、それ以外の期間は団体投映

(5) 利用状況
ア 公民館施設

() は室数 (令和7年度)

	文化センター		桜井公民館		北部公民館		西部公民館		作野公民館		安祥公民館	
ホール	回 294	人 29,590	回 —	人 —	回 —	人 —	回 —	人 —	回 —	人 —	回 —	人 —
多目的 ホール	—	—	(3) 2,259	42,092	(3) 2,303	52,603	—	—	—	—	—	—
大会議室 兼体育室	—	—	—	—	—	—	722	10,336	665	15,296	737	11,988
大会議室	489	26,819	—	—	730	15,763	—	—	—	—	—	—
会議室	(8) 2,768	30,737	(6) 3,072	55,487	(2) 914	27,277	254	4,084	(2) 1,032	12,654	(4) 1,818	24,583
和室	(2) 330	3,500	(2) 483	3,549	226	2,270	(2) 578	4,039	(2) 675	5,592	(2) 467	6,612
研修室	—	—	—	—	274	5,210	—	—	—	—	—	—
実習室	—	—	232	3,922	230	4,474	203	3,276	179	4,338	—	—
料理実習室	119	2,226	—	—	—	—	—	—	175	1,969	—	—
陶芸実習室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	684	5,098
講座室	361	9,505	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
音楽室	571	4,975	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
創作活動室	262	3,121	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
視聴覚室	—	—	—	—	420	6,769	—	—	—	—	—	—
展示室	(2) 322	10,069	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
談話室 楽屋	(2) 351	3,062	—	—	—	—	—	—	345	2,598	—	—
計	5,867	123,604	6,046	105,050	5,097	114,366	1,757	21,735	3,071	42,447	3,706	48,281
卓球(人)	—		365		56		520		758		79	
パドミントン等(人)	—		400		56		—		—		—	
遊戯室(人)	—		—		—		—		—		—	
広場	—	—	—	—	—	—	160	5,599	198	2,973	—	—
児童センター(人)	—		27,047		33,713		—		26,862		—	
Fab Space(人)	2,639		—		—		—		—		—	
図書	人 —	冊 —	人 37,419	冊 126,387	人 52,763	冊 176,788	人 14,020	冊 48,394	人 46,459	冊 140,371	人 7,587	冊 23,470

	東部公民館		明祥公民館		二本木公民館		中部公民館		昭林公民館	
ホール (多目的)	回 —	人 —	回 1,552	人 28,244	回 —	人 —	回 —	人 —	回 334	人 15,622
大会議室・兼体育 室	746	11,406	—	—	830	14,834	—	—	—	—
大会議室	—	—	—	—	—	—	743	14,022	720	11,588
会議室	(2) 717	8,230	(3) 645	31,684	(4) 2,188	22,773	(4) 1,550	32,191	(2) 998	10,955
和室	(2) 522	5,397	109	1758	(2) 478	7,028	(2) 480	2,641	(2) 966	8,974
研修室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
教養室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
実習室	280	4,354	75	1,509	271	4,634	(2) 672	12,132	323	5,089
料理実習室	99	1,012	—	—	—	—	—	—	—	—
陶芸実習室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
芸能室	486	3,026	639	5,833	—	—	—	—	—	—
音楽室	—	—	—	—	—	—	—	—	(2) 1,385	11,031
文化室	—	—	207	3,356	—	—	—	—	—	—
談話室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,850	33,425	3,227	72,384	3,767	49,269	3,445	60,986	4,726	63,259
卓球(人)	289		616		478		—		—	
バドミントン等(人)	—		151		—		—		—	
テニスコート等(人)	—		32,268		—		—		—	
遊戯室(人)	3,247		—		—		—		7,682	
広場	58	1,164	288	4,609	—	—	—	—	—	—
児童センター(人)	—		23,619		27,508		39,944		—	
グラウンドゴルフ場(人)	—		734		—		—		—	
図書	人 11,807	冊 35,725	人 16,423	冊 58,941	人 41,933	冊 129,650	人 10,085	冊 27,270	人 —	冊 —

イ プラネタリウム(文化センター内)

	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	投映 回数	観覧 人数	投映 回数	観覧 人数	投映 回数	観覧 人数	投映 回数	観覧 人数
一般投映	605	23,507	618	24,351	597	24,361	620	24,217
団体投映	90	4,381	98	4,799	104	5,031	105	5,482

3 市民会館

(1) 市民会館の概要

市民会館は文化振興の拠点として、昭和47年5月5日に市制施行20周年を記念して開館した。1,200名収容のサルビアホールと会議室棟から構成されている。

ア 敷地面積	10,448.12 m ²
イ 建築面積	3,645.82 m ²
ウ 延床面積	6,693.41 m ²
エ 構造	鉄筋コンクリート3階建
オ 利用時間	午前9時から午後9時（ホール以外は午後10時まで延長可能。ただし1週間前までの申請が必要。）
カ 休館日	毎週火曜日（祝日を除く）・年末年始
キ ホール	ワンスロープ方式 1,200席【車椅子席 6席】 間口20m、奥行14m、高さ8m、回り舞台（直径11m） オーケストラピット59m ² 、楽屋及びリハーサル室9室
ク 会議室	9室 展示室：81m ² 、第1会議室：16名、第3会議室：20名 視聴覚室：72名、講座室：63名、和室：30名 第4会議室：30名、第5会議室：18名、大会議室：180名
ケ 指定管理者	令和5年度から5年間、株式会社ケイミックスパブリックビジネスに管理運営を委託

(2) 利用状況

（令和7年度）

	利用回数	利用人数
ホール	498回	83,010人
楽屋棟	1,120回	8,339人
会議棟	3,416回	50,828人

4 図書情報館

(1) 図書情報館事業の目標

- ア 総合的・計画的な各種図書サービスの推進
- イ 計画的な図書館資料の収集と保存、提供
- ウ 地域電子図書館の構築
- エ 子どもの読書活動の推進
- オ 市民との協働による図書情報館の運営

(2) アンフォーレ本館（図書情報館）の施設概要

※図書情報館は、アンフォーレ本館の2階から4階まで

所在地 安城市御幸本町504番地1

電話番号 (0566) 76-6111

竣工 平成28年12月20日

開館 平成29年6月1日

構造 鉄骨造5階建

敷地面積 6,931.83㎡

延床面積 9,193.43㎡（うち図書情報館6,808.41㎡）

建物面積 B1階 634.18㎡

ホール、控室兼会議室

1階 1,754.62㎡

総合案内、多目的室、証明・旅券窓口センター、カフェ、
配送整理室、リユース本コーナー、返却ポスト

2階 2,085.37㎡

図書情報館案内、ブラウジングコーナー、
返却ポスト、予約本コーナー、予約本受取機

〔子どものフロア〕児童図書、でんでんむしのへや、つどい
のへや、こどもグループ学習室等

3階 2,077.42㎡

〔暮らしのフロア〕一般図書、安城資料、ビジネス支援セン
ター、ディスカッションコーナー、ディスカッションルーム、
スタジオ、健康支援室・講座室、グループ学習室等

4階 2,010.70㎡

〔学問と芸術のフロア〕一般図書、公開書庫、閉架書庫、個
人学習室等

5階 631.14㎡

事務室、学校図書館支援室等

蔵書収容能力 45万冊（うち開架及び公開書庫34万冊、閉架書庫11万冊）

駐車場 273台（共用）

自転車置場 180台（共用）

利 用 案 内

- 開館時間 平日：午前9時～午後8時、土日祝日：午前9時～午後6時
- 休館日 毎週火曜日（祝日を除く）、館内整理日（毎月第4金曜日（祝日の場合は月の末日又は教育委員会が定める日））、年末年始（12月29日～1月4日）、特別図書整理期間（年1回5日以内）
- 貸 出 日本国内に住所のある人。図書・紙芝居・雑誌は1人あわせて10点まで、CD・DVDは別に5点まで、電子書籍は3冊まで（市内在住者のみ）、15日以内。
- 返 却 1階と2階の図書返却ポストを利用。公民館図書室で借りた本も返却が可能。

（３）蔵書冊数

年度別蔵書冊数及び図書購入費（消耗品費購入「雑誌」を除く）

単位：冊

区分 年度	蔵書冊数				市民1人 当たりの 蔵書冊数	図書購入費	
		一般書	児童書	その他		決算額 (千円)	市民1人当りの 購入費(円)
令和5年度	832,535	548,998	266,228	17,309	4.43	66,002	351
令和6年度	825,054	547,344	259,998	17,712	4.40	72,004	384
令和7年度	828,204	551,632	258,791	17,781	4.42	71,046	379

（４）登録者・来館者の状況

ア 年度別登録者数（市外を含む）

単位：人

項目	一般	児童	合計	全市人口	登録率 (%)
令和5年度	120,239	17,530	137,769	188,010	73.3
うち新規登録	3,730	1,431	5,161	—	3.7
令和6年度	125,435	17,074	142,509	187,500	76.0
うち新規登録	3,617	1,311	4,928	—	3.5
令和7年度	130,166	16,653	146,819	187,252	78.4
うち新規登録	3,206	1,333	4,539	—	3.1

*一般・児童の区分は16歳以上・未満による。全市人口は各年度末現在

*登録率上段は全市人口に対する登録者数の割合、下段は登録者数に対する新規登録者数の割合

イ 年度別市民登録者数・実利用者数

単位：人

項目	一般	児童	合計	全市人口	市民登録率 (%)
				市民実利用率 (%)	登録者利用率 (%)
令和5年度	89,486	15,519	105,005	188,010	55.9
実利用者数	21,594	6,411	28,005	14.9	26.7
令和6年度	92,547	15,065	107,612	187,500	57.4
実利用者数	21,480	6,162	27,642	14.7	25.7
令和7年度	95,330	14,692	110,022	187,252	58.8
実利用者数	20,761	5,624	26,385	14.1	24.0

*一般・児童の区分は16歳以上・未満による。全市人口は各年度末現在

ウ 年度別図書館来館者数

単位：人

年度	年間来館者数	開館日数 (日)	1日平均	開館以来の累計
令和5年度	600,996	293	2,051	4,328,311
令和6年度	637,473	293	2,176	4,965,784
令和7年度	593,255	294	2,018	5,559,039

(5) 図書館事業の状況

ア 年度別個人貸出利用者数

単位：人

年度	一般	児童	合計	図書館	地区公民館等
令和5年度	431,098	94,063	525,161	282,638	242,523
令和6年度	434,208	90,785	524,993	275,329	249,664
令和7年度	415,897	83,024	498,921	250,405	248,516

*地区公民館等は、平成16年10月から保健センターで始めた「赤ちゃんえほんかしだし隊」利用者を含む。

イ 年度別個人貸出冊数

単位：冊

年度	一般書	児童書	雑誌	A V資料	合計	市民一人 当たり
令和5年度	997,900	731,933	80,371	58,998	1,869,202	9.94
令和6年度	984,148	731,611	74,262	54,444	1,844,465	9.84
令和7年度	936,470	681,484	68,838	48,896	1,735,688	9.27

*一般書には郷土資料・大活字本・洋書を含み、児童書には絵本・紙芝居を含む。

ウ 年度別団体貸出の状況

単位：冊

年度	一般書	児童書	雑誌	A V 資料	合計	利用回数
令和5年度	5,610	150,665	234	109	156,618	571団体6,322回
令和6年度	6,107	143,214	158	187	149,666	560団体6,470回
令和7年度	6,046	137,795	83	243	144,167	585団体6,418回

*一般書には郷土資料・大活字本・洋書を含み、児童書には絵本・紙芝居・団体用を含む。

*個人以外の貸出、学校図書配送事業分を含む合計。

エ 予約・リクエスト

予約は、貸出中又は受取り希望館以外での所蔵、リクエストは未所蔵本に対応するサービス。

単位：件

年度	予約	うちWeb 予約	リクエスト 【購入】	相互貸借 【借用】	リクエスト 【断り】	相互貸借 【貸出】
令和5年度	259,632	214,644	3,045	715	414	1,739
令和6年度	266,174	220,905	3,022	666	276	1,779
令和7年度	259,112	215,958	3,129	797	320	1,571

オ 設備等利用サービス

インターネット上に電子図書館を開設し、市民に貸出（閲覧）を行っている。

また、図書情報館内では、館内専用でノートパソコン、タブレット、CD/DVD視聴機を貸出しているほか、予約して使用できる個人学習室（32席）、でん席（64席）を設けている。

単位：件

年度	電子図書 タイトル数	電子図書 貸出数	電子図書 予約数	ノートパソコン等 利用数	個人学習室 利用数	でん席 利用数
令和5年度	4,454	10,322	3,033	1,636	25,935	12,676
令和6年度	4,992	12,605	4,332	1,896	28,782	15,509
令和7年度	5,318	12,252	4,628	1,699	28,209	13,481

カ おはなし会・行事・講座等

おはなし会は、乳幼児向けに「えほんとわらべうたの会」、小学生向けに「にちようびのおはなし会」「ネコ・ロンデ朗読会」、夏休みには「毎日おはなし会」を開催しているほか、保育園、こども園に出向き「出前おはなし会」を行っている。

また、一般向けには「ブックトーク」「大人のための絵本朗読会」などを行っている。

令和7年度の子ども向け行事は、定例の「ぬいぐるみおとまり会」、「手作り絵本教室」などのほか、親子で楽しめる絵本ライブを開催した。一般向けには、加来耕三氏による講演会や、新春落語会などを開催した。

キ 登録ボランティアグループの活動

19のグループが、おはなし会、朗読会などを実施した。

その活動支援のため、会場の提供や団体貸出、スキルアップ講座を開催した。また、学校図書館ボランティア向けに、読み聞かせ研修を実施した。

ク 新美南吉の顕彰

令和4年度に実施した第3回新美南吉絵本大賞の大賞受賞作『ひとつの火』を令和5年度に絵本として発行し、安城版ブックスタートにおいて配付するとともに、図書情報館内や市内の書店等で販売を行っている。また、市内小学校において出前授業と絵本の読み聞かせを実施し、新美南吉の顕彰に努めている。

5 歴史博物館

(1) 目 標

生涯学習の観点から、歴史に関する学習施設として、調査研究の拠点として、より開かれた文化施設となることをめざし、重点目標を次のように設定する。

- ア 博物館資料を計画的に収集し、安全な保管に努める。
- イ 博物館資料の調査研究を行う。
- ウ 企画展・特別展を開催し、一般市民の利用に供する。
- エ 歴史を正しく学び、後世へ伝えるための学習機会の提供に努める。
- オ 博物館資料等に関する案内書、図録等の作成と頒布を行う。
- カ 学芸員の資質向上に努める。
- キ 学校・図書館・公民館等と協力し、その活動を援助する。

(2) 館 蔵 資 料

ア 博物館資料 (令和8年3月31日現在) 単位：点

歴 史	104,213	民 俗	16,969	そ の 他	43
考 古	6,815	美術工芸	445	計	128,485

イ 図書資料 (令和8年3月31日現在) 単位：冊

発掘調査報告書	15,760	総 記	1,134	技 術	608
市町村史	1,573	哲 学	659	産 業	742
図録・年報・自治体・大学・地域複合	17,567	歴 史	8,926	芸 術	3,054
雑誌・全国区地域	11,025	社会科学	2,645	言 語	99
計	45,925	自然科学	632	文 学	469
				計	18,968

(3) 施 設 概 要

所 在 地 安城市安城町城堀 30 番地
竣 工 平成 2 年 8 月 31 日
開 館 平成 3 年 2 月 8 日
構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造 3 階建
敷 地 面 積 21,446.88 m²
(市民ギャラリー・安祥公民館敷地含む)
建 築 面 積 2,403.72 m²
延 床 面 積 4,851.69 m²
1 階 2,115.55 m²
2 階 1,814.08 m²
3 階 922.06 m²

主たる部屋

《1 階》	《2 階》	《3 階》
企画展示室 296 m ²	常設展示室 836 m ²	収蔵庫(3) 293 m ²
文献資料室 71 m ²	講座室兼視聴覚室(80 席) 105 m ²	収蔵庫(4) 220 m ²
特別収蔵庫 120 m ²	体験学習室(45 席) 82 m ²	
整理修理工作室 152 m ²	資料室 109 m ²	
荷解場 171 m ²	収蔵庫(2) 47 m ²	
くん蒸室 25 m ²		
学芸研究室 68 m ²		

利 用 案 内

開 館 時 間 午前 9 時～午後 5 時
(入館は午後 4 時 30 分まで)
休 館 日 月曜日(祝日の場合は開館)
年末年始
常設展観覧料 個人 200 円(団体 160 円)
中学生以下は無料

5 歴史博物館

(1) 目 標

生涯学習の観点から、歴史に関する学習施設として、調査研究の拠点として、より開かれた文化施設となることをめざし、重点目標を次のように設定する。

- ア 博物館資料を計画的に収集し、安全な保管に努める。
- イ 博物館資料の調査研究を行う。
- ウ 企画展・特別展を開催し、一般市民の利用に供する。
- エ 歴史を正しく学び、後世へ伝えるための学習機会の提供に努める。
- オ 博物館資料等に関する案内書、図録等の作成と頒布を行う。
- カ 学芸員の資質向上に努める。
- キ 学校・図書館・公民館等と協力し、その活動を援助する。

(2) 館 蔵 資 料

ア 博物館資料 (令和8年3月31日現在) 単位：点

歴 史	104,213	民 俗	16,969	そ の 他	43
考 古	6,815	美術工芸	445	計	128,485

イ 図書資料 (令和8年3月31日現在) 単位：冊

発掘調査報告書	15,760	総 記	1,134	技 術	608
市町村史	1,573	哲 学	659	産 業	742
図録・年報・自治体・大学・地域複合	17,567	歴 史	8,926	芸 術	3,054
雑誌・全国区地域	11,025	社会科学	2,645	言 語	99
計	45,925	自然科学	632	文 学	469
				計	18,968

(3) 施 設 概 要

所 在 地 安城市安城町城堀 30 番地
竣 工 平成 2 年 8 月 31 日
開 館 平成 3 年 2 月 8 日
構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造 3 階建
敷 地 面 積 21,446.88 m²
(市民ギャラリー・安祥公民館敷地含む)
建 築 面 積 2,403.72 m²
延 床 面 積 4,851.69 m²
1 階 2,115.55 m²
2 階 1,814.08 m²
3 階 922.06 m²

主たる部屋

《1 階》	《2 階》	《3 階》
企画展示室 296 m ²	常設展示室 836 m ²	収蔵庫(3) 293 m ²
文献資料室 71 m ²	講座室兼視聴覚室(80 席) 105 m ²	収蔵庫(4) 220 m ²
特別収蔵庫 120 m ²	体験学習室(45 席) 82 m ²	
整理修理工作室 152 m ²	資料室 109 m ²	
荷解場 171 m ²	収蔵庫(2) 47 m ²	
くん蒸室 25 m ²		
学芸研究室 68 m ²		

利 用 案 内

開 館 時 間 午前 9 時～午後 5 時
(入館は午後 4 時 30 分まで)
休 館 日 月曜日(祝日の場合は開館)
年末年始
常設展観覧料 個人 200 円(団体 160 円)
中学生以下は無料

(4) 利用状況（令和7年度）

月別入館者

単位：人

月	展示観覧者						行事 参加者	文献 資料室 利用者	その他	延べ 入館者 合計	入館者 大人計	入館者 合計	開館 日数	1日 平均
	有料		無料		計						入館者 合計			
	大人	計	大人 中学生以下	計	大人計	合計								
					中学生以下計									
4	236	236	712 220	932	948 220	1,168	717	2	442	2,329	1,131 486	1,617	26	62
5	276	276	2,078 1,019	3,097	2,354 1,019	3,373	1,857	7	473	5,710	2,252 980	3,232	28	115
6	292	292	1,586 1,568	3,154	1,878 1,568	3,446	1,043	11	494	4,994	1,851 1,107	2,958	25	118
7	785	785	567 729	1,296	1,352 729	2,081	931	29	328	3,369	1,398 870	2,268	28	81
8	2,074	2,074	1,882 1,084	2,966	3,956 1,084	5,040	3,923	19	574	9,556	3,550 1,694	5,244	28	187
9	2,591	2,591	1,963 1,436	3,399	4,554 1,436	5,990	4,553	10	320	10,873	3,120 1,448	4,568	26	176
10	3,219	3,219	2,400 1,022	3,422	5,619 1,022	6,641	5,599	8	1,578	13,826	4,528 1,643	6,171	28	220
11	1,160	1,160	1,011 1,460	2,471	2,171 1,460	3,631	1,863	12	421	5,927	1,798 1,318	3,116	28	111
12	694	694	527 547	1,074	1,221 547	1,768	690	3	671	3,132	1,305 539	1,844	23	80
1	812	812	728 145	873	1,540 145	1,685	1,994	16	262	3,957	1,613 263	1,876	24	78
2	277	277	1,839 333	2,172	2,116 333	2,449	4,424	5	382	7,260	2,971 499	3,470	25	139
3	674	674	1,814 446	2,260	2,488 446	2,934	4,654	12	460	8,060	3,315 787	4,102	26	158
計	13,090	13,090	17,107 10,009	27,116	30,197 10,009	40,206	32,248	134	6,405	78,993	28,832 11,634	40,466	315	128

ア 展示

単位：人

4月19日～6月29日	企画展	『日本デンマークと呼ばれた時代 -100年前の碧海地域と農業-』	63日間	5,558
7月19日～8月31日	特別展	『空襲に備えよ -総力戦下の家庭 防空-』	40日間	3,933
9月13日～11月3日	特別展	『日本妖怪展』	47日間	8,780
11月22日～1月18日	特別展	『白山信仰と三河三白山』	45日間	2,955
2月7日～3月22日	企画展	『村中安全 -江戸時代の村と人々の 営み-』	39日間	4,146

イ 事業等参加状況

単位：人

展示 観覧者	講演会	歴博 講座	体験 講座	連続 講座等	歴博 イベント	歴博 演芸場	企画展 関連 イベント	文献 資料室	その他	延べ利用者 合計
40,206	349	241	632	160	8,892	1,381	20,267	134	6,731	78,993

6 埋 蔵 文 化 財 セ ン タ ー

(1) 概 要

埋蔵文化財センターは、市内の遺跡などの発掘調査をはじめ、出土した遺物の整理・収蔵・展示を行い、市民の文化財に対する意識を高め、理解を深めることを目的として、市民ギャラリーとの複合施設として設立された。

整理された土器などを公開するとともに、整理室での出土遺物の洗浄・復元など整理作業の様子も通路から見学できる。また、申し込みにより展示収蔵庫に保管している出土遺物の見学もできる。

主たる部屋

《1階》		《2階》		《3階》	
整理室(1～4)	218.51 m ²	会議室	45.66 m ²	考古資料収蔵庫	404.23 m ²
展示収蔵庫	200.80 m ²			資料室	88.65 m ²
				資料閲覧室	29.76 m ²
				写場	61.65 m ²

利用案内

開館時間	午前9時～午後5時
休 館 日	月曜日（祝日の場合は開館）、年末年始
入 場 料	無料

(2) 利用状況（令和7年度）

ア 埋蔵文化財センター総利用者数

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
422	760	1,171	1,523	1,763	1,117	1,265	1,368	452	363	434	509	11,147

イ 普及啓発活動

a 埋蔵文化財センター

令和6年度の発掘調査のうち塚越古墳、獅子塚古墳、本證寺境内の調査成果について、出土遺物、写真パネル等を交えて展示した。

また、調査成果を解説した無料リーフレットを作成して配布し、普及啓発に努めた。土器づくり教室は、週2日、開催した。

b 安祥文化のさとまつり

安祥文化のさとまつりの主要イベントとして、市内小中学生の歴史を題材とした自由研究及び歴史団体による研究成果発表展示「歴史のひろば」（展示室A・B）、第20回安城発掘のあゆみ展「知りたい！本證寺境内」と土器ボランティア作品展（展示室C）を実施した。「歴史のひろば」では市内の全小中学校から57点の出品を得て、そのうち歴史大賞に3名、歴史賞に8名を選出、表彰を行った。

7 市民ギャラリー

(1) 概要

市民ギャラリーは、作品発表・鑑賞・創作の3つの柱を基本に計画された施設で、埋蔵文化財センターとの複合施設として平成15年11月19日にオープンした。展示室は、1階に3室、3階に2室、展示面積は全室で604㎡の広さがあり、美術に関する表現の発表の場として、個人、グループ、市内・市外を問わず広く一般に利用できる。また、天井高を1階で4.5m、3階で4m確保し、ゆったり鑑賞できる空間を備えている。創作実習室では、美術に関する実技講座を中心に、作家や専門スタッフによる各種講座を開催し、専門的な設備の整った環境での芸術創造活動をめざす。

所在地	安城市安城町城堀30番地
竣工	平成15年8月20日
開館	平成15年11月19日
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造4階建
建築面積	2,080.25 ㎡
延床面積	4,579.05 ㎡
	1階 2,079.98 ㎡
	2階 235.87 ㎡
	3階 1,764.55 ㎡
	4階 498.65 ㎡
市民ギャラリーゾーン	1,615.05 ㎡
埋蔵文化財センターゾーン	1,035.46 ㎡
共用ゾーン	1,928.54 ㎡

主たる部屋

《1階》		《3階》		《4階》	
展示室A	102.45 ㎡	展示室D	167.73 ㎡	収蔵庫	253.10 ㎡
展示室B	163.67 ㎡	展示室E	169.48 ㎡		
展示室C	162.68 ㎡	控室(2室)	20.13 ㎡		
控室(3室)	27.10 ㎡	展示備品倉庫	77.32 ㎡		
展示備品倉庫	71.46 ㎡				
創作実習室	137.43 ㎡				

利用案内

開館時間	午前9時～午後5時(午後9時まで延長可)
休館日	月曜日(祝日の場合は開館)、年末年始
入館料	無料

展示面積と使用料

展示室名	展示面積	1日の使用料	6日間の使用料
展示室A	84 m ²	2,300 円	13,800 円
展示室B	130 m ²	3,660 円	21,960 円
展示室C	124 m ²	3,660 円	21,960 円
展示室D	133 m ²	3,760 円	22,560 円
展示室E	133 m ²	3,760 円	22,560 円

※展示室Cは、固定の展示ケース（展示面積22 m²）を含む。

※1日の利用時間は、午前9時～午後5時（午後9時まで延長可）。

美術品収蔵点数（令和8年3月31日現在）単位：点

部 門	寄 贈	購 入	計
絵 画	755	163	918
書	271	49	320
工 芸	180	33	213
写 真	7	2	9
デザイン	8	0	8
彫 塑	34	7	41
小 計	1,255	254	合計 1,509

(2) 利 用 状 況（令和7年度）

単位：人（利用団体のみ単位：団体）

月	ギャラリー展示室利用者数						会議室	※創作 実習室	延べ 利用者数	利用 団体	ギャラリー 入館者
	A	B	C	D	E	合計					
4	1,233	1,179	0	0	0	2,412	10	99	2,521	4	1,321
5	2,701	2,094	364	1,730	1,730	8,619	45	128	8,792	3	2,852
6	1,636	2,147	1,132	1,150	986	7,051	53	184	7,288	12	4,544
7	1,322	1,322	1,322	6,248	6,248	16,462	65	321	16,848	1	7,863
8	2,543	2,775	48	15,184	15,184	35,734	25	452	36,211	5	18,921
9	1,381	1,613	234	802	802	4,832	4	137	4,973	9	3,181
10	3,918	3,918	4,044	3,935	3,935	19,750	80	361	20,191	2	7,311
11	4,245	4,245	4,245	3,269	3,269	19,273	32	267	19,572	3	5,073
12	1,593	1,199	0	619	619	4,030	68	95	4,193	5	2,501
1	1,057	1,162	0	181	0	2,400	51	160	2,611	4	1,628
2	1,324	1,251	914	1,595	1,595	6,679	20	527	7,226	4	4,362
3	2,360	1,853	1,046	1,188	590	7,037	19	183	7,239	9	3,906
合 計	25,313	24,758	13,349	35,901	34,958	134,279	472	2,914	137,665	61	63,463

※文化財係主催イベント、ギャラリーエントランス利用等を含む。

1日平均 (315日間)	201
-----------------	-----

(3) 文化振興

芸術・文化の振興を図るため、市民芸術祭・芸術鑑賞会・市民ギャラリーでの企画展等を開催して、芸術文化活動への参加機会を提供し、芸術鑑賞への機運を高める。また、文化協会等文化団体との連携を密にし、事業を推進する。

(令和7年度)

事業名	内容
第66回市民芸術祭	
○第58回市民芸能まつり	10月11日・12日 会場：市民会館 詩吟、舞踊、大正琴、フラダンス、フラメンコ等 1,630人
○文芸・技芸・趣味の集い	10月10日～12日、11月2日～8日 会場：へきしんギャラクシープラザ、市民会館、デンパーク (文芸部門) 俳句、短歌等 (技芸部門) 茶道、いけばな、盆栽、菊、帯結び等 215人 合計13団体
○第37回市民文芸まつり	7月 作品募集 一般・学生(公募) 俳句 4,044人／7,249句 短歌 2,165人／2,240首 11月23日 発表大会 会場：市民会館 入賞作品の発表・表彰式・講評、作品集の発刊 180人
芸術鑑賞会事業	8月23日 「人間国宝野村峰山と竹の新撰組 尺八LIVE」 221人 11月～12月 クラシック音楽アウトリーチ 276人 6月～11月 古典芸能アウトリーチ 359人
第42回市民演劇祭	2月 8日 415人
市民公募文化事業(舞台)	4月19日 第9回コーロ・ヴォーチェ演奏会～創立40周年を迎えて～ いのちの響き 519人 7月 6日 学校で聴いた名曲をホールで聴こう 教科書クラシック第2弾 708人 7月19日 第14回定期演奏会 700人 11月23日 ビッグ・ラバーズ・オーケストラ第18回定期演奏会 784人 11月30日 安城市民吹奏楽団第52回定期演奏会 868人 12月21日 安城市少年少女合唱団第21回演奏会 541人 12月21日 みんなで楽しむクリスマスコンサート 63人 1月11日 読み聞かせコンサート 五感で味わう癒しと感動のハーモニー 133人 3月 7日 第6回安城ヴォーカル・フェスティバル 413人

事業名	内容
	3月8日 第38回竹友会 民謡と和太鼓発表会 870人
市民公募文化事業（美術）	1月21日～25日 N a n a h a 「描破～空白に描くステッチ～」 182人
中学生日曜教室（音楽）	サクソ、トランペット、クラリネット、パーカッション、フルート 前期6月～10月 5講座 後期12月～2月 5講座 延べ146人
アートマネジメント講座 「チームで作り上げるアートのイベント」	7月5日～3月28日 9講座 延べ44人 3月15日 主催コンサート「弦楽四重奏による癒しコンサート」114人
安城市こども文化祭	7月26日～3月22日 実行委員会3回、ホール講習会 3月22日本番公演「安城市こども文化祭 みんなで楽しく！」 入場者数 140人 出演者 こども4団体（17人） プロアーティスト1団体（3人）

市民ギャラリーで実施した事業

（令和7年度）

事業名	内容
第82回安美展	前期：10月24日～11月2日（9日間） 2,768人 後期：11月7日～11月16日（9日間） 1,798人 全展示室
企画展事業 ○市民ギャラリー特別展 「絵画から見る日本デンマークの時代～愛知近代美術の表現者たち～」	6月27日～8月1日（32日間）展示室A・B・C 1,483人 関連事業 ワークショップ「ラタンで北欧風トレイを作ろう」 10人 ギャラリートーク 22人 ギャラリーコンサート 53人
○市民ギャラリー企画展 「旅人のレンズー風景画の世界ー」	10月3日～10月13日（10日間）展示室D・E 1,431人 関連事業 ワークショップ「写真初心者向けの風景写真講座」 22人
○市民ギャラリー企画展 「横山夕葉展 墨跡に込める心の響き」	2月13日～2月28日（15日間）展示室D・E 1,562人 関連事業 揮毫会 102人 ワークショップ「筆を結んで書に向かうー筆仕上げと大きな書ー」 13人 ワークショップ「今の“一文字”」 203人

事業名	内容
美術講座	「銅版画・リトグラフ講座（午前・午後コース）」はじめ全14講座 会場：創作実習室 延べ1,046人
指定管理者の自主事業	
○安祥文化のさと写生作品展	6月25日～7月6日（11日間） 展示室D・E 382人
○「つちやあゆみ展 木と音のワンダーランド」	7月19日～8月31日（40日間） 展示室D・E 21,207人
○ART garden ANJO 2025企画展「ルナールまがひの親愛」	11月18日～11月30日（13日間） 展示室D・E 565人
○大人のためのスケッチ・水彩画講座受講者作品展	2月13日～2月28日（15日間） 展示室C 899人
○和の手仕事 有松鳴海絞り染め職人に学ぶ受講者作品展	3月7日～3月15日（8日間） 展示室C 449人
講座関連事業	全13講座（企画展関連事業を除く） 延べ446人

8 丈山苑

(1) 概 要

風雅を楽しみ詩作に遊ぶ悠々自適の精神を大切に生きた石川丈山の生誕地に、丈山が開き隠棲した詩仙堂の雰囲気再現した建物「詩泉閣」と庭園で構成された風雅の施設「丈山苑」を運営している。平成18年度より指定管理者制度を導入、エリアワン株式会社が管理運営している。

所 在 地 安城市和泉町中本郷180番地1

竣 工 平成8年3月19日

開 苑 平成8年5月21日

敷 地 面 積 9,100㎡

建 築 面 積 429.11㎡

延 床 面 積 394.12㎡

利 用 案 内

開 苑 時 間 午前9時～午後5時

(入苑は午後4時30分まで)

※ただし春・夏・秋に年間10～20日間程度午後9時まで夜間開苑する。

休 苑 日 月曜日(祝日の場合は開苑)・年末年始

入 苑 料 個 人 100円(団体80円)

中学生以下は無料

呈 茶 料 金 一 服 500円

(2) 利用状況(令和7年度)

単位：人

月	入苑者数			開苑日数	呈茶数	貸室利用者数
	大人	中学生以下	合計			
4	1,795	120	1,915	26	1,469	21
5	3,551	126	3,677	28	2,847	36
6	2,003	164	2,167	25	1,593	39
7	1,669	105	1,774	28	1,586	10
8	1,549	111	1,660	28	1,606	21
9	4,183	258	4,441	26	2,650	10
10	2,743	303	3,046	28	2,317	32
11	6,789	348	7,137	28	4,769	0
12	3,123	215	3,338	12	2,170	0
1	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0
合計	27,405	1,750	29,155	229	21,007	169

※1～3月は修繕のため休苑

行 事 名				参加人数
茶 会	5 月 11 日	新緑茶会		305
	6 月 15 日	煎茶のおいしい飲み方体験		75
	6 月 28 日	学生連携茶会		122
	8 月 29 日 ～ 8 月 30 日	近隣の店舗と連携した喫茶体験、珈琲販売 (和菓子に合うコーヒー)		26
	11 月 9 日	おいしい玉露の淹れ方		3
	11 月 15 日	黄檗売茶流 煎茶茶会		42
	11 月 23 日	紅葉茶会		691
	12 月 2 日 ～ 12 月 7 日	珈琲セミナーマルシェ		71
	5 月 25 日	琉球舞踊を知る・触れる		84
	5 月 27 日	丈山苑のお庭の見方・鑑賞のコツ		12
	5 月 30 日	お庭を見ながら瞑想時間～お坊さんによる瞑想誘導つき～		21
	5 月 30 日	お庭を見ながら写経時間 ～般若心経の書と心に触れる～		15
演奏会、講座、ワークショップ	5 月 31 日 ～ 6 月 1 日	苔玉づくり体験		37
	6 月 4 日	気軽なお茶会体験 ～はじめてのお茶会マナー（裏千家）～		17
	6 月 24 日 ～ 6 月 25 日	着物で集合！お庭鑑賞ツアー		中止
	6 月 27 日	お庭を見ながら瞑想時間		6
	6 月 27 日	お庭を見ながら写経時間		6
	7 月 2 日 ～ 7 月 3 日	はじめてさんの浴衣の着方		3
	7 月 8 日	お坊さんと学ぶお茶【歴史編】		7
	7 月 15 日 ～ 7 月 16 日	丈山苑のお庭鑑賞ツアー		5
	7 月 16 日	石川丈山を知る（古書より）		4
	7 月 19 日	まゆ爺の民話語り		21
	7 月 20 日	漢詩勉強会		19
	7 月 26 日 ～ 7 月 27 日	みんなで作ろう己書うちわ		46
	8 月 2 日 ～ 8 月 3 日			
	8 月 9 日 ～ 8 月 10 日			
	8 月 23 日	語りの会		40
	7 月 21 日 ～ 8 月 31 日	遊べる折り紙		204
	8 月 26 日	お坊さんと学ぶお茶【人物編】		13
	8 月 27 日	丈山苑の文学散歩		5
	8 月 29 日	篆刻体験		8
	9 月 4 日	おいしいお茶の飲み方		3
	9 月 16 日	お庭を見ながら瞑想時間		12
	9 月 16 日	お庭を見ながら瞑想写経時間		26
	9 月 18 日	香を聞く		20
	9 月 19 日	お庭を見ながら読書体験		10
	9 月 20 日	詩吟劇		76
	10 月 1 日 ～ 10 月 5 日	糸かけアート体験		37
	10 月 7 日	お庭を見ながら瞑想時間		14
	10 月 7 日	お庭を見ながら写経時間		21
	10 月 18 日 ～ 10 月 19 日	折り紙体験		18
	10 月 21 日	丈山苑の庭鑑賞ツアー		5
	10 月 22 日	丈山苑の文学散歩		5
	10 月 23 日	丈山苑の魅力を動画にしよう		2
	10 月 26 日	詩吟大会		30
	10 月 30 日	輪切りプレート時計作り(1回)		0
	11 月 4 日	お坊さんと学ぶお茶【続・歴史編】		12
	11 月 5 日	気軽なお茶会体験 はじめてのお茶会マナー		13
	11 月 6 日 ～ 11 月 7 日	丈山苑のお庭鑑賞ツアー		11
	11 月 8 日	三河万歳		42
	11 月 9 日	間伐材を使った時計作り(2回)		4
展 示 会	4 月 1 日 ～ 4 月 6 日	創華=装花「花乃舞」		463
	5 月 3 日 ～ 5 月 9 日	紫フェスタ		1,178
	5 月 17 日 ～ 5 月 24 日	本藍染展示会		965
	6 月 7 日 ～ 6 月 14 日	小原和紙作品展		557
	6 月 17 日 ～ 6 月 22 日	一閑張・染め二人展		473
	7 月 12 日 ～ 7 月 13 日	いけばな展		335
	7 月 22 日 ～ 8 月 10 日	己書展示		941
	9 月 5 日 ～ 9 月 14 日	ちぎり絵『セツ』展示会		2,536
	9 月 24 日 ～ 9 月 28 日	絵てがみ展		925
	10 月 1 日 ～ 10 月 5 日	糸かけアート展		413
	10 月 8 日 ～ 10 月 12 日	グラスアート展		500
	10 月 14 日 ～ 10 月 19 日	折り紙展		852
	10 月 29 日 ～ 11 月 2 日	キルト展		727
	11 月 11 日 ～ 11 月 16 日	石工展示会		1,044
	11 月 11 日 ～ 11 月 24 日	Art Garden Anjo 安城ギャラリー連携		3,110
	11 月 25 日 ～ 11 月 30 日	骨董+花展示		2,835
	12 月 2 日 ～ 12 月 7 日	小京都の幻 流木と紅による静寂と風の宴		2,006
	12 月 9 日 ～ 12 月 14 日	羊毛の織物展		1,342
宵・夜間開苑	4 月 18 日 ～ 4 月 20 日	夜間開苑 ～つつじ灯りの夜～		64
	5 月 3 日 ～ 5 月 5 日	紫フェスタ ライトアップ		132
	7 月 4 日 ～ 7 月 6 日	夕涼み会		203
	8 月 1 日 ～ 8 月 31 日	五感で涼む夏の丈山苑 冷抹茶、竹風鈴、願い事短冊、打ち水、氷柱等		1,378
	11 月 28 日 ～ 11 月 30 日	夜灯		374
	12 月 5 日 ～ 12 月 7 日	紅葉ライトアップ①		178
	12 月 12 日 ～ 12 月 14 日	紅葉ライトアップ②		303
合 計				26,103

9 文化財保護事業

(1) 目 標

かけがえのない文化財を永く後世に保存するとともに、これを活用して文化の創造に役立てることは現代の我々の重大な義務である。

文化財保護法の精神に基づき、文化財保護の意識高揚を図るため、次の目標を設定する。

ア 指定文化財の保護管理の充実

イ 普及・啓発活動の推進

ウ 文化財保護・保存団体の育成

(2) 指定文化財

ア 指定文化財一覧（令和8年3月31日現在）

単位：件

種 別	有 形 文 化 財									民俗文化財		記念物		計
指定区分	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡	典籍	古文書	考古資料	歴史資料	有形民俗文化財	無形民俗文化財	史跡	天然記念物	
国指定		2						1			1	3		7
県指定	1	2	2	1				1		1	1		2	11
市指定	11	37	15	9	17	6	29	13	1	14	2	45	9	208
計	12	41	17	10	17	6	29	15	1	15	4	48	11	226

イ 文化財の保存管理

(ア) 指定文化財保存修理等

善光寺如来絵伝・聖徳太子絵伝（本證寺 10年計画の4年目）、本證寺庫裏、山崎城址、桜井町棒の手伝承地

(イ) 指定天然記念物へのマツクイムシ防除のため薬剤注入

桜井神社のクロマツ

(ウ) 無形民俗文化財保存伝承事業

三河万歳、桜井町の棒の手、桜井神社のまつり囃子

ウ 埋蔵文化財の調査・保護

木戸屋敷遺跡・木戸古城跡、明治航空基地関連施設等の試掘・発掘調査

エ 普及・啓発活動

あおぞら歴史教室、安祥文化のさとまつり、出前講座等の開催

オ 本證寺境内整備事業

史跡本證寺境内整備検討会議を4回開催、史跡整備（造成、樹木伐採、土塁修復、張芝・給水給電整備等）を実施

カ 歴史的建造物緊急調査

歴史的建造物の記録保存（堀内町K家、川島町O家）

キ 本證寺内堀環境調査事業

本證寺内堀のハスを再生するため、自主グループである「本證寺ハスの会」を中心に、外来生物駆除や堀周辺の環境整備を実施

ク 文化財悉皆調査

市内寺院等の美術工芸品の調査（野寺町善證寺、野寺町本證寺）

10 史料整理活用事業

平成23年度から文化財・博物館活動の下支えとなる文書史料・民具資料の調査・収集・整理・保存を担当する事業として発足し、市内に存在する資料の調査や、寄贈資料・収蔵未整理資料の目録作成等をおこなった。

(1) 調査・収集資料（歴史・民俗分野）（令和8年3月31日現在）

ア	寄贈資料累計	歴史資料	104,213点
		民俗資料	16,969点
イ	資料群数	寄贈資料群	14件
		調査資料群	8件
	・	新規文書資料	10,317点
		新規民具資料	190点
		新規美術工芸資料	1点

(2) 教育普及活動

- ア 古文書研究団体への利用古文書の提供
- イ 他自治体等に対する市史編さんのアドバイス、情報提供

11 スポーツ

(1) スポーツ振興の基本方針

- ア 「する」スポーツの振興
- イ 「みる」スポーツの振興
- ウ 「おしえる」スポーツの振興
- エ 「ささえる」スポーツの振興
- オ スポーツ施設環境の整備
- カ スポーツ団体等の育成・支援
- キ 東京2020オリンピック・パラリンピック開催後におけるスポーツの振興

※令和7年度までは第2次安城市スポーツ振興計画の期間、令和8年度からは安城市生涯学習推進計画（生涯学習・スポーツ）の計画期間

(2) 「する」スポーツの振興

ア 生涯にわたりスポーツに親しめる環境の充実

事業名	趣旨・内容	期日	備考
地域スポーツ振興事業	各種スポーツ事業を地域で促進して、地域の自主グループ等の育成と新たなスポーツ実施者の拡大を図るためスポーツ推進委員に事業の企画運営を委託する。	通 年	29小中学校区 スポーツ推進委員委託事業
	令和7年度実績	参加人数 8,850人（事業 12大会、19スクール、36交流会） 楯交付 2事業	
	令和6年度実績	参加人数 9,245人（事業 24大会、24スクール、19交流会） 楯交付 2事業	
	課題・問題点	・事業のPR方法の検討	
安城矢作川マラソン（旧：安城シティマラソン）	年齢、競技レベルに応じた部門を設定して、多くの参加を得て、市民の健康増進と競技力の向上を図る。	12月14日	14部門 実行委員会
	令和7年度実績	参加者数2,003人	
	令和6年度実績	参加者数2,182人	
	課題・問題点	・前回大会で明らかになった課題及び反省点を整理・検討する必要がある。	
安城市民デンパーク駅伝大会	駅伝を通じてスポーツを実施する機会の場の提供と、市民の健康維持・増進に努める。また、チームワークの育成を推進する。	1月25日	8部門 実行委員会
	令和7年度実績	参加者数189チーム、1,142人	
	令和6年度実績	参加者数189チーム、1,149人	
	課題・問題点	・来場者駐車場の確保が必要である。 ・大会終了後のデンパークでの楽しみ方を提供する。	
安城市民地域スポーツ交流会	中学校区を中心にスポーツ交流会を開催して、スポーツを通じた「地域・仲間・健康」づくりの推進と、新たなスポーツ実施者の拡大をスポーツ推進委員と地域のクラブや子ども会等の関係者と連携して実施する。	通 年	中学校区で開催 スポーツ推進委員委託事業
	令和7年度実績	実施種目 卓球、バドミントン、ソフトバレー 他 参加人数1,728人 中央交流会134人	
	令和6年度実績	実施種目 卓球、バドミントン、ソフトバレー 他 参加人数1,701人 中央交流会130人	
	課題・問題点	・地区の連携を図れる広域の交流会（中学校区以上）を実施する。	

事業名	趣旨・内容	期日	備考
おはよう！ふれあいラジオ体操会	ラジオ体操を通して市民が身体を動かす楽しさやふれあいの場を作るとともに、運動をするきっかけや健康づくりなど、町内会・子ども会・スポーツ推進委員会を中心に開催する。	7月21日～ 8月31日	子ども会・町内会への呼びかけをしている。
	令和7年度実績	・チャレンジ宣言会場数 101会場 ・実施日数 42日、各会場の最大参加数 3,914人/日 ・実施延べ日数 620日、参加延べ人数 29,097人	
	令和6年度実績	・チャレンジ宣言会場数 111会場 ・実施日数 42日、各会場の最大参加数 3,792人/日 ・実施延べ日数 512日、参加延べ人数 20,700人	
	課題・問題点	・未実施地域に対する参加勧奨が必要である。 ・熱中症対応を考慮する必要がある。	
歩け・ランニング運動	各会場でコースを設定して約4kmの歩行、約5kmのランニングを行い、日常生活の中で、いつでもどこでもできる健康づくり運動の推進をする。	5月～3月	歩け12会場 ランニング4会場
	令和7年度実績	参加人数 延べ 4,891人（皆勤賞 185人）	
	令和6年度実績	参加人数 延べ 4,768人（皆勤賞 182人）	
	課題・問題点	・参加者、指導員の固定化や高齢化が進んでいる。	
	5月から3月までに5つの歩けイベントを企画し、秋のウォーキングは「鳳来寺」とした。	5月11日 5月25日 6月 8日 11月30日 3月29日	かきつばた歩け 茶臼山ウォーキング しょうぶ歩け 秋のウォーキング ハツ面山歩け
	令和7年度実績	参加者244人	
	令和6年度実績	参加者146人	
	課題・問題点	・魅力のあるコースを検討する必要がある。	
野外センター開放事業	大自然の中で家族や一般グループの親睦を深める場の提供及びキャンプ指導を行う。	7月～9月	一般グループ・ 家族単位
	令和7年度実績	作手 開放日数 23日、利用人数 延べ 381人 茶臼 開放日数 0日、利用人数 延べ 0人	
	令和6年度実績	作手 開放日数 19日、利用人数 延べ 363人 茶臼 開放日数 33日、利用人数 延べ 317人	
	課題・問題点	・ファミリーキャンプの参加者数が減少をしている。	

事業名	趣旨・内容	期日	備考
体育館スポーツスクール (スポ協委託事業)	初心者を対象に少年、女性、一般、親子の部のスクールを1～3期に分けて開催し、スポーツに親しむ機会の場を提供するとともに、自主グループ化を推進する。	通 年	延べ32講座
	令和7年度実績	参加申込み人数 延べ1, 129人	
	令和6年度実績	参加申込み人数 延べ947人	
	課題・問題点	・新しい種目を取り入れるなどして、内容を検討する。	
スポーツセンター健康推進事業	スポーツセンター利用者の健康増進を図るための講座を開催し、トレーニング場、ランニングコース、プールの活用を図る。	通 年	高齢者・親子・子ども・家族・一般市民対象
	令和7年度実績	・体力測定会（一般2回、高齢者2回） ・健康増進講座（12回：トレーニング）・水泳タイム測定会（2回） ・健康増進講座（11回：プール）	
	令和6年度実績	・体力測定会（一般2回、高齢者2回） ・健康増進講座（11回：トレーニング）・水泳タイム測定会（2回） ・健康増進講座（16回：プール）	
	課題・問題点	夏休みの子供教室は駐車場混雑の影響を受けやすい。	
スポーツセンタープール教室事業	年間を通じてプールを活用した教室を開催する。	27回	子ども・一般市民対象
	令和7年度実績	参加申込人数 延べ1, 673人	
	令和6年度実績	参加申込人数 延べ1, 590人	
	課題・問題点	プールの設備の影響を多く受けたため、安定した教室開催を検討したい。	
スポーツ行事支援	各種団体が主体となる西三河地域以上の大会事業に対しての補助を行う。	通 年	スポーツ団体対象
	令和7年度実績	申請団体1団体（バスケットボールWリーグ）	
	令和6年度実績	申請団体3団体（全三河ソフトテニス選手権大会、バスケットボールWリーグ等）	
	課題・問題点	事前協議書の内容を十分に審査すること。	

イ 競技スポーツの振興

事業名	趣旨・内容	期日	備考
スポーツ選手育成事業 (スポ協委託事業)	スポーツ協会加盟団体のジュニア選手(小・中・高校生対象)の指導と育成をスポーツ協会に委託する。	通 年	
	令和7年度実績	13競技会及び指導会、1団体	
	令和6年度実績	14競技会及び指導会、2団体	
	課題・問題点	指導会をすることで、技術のレベルアップを図る。複数回の開催を検討する。	
市スポーツ表彰制度 (平成22年～市制度に変更)	スポーツ協会及び加盟団体役員として功績のあった者にスポーツ特別功労賞・スポーツ功労賞を、全国大会等で優秀な成績を収めた選手・団体に優秀選手表彰を、体育指導者と後援者に感謝状を授与する。	10月8日	安城選手権大会 総合開会式で表彰する。 安城市スポーツ表彰選考要綱による。
	令和7年度実績	スポーツ特別功労賞1人、スポーツ功労賞3人、特別優秀選手1人、優秀選手52人、優秀団体14団体	
	令和6年度実績	スポーツ功労賞10人、特別優秀選手5人、優秀選手53人、優秀団体15団体	
	課題・問題点	表彰対象の選手及び団体は、スポーツ協会と全国大会出場激励金交付申請で把握が可能であるが、それ以外の選手・団体の情報を得る媒体が少ない。	
全国大会等激励金制度	国際大会、全国大会に出場する選手・団体に激励金を交付して、大会参加の支援を行う。	通 年	全国大会等激励金交付要綱による。
	令和7年度実績	国際大会6人、全国大会個人246人・9団体	
	令和6年度実績	国際大会8人、全国大会個人258人・10団体	
	課題・問題点	・市民サービスを向上させるため、激励金の交付方法を見直した。	
安城選手権大会 (スポ協委託事業)	上級競技者の競技会として、安城市のスポーツレベルの向上を目的に実施する。また、秋季大会の総合開会式を大会前日に開会し、秋季大会全体の士気高揚を図る。	7月27日 9月28日～ 12月7日 2月15日	夏季大会(水泳) 秋季大会 (20競技) 冬季スキー大会 (一般・少年)
	令和7年度実績	参加人数 夏季179人、秋季3,401人、冬季38名	
	令和6年度実績	参加人数 夏季221人、秋季3,416人、冬季44名	
	課題・問題点	・水泳、陸上参加者の一般参加者の促進を図る。 ・冬季の参加者が減少傾向のため促進を図る必要がある。	
市町村対抗駅伝競走大会 (スポ協委託事業)	愛知万博開催を記念し県内市町村が健脚を競い合うと同時に、友好を深める。	12月6日	愛・地球博 記念公園にて
	令和7年度実績	選手16人、監督・コーチ・スタッフ等19人	
	令和6年度実績	選手18人、監督・コーチ・スタッフ等20人	
	課題・問題点	・選手選抜方法を検討する。 ・合同練習会の調整が難しいが、目標をたてて、気持ちを一つにすることが大切である。	

(3) 「みる」スポーツの振興

事業名	趣旨・内容	期日	備考
スポーツ観戦推進事業 (スポ協委託事業)	トップレベル選手の競技、模範試合の観戦及び実技指導会を開催する。	11月23日	
	令和7年度実績 (ミックススポーツフェスタ)	参加人数56人 指導者：(株)アドヴィックス柔道部、(株)豊田自動織機卓球部、中部電力愛知ソフトテニス部	
	令和6年度実績 (軟式野球)	参加人数250人(観覧者含む)*指導会 指導者：GTRニッセイ	
	課題・問題点	・スポーツ協会委託事業として実施している。企画、集客など開催内容について十分な検討を行う。(小中学校との連携など)	
ホームチームサポーター事業	安城市にある企業チームと連携し、みるスポーツの推進とジュニアの育成を図る。また、地元企業チームを市民主体となり応援していく体制を整え、ささえるスポーツとしても定着を図る。	通年	・デンソーブライト ペガサス ・アイシン ウィングス ・GTRニッセイ
	令和7年度実績 (3チーム支援)	・JDリーグ(ソフトボール)2節開催 観戦者3,105人 ・Wリーグ(バスケットボール)2節開催 観戦者4,332人 ・各2チームクリニックの開催 ・関係課との連携事業(トップアスリートによる講話等) ・ANJO みんなのスポーツフェスティバル 来場者数:4,791人 ・その他啓発イベント等 10回以上	
	令和6年度実績 (3チーム支援)	・JDリーグ(ソフトボール)3節開催 観戦者8,001人 ・Wリーグ(バスケットボール)1節開催 観戦者2,442人 ・各3チームクリニックの開催 ・関係課との連携事業(トップアスリートによる講話等) ・ANJO みんなのスポーツフェスティバル 来場者数:1,909人 ・各チームのPR桜井駅装飾 ・その他啓発イベント等 10回以上	
国際・全国大会推進活動事業	国際・全国トップレベルのスポーツ大会や合宿を誘致し、「みる」スポーツを推進するとともに、スポーツを通じて本市の魅力を発信する。	通年	大会の誘致や実施及び合宿の誘致や実施
	令和7年度実績	・JDリーグ(女子ソフトボールリーグ) 4月12日～14日 観戦者数1,338人 5月18日～19日 観戦者数1,767人 ・全日本大学女子ソフトボール選手権大会(インカレ) 8月29日～31日 観戦者数7,272人 ・プロレス(NEW JAPAN ROAD in ANJO) 11月8日 観戦者数1,483人 ・バスケットボール女子日本リーグ 12月20日～21日 観戦者数1,987人 1月31日～2月1日 観戦者数2,345人	

事業名	趣 旨 ・ 内 容	期 日	備 考
国際・全国大会推進活動事業（続き）	令和6年度実績 ・JDリーグ（女子ソフトボールリーグ） 4月12日～14日 観戦者数3,037人 5月17日～19日 観戦者数2,543人 9月7日～8日 観戦者数2,421人 ・パリ五輪パブリックビューイング 来場者数：481人 ・全日本大学女子ソフトボール選手権大会（インカレ） 8月30日～9月2日 観戦者数4,734人 ・プロレス（NEW JAPAN ROAD in ANJO） 11月9日 観戦者数1,239人 ・バスケットボール女子日本リーグ 2月22日～23日 観戦者数2,442人		

（４）「おしえる」スポーツの振興

事業名	趣 旨 ・ 内 容	期 日	備 考
スポーツ指導者講習会 （スポ協委託事業）	スポーツ指導者養成講習会（H26年度から実施） ①スポーツ医学 ②スポーツ社会学 ③AED使用法 ④スポーツ心理学 ⑤ジュニアスポーツ指導者 ⑥スポーツ栄養学 ⑦発育発達を踏まえたスポーツ指導法とスポーツ障害 ⑧ジュニアスポーツで育てたいフィジカル・リテラシーと指導法 ⑨ラジオ体操実技講習会 ※公開講座：中京大学名誉教授 湯浅景元氏	①～⑨ 7月9日～ 11月15日	9回
	令和7年度実績	参加延べ人数209人（応募人数49人、認定者38人）	
	令和6年度実績	参加延べ人数220人（応募人数43人、認定者38人）	
	課題・問題点	・中学・高校部活動における指導についての内容などの講座の検討。 ・参加者がより理解しやすい講座内容の検討を講師と行う。	

（５）「ささえる」スポーツの振興

事業名	趣 旨 ・ 内 容	期 日	備 考
スポーツ推進委員事業	スポーツを通して地域の活性化やつながりを図り、スポーツ行事等の企画運営を行うことでスポーツの振興を進める。	通 年	スポーツ推進委員56人を委嘱
	令和7年度実績	総会1回、役員会3回、委員会3回、4部会11回各開催	
	令和6年度実績	総会1回、役員会2回、委員会3回、4部会10回各開催	
	課題・問題点	・部会の開催方法の検討が必要である（オンライン形式等）。 ・委員同士の連携強化が必要である。	
安城シティマラソン	令和7年度：ボランティアスタッフ等345人	12月14日	
安城市民デンパーク駅伝大会	令和7年度：ボランティアスタッフ等147人	1月25日	

(6) スポーツ施設環境の整備

項 目	内 容	備 考
中央スポーツ施設	屋外体育施設管理事業 総合運動公園多目的倉庫屋根及び外壁改修工事 令和7年度安城市総合運動公園陸上競技場第4種L認定工事 ソフトボール場A球場観客席及び屋根改修主体工事 安城市総合運動公園園路等改修工事 体育館管理事業 東祥アリーナ安城（安城市体育館）防火設備修繕 レジャープール施設管理事業 安城市レジャープール起流ポンプ取替修繕 スポーツセンター施設管理事業 防火シャッター蓄電池取替修繕	施設の新設工事 経年劣化、使用 劣化による修繕
学校スポーツ施設	学校施設開放事業 大型扇風機電源プラグ修繕 屋内運動場暗幕開閉修繕 体育館冷風機修繕 運動場夜間照明点灯盤修繕 体育館コンセント修繕 体育館扇風機修繕	経年劣化、使用 劣化について点 検・修繕
公園スポーツ施設	地域公園施設の有効活用 池浦西公園（サッカー等）平成20年4月1日～ 桜井中央公園（ソフトボール、サッカー等） 平成21年4月1日～	公園緑地課との 連携

事業名	趣 旨 ・ 内 容	期 日	備 考
レジャープール施設管理事業	令和8年度から令和13年度までの5年間の継続事業 施設の効率的、効果的な管理運営を図るため、平成18年度から指定管理者運営制度を導入した。	通 年	

(7) スポーツ団体等の育成・支援

事業名	趣旨・内容	期日	備考
学校施設開放事業	学校施設（運動場・体育館など）を学校教育活動に支障のない範囲で、地域スポーツ活動の場として広く市民のスポーツ活動に開放する。 中学校については平成30年度から、小学校については令和2年度から事務をスポーツ課に移行した。	通年	小学校21校 中学校8校 県立学校5校
	令和7年度実績		延べ開放回数10,951回、延べ利用人数194,027人
	令和6年度実績		延べ開放回数11,744回、延べ利用人数192,317人
	課題・問題点		・登録団体の利用マナーを向上するために、団体登録時に利用時の注意事項について、文書を配布し指導する。
スポーツ協会及び加盟団体の育成	スポーツ協会加盟団体の運営指導及び事業支援		通年
	令和7年度実績		・23スポーツ団体（一般6,905人、小中2,930人） ・1普及団体（スポーツ少年団：剣道、サッカー等） ・1学校体育団体（中小体連安城支所）
	令和6年度実績		・23スポーツ団体（一般6,812人、小中2,951人） ・1普及団体（スポーツ少年団：剣道、サッカー等） ・2学校体育団体（中小体連安城支所・高体連安城支部）
	課題・問題点		・公益財団法人としての運営に対し、引き続き支援していく。
総合型地域スポーツクラブ育成事業	総合型地域スポーツクラブが地域で果たす役割、重要性を地域の関係役職者等で話す機会を設け、事業を実施してきたが、「あんしょうスポーツクラブ」は令和3年度末をもって解散することとなった。	通年	東山中地区スポーツ推進委員を中心に取り組んだ。
	令和7年度実績		・ポッチャのスクールの実施、卓球交流会などを開催することができた。
	令和6年度実績		・事業企画と今後の進め方を話し合う機会を設けた。（12回） ・ポッチャのスクールの実施、卓球交流会などを開催することができた。
	課題・問題点		・活動を大きくすることが目標ではなく、地域住民の参加や理解を促していくことが重要である。 ・クラブを継続していくために事務局となる人員確保や勉強会を行い、役員の育成を図る。

(8)東京2020オリンピック・パラリンピック開催後におけるスポーツの振興

事業名	趣旨・内容	期日	備考
オリンピック・パラリンピック及びアジア競技大会強化指定選手奨励金交付等	オリンピック・パラリンピック及びアジア競技大会愛知県強化指定選手に対して、競技力向上を支援することを目的に、奨励金の交付を行う。 また、アジア競技大会の本市での開催について、啓発を行うとともに、同大会を市内でも盛り上げるため大会期間中にパブリックビューイング等を実施し、本市ゆかりの選手が出場する際の応援機会の充実を図る。	通 年	
	令和7年度実績 ・強化指定選手 3人（オリンピック・アジア競技大会：フェンシング、セーリング、バレーボール） ・七夕まつりやららぽーと等でのPRブース出展（17回、延べ7,931人） ・小学校へ出張授業等（7回、延べ1,083人） ・アジア競技大会応援献立の実施（9月～3月、月替わりで実施） ・近代五種アジア選手権への親子招待、小学校招待（1,370人） ・SNSでの発信（110投稿） ・JR安城駅、名鉄新安城駅、本庁舎、北庁舎及び安城市総合運動公園付近装飾 ・アンフォーレ大型モニター、LEDビジョンでの動画投映 ・大会ボランティア募集のPR		
	令和6年度実績 ・強化指定選手 4人（オリンピック・アジア競技大会：フェンシング、セーリング、バレーボール、ハンドボール） ・七夕まつりや公民館まつり等でのPRブース出展（21回、延べ7,190人） ・小学校へ出張授業等（20回、延べ3,393人） ・保育園等への大会マスコットキャラクター訪問（2回、延べ245人） ・SNSの開設（130投稿） ・市役所エレベーター装飾、保育課壁面装飾 ・ららぽーと、JDリーグ決勝での出展（2回） ・シティマラソン、スポーツ表彰者へチラシの配布 等 ・大会ボランティア募集のPR		

別紙1

公益財団法人安城市スポーツ協会の組織（令和7年度）

（1）スポーツ団体
23団体

陸上競技協会
剣道連盟
柔道会
軟式野球連盟
弓道会
ソフトテニス連盟
卓球協会
バレーボール連盟
サッカー協会
ソフトボール協会
バスケットボール協会
スキー連盟
アーチェリー協会
水泳協会
バドミントン協会
テニス協会
ゲートボール協会
インディアカ協会
グラウンド・ゴルフ協会
フットベースボール協会
J K F空手道連盟
スポーツウエルネス吹矢協会
ミニテニス協会

（2）普及団体
1団体

スポーツ少年団 ・複合・サッカー・剣道・バレーボール

（3）学校体育団体
1団体

愛知県中小学校体育連盟 安城支所

(9) 体育施設

名 称	開設年月日	所 在 地	規 模 及 び 施 設 内 容
安 城 市 体 育 館 (令和元年10月1日より10年間、ネーミングライツにより「東祥アリーナ安城」を愛称としている。)	昭和54年 1月21日	新田町新定山41-8	敷地面積 11,929 m ² 建築面積 5,285 m ² 建築延面積 10,067 m ² 構 造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨 4階建 体育場 50m×38m (1,980 m ²) 天井高 14m 固定観客席 982 席 (車椅子用6 席含) 利用種目 バレーボール、バスケットボール 各3 面 バドミントン 12 面 その他 幼児体育室 66 m ² 卓 球 場 493 m ² 卓球台 16 台 剣 道 場 493 m ² 公 式 2 面 柔 道 場 493 m ² 公 式 2 面 弓 道 場 454 m ² 和 弓 5 人立 アーチェリー 10 人立 ランニングコース 一周 200m 会議場 第1～第4、大会議室 計5 室
安 城 市 陸 上 競 技 場	昭和41年 12月16日	新田町池田上1	敷地面積 20,000 m ² (全天候第4種L 公認) 400mトラック 8コース 145m直走路 10コース フィールドはサッカー兼用 夜間照明全面 スタンド メインスタンド鉄筋コンクリート 造2階建 996 m ² 840 人程度収容 サブスタンド屋根付 637 m ² 540 人程度収容 芝スタンド 2,286 m ² 3,000 人程度収容
安 城 市 野 球 場	昭和44年 3月31日	新田町池田上1	敷地面積 20,000 m ² 軟式野球 3 面 (ソフトボール3 面) 夜間照明 3 面 A 本部席スタンド サブスタンド 鉄筋コンクリート造2階建 875 m ² 602 人程度収容 B 本部席スタンド 180 人程度収容
安城市テニスコート	平成8年 3月31日	新田町新定35	敷地面積 15,000 m ² 砂入り人工芝コート 10 面 ソフトテニス、硬式テニス兼用 夜間照明 10 面 本部棟 36 m ² 選手控席 500 人程度

名 称	開設年月日	所 在 地	規 模 及 び 施 設 内 容
和泉公園運動広場	昭和60年 7月20日	和泉町大海古1	敷地面積 11,014 m ² 軟式野球 1面 ソフトボール 2面 サッカー 1面 夜間照明
安城市多目的 グラウンド	平成10年 1月18日	池浦町池上111-1	敷地面積 8,140 m ² サッカー1面 (100m×64m) ゲートボール 12面 グラウンドゴルフ 2コース 夜間照明
安城市レジャープール (平成18年度から 指定管理者による 運営管理)	平成11年 7月24日	和泉町大下23-1	敷地面積 13,982 m ² 延床面積 5,634 m ² 建築面積 4,556 m ² 構 造 鉄筋コンクリート造 2階建 流水プール (敷:124m×3.7m×0.8m) (敷: 82m×3.0m×0.8m) 造波プール (水深=0m~1.2m) ウォータースライダー 2基 (8.0m×62m、4.5m×33m) 25mプール 6コース (水深=1.1m~1.3m) 幼児プール 1コース (水深=0.6m) 採 暖 室 56 m ² (2ヶ所) トレーニングルーム 217 m ² ミーティングルーム 26 m ² ロッカー数 948個 (プール) 60個 (トレーニング) 駐 車 場 250台 駐 輪 場 180台
安城市スポーツセンター	平成13年 4月1日	新田町新定41	延床面積 8,484 m ² 建築面積 6,120 m ² 構 造 鉄筋コンクリート造 3階建 アリーナ 43.2m×37.1m (1,615 m ²) 利用種目 バスケットボール、バレーボール各2面 バドミントン 8面 プ ー ル 25mプール 短水路公認 9コース(水深=0.3m~1.4m) 幼児プール 82 m ² (水深=0.6m) ジャグジー 11 m ² トレーニングルーム 390 m ² エアロビクスルーム 123 m ² 幼児体育室 24 m ² 会議室 2室 研修室 1室
安城市ソフトボール場 (令和元年10月1日より10 年間、ネーミングライツに より「デンソーブライトペ ガサススタジアム」を愛称 としている)	平成13年 7月28日	新田町新定47	A グラウンド面積 7,130 m ² 夜間照明設備 内野席スタンド 981人 外野席スタンド 1,267人 B グラウンド面積 7,130 m ² バックネット裏スタンド 140人 内外野スタンド 2,220人程度
安城市西部 グラウンドゴルフ場	平成27年 4月13日	福釜町釜ヶ渕120	敷地面積 7,158 m ² グラウンドゴルフ 8コース
秋葉公園テニスコート	令和2年 1月5日	大山町1-7-1	敷地面積 1,500 m ² 砂入り人工芝コート 2面 ソフトテニス、硬式テニス兼用 夜間照明 2面

(10) 利用状況

施 設 名		令和7年度(人)	令和6年度(人)
体 育 館	体育場(アリーナ)	95,556	84,366
	ランニングコース	859	451
	卓 球 場	49,837	49,406
	剣 道 場	21,178	19,235
	柔 道 場	15,009	17,212
	弓 道 場	5,085	4,553
	会 議 室	4,767	4,788
	大 会 議 室	0	0
	小 計	192,291	180,011
レ ジ ャ ー プ ール	プール 個人	184,447	195,024
	プール 専用	26,762	26,780
	トレーニング	31,406	31,238
	小 計	242,615	253,042
ス ポ ー ツ セ ン タ ー	Sアリーナ	53,653	49,978
	会議室・研修室	961	1,145
	プール個人	33,497	34,577
	プール専用	13,792	13,440
	エアロビクスルーム	7,284	7,069
	トレーニングルーム	52,360	52,282
	小 計	161,547	158,491
屋 外 施 設	陸上競技場	38,999	55,463
	野 球 場	30,709	35,430
	テニスコート	75,068	78,769
	多目的グラウンド	42,534	35,145
	ソフトボール場	17,496	24,574
	和 泉 公 園	24,391	19,650
	西部グラウンドゴルフ場	4,828	4,846
	秋葉公園テニスコート	18,823	19,667
	小 計	252,848	273,544
学 校 施 設 開 放	小 学 校	137,843	134,771
	中 学 校	50,628	54,063
	県 立 学 校	5,556	3,483
	小 計	194,027	192,317
セ ン タ ー 野 外	茶臼山高原野外センター	0	317
	作手高原野外センター	381	363
	小 計	381	680
合 計		1,043,709	1,058,085

付 録

1 歴代の委員

氏 名	在 任 期 間	委員長・教育長在任期間
石 原 勝 一	S27.11. 1 ～ S38. 9.30	委員長 S27.11. 1～S38. 9.30
林 政 一	27.11. 1 ～ 31. 9.30	
畔 柳 一 雄	27.11. 1 ～ 31. 9.30	
阿 部 時 信	27.11. 1 ～ 30. 4.29	
中 根 知恵子	27.11. 1 ～ 31. 9.30	
長 坂 忠 一	30. 4. 1 ～ 31. 9.30	
沓 名 彦一郎	30. 4. 1 ～ 31. 9.30	
内 藤 理 一	30. 5. 9 ～ 30. 9.30	
加 藤 喜 衛	31.10. 1 ～ 35. 9.30	
神 谷 芳 根	31.10. 1 ～ 35. 9.30	
八 木 つ や	31.10. 1 ～ 36. 9.30	
神 谷 史 蔵	31.10. 1 ～ 33. 9.30	(教育長) 31.10. 1～ 33. 9.30
富 田 郁太郎	33.10. 1 ～ 39. 6.30	(教育長) 33.10. 1～ 39. 6.30
都 築 操	35.10. 7 ～ 39.10. 6	
社 本 幹 雄	35.10. 7 ～ 43.10. 6	委員長 38.10. 1～ 43.10. 6
鳥 居 修 爾	36.10. 1 ～ 40. 9.30	
築 山 欽 治	38.10. 1 ～ 42. 9.30	
石 原 教太郎	39. 7. 1 ～ 41. 9.30	(教育長) 39. 7. 1～ 41. 9.30
岩 月 脩	39.10. 7 ～ 43.10. 6	
杉 浦 喜久治	40.10. 1 ～ 41. 1.14	
神 谷 ひさ子	41. 3.26 ～ 42. 1.12	
石 川 芳 則	41.10. 1 ～ 48. 3.31	(教育長) 41.10. 1～ 48. 3.31
水 越 正 男	42. 4. 4 ～ 48. 9.30	
杉 本 庄 平	42.10. 1 ～ 54. 9.30	委員長 48. 6.12～ 53.10. 6
神 谷 茂	43.10. 7 ～ 51.10. 6	委員長 43.10. 7～ 48. 6.12
杉 山 新 次	43.10. 7 ～ 51.10. 6	
杉 浦 秋 雄	48. 4. 1 ～ 53. 9.30	(教育長) 48. 4. 1～ 53. 9.30
林 庸 治	48.10. 1 ～ H元. 8. 6	53.10. 7～ 56.10. 6 63.10. 7～H元. 8. 6
神 谷 義 郎	51.10. 7 ～ 63.10. 6	56.10. 7～ 58.10. 6 62.10. 7～ 63.10. 6
加 藤 正	51.10. 7 ～ 55.10. 6	
木 村 政 夫	53.10. 1 ～ 63. 9.30	(教育長) 53.10. 1～ 63. 9.30
畔 柳 芳 夫	54.10. 1 ～ H 3. 9.30	58.10. 7～ 60.10. 6 H元.10. 7～H 2.10. 6

氏 名	在 任 期 間	委員長・教育長在任期間
神 谷 四 郎	55.10. 7 ～ 8.10. 6	S 60.10. 7～S 62.10. 6 H 2.10. 7～H 6.10. 6
岡 田 仁	63.10. 1 ～ 9. 3.31	(教育長) S 63.10. 1～H 9. 3. 1
神 谷 宏	63.10. 7 ～ 8.10. 6	委員長 H 6.10. 7～ 7.10. 6
横 田 俊 二	H元.10. 1 ～ 9. 9.30	委員長 7.10. 7～ 9. 9.30
兵 藤 睦 子	3.10. 1 ～ 15. 9.30	委員長 9.10. 2～ 11. 9.30
野 村 聰	8.10. 7 ～ 16.10. 6	委員長 11.10. 1～ 13. 9.30
杉 浦 實	8.10. 7 ～ 18. 9.30	委員長 13.10. 1～ 14. 9.30 16.10. 1～ 17. 9.30
鳥 居 靖 之	9. 4. 1 ～ 17. 3.31	(教育長) 9. 4. 2～ 17. 3.31
神 谷 忠 雄	9.10. 1 ～ 17. 9.30	委員長 14.10. 1～ 16. 9.30
杉 浦 辰 子	15.10. 1 ～ 23. 9.30	委員長 17.10. 1～ 18. 9.30 22.10. 1～ 23. 9.30
鳥 居 勇 夫	16.10. 7 ～ 24.10. 6	委員長 18.10. 1～ 20. 9.30 23.10. 1～ 24.10. 6
本 田 吉 則	17. 4. 1 ～ 26. 3.31	(教育長) 17. 4. 2～ 26. 3.31
岩 瀬 せつ子	17.10. 1 ～ 21. 9.30	委員長 20.10. 1～ 21. 9.30
大 見 宏	18.10. 1 ～ 28.10. 6	委員長 21.10. 1～ 22. 9.30 24.10. 7～ 25.10. 6 27.10. 7～ 28.10. 6
榑 原 ちさと	21.10. 1 ～ 25. 9.30	
船 尾 恭 代	23.10. 1 ～ R元.9.30	委員長 25.10. 7～ 26.10. 6 28.10. 7～ 29.10. 6
都 築 雅 人	24.10. 7 ～ 28.10. 6	委員長 26.10. 7～ 27.10. 6
鳥 居 恵 子	25.10. 1 ～ 29. 9.30	
杉 山 春 記	26. 4. 1 ～ R3. 3.31	(教育長) 26. 4. 1～ R3. 3.31
近 藤 倉 生	28.10. 7 ～ 2. 9.30	
伊 奈 希	29.10. 1 ～ 3. 9.30	
加 藤 滋 伸	28.10. 7 ～ 現 在	委員長 29.10. 7～ 30. 3.31
久 恒 美 香	R元.10. 1 ～ 現 在	
深 津 敦 司	2.10. 1 ～ 現 在	
石 川 良 一	3. 4. 1 ～ 現 在	(教育長) R 3. 4. 1～ 現在
中 村 沙 織	3.10. 1 ～ 7. 9.30	
松 林 亜紗子	7.10. 1 ～ 現 在	

(旧桜井町)

氏 名	在 任 期 間	委員長兼教育長在任期間
平 岩 三太郎	S27.11. 1 ～ S32. 3.31	S31. 9. 1～S32. 3.31
林 庸 治	27.11. 1 ～ 31. 8.31	27.11. 1～ 30. 4.30
浜 田 師 良	27.11. 1 ～ 40. 3.31	32. 4. 1～ 40. 3.31
石 川 新 平	27.11. 1 ～ 31. 8.31	
大 屋 七郎三	27.11. 1 ～ 31. 8.31	
加 藤 龍 静	27.11. 1 ～ 31. 8.31	
杉 浦 浅 市	28. 4. 1 ～ 31. 8.31	30. 5. 1～ 31. 8.31
岡 田 善 十	30. 9. 1 ～ 38. 4.30	
稻 垣 又 作	31.10. 1 ～ 32. 3.31	
富 田 義	33.10. 1 ～ 38. 4.30	
水 越 正 男	33.10. 1 ～ 42. 3.31	40. 4. 1～ 42. 3.31
加 藤 俊 治	34. 4. 1 ～ 38. 4.30	
都 築 義 幸	35. 4. 1 ～ 38. 4.30	
大 島 徳 松	38. 5. 1 ～ 42. 3.31	
平 岩 信 三	39.10. 1 ～ 42. 3.31	

2 教育委員会の沿革

西 暦	年号	主 な で き ご と
1952	昭和27	・市町村教育委員会が11月1日に発足 ・第5回市民体育大会開催 ・安城幼稚園開園（公立で初めて）
1953	28	・青年大学開設
1954	29	・山崎延吉翁死去 ・錦町小学校開校
1955	30	・旧依佐美村の3町と合併 ・旧明治村の6町と合併
1958	33	・第13回国民体育大会ソフトボール競技で倉敷紡績と安城学園チーム優勝「ソフトボール安城」の名を高める
1959	34	・安城西中学校開校（初めての鉄筋校舎）
1960	35	・岡崎市の一部を合併 ・桜井小学校開校 ・市営錦町プールオープン ・第1回市民芸術祭開催（安城文化協会）
1961	36	・安祥城跡など14件を市文化財に指定 ・志貴小学校開校 ・全小学校が完全給食となる
1964	39	・オリンピック聖火リレー安城通過 ・科学賞作品展開始
1965	40	・明和小学校新校舎完成 ・南部給食調理場開設（東端町）
1966	41	・新市役所庁舎（現在の本庁舎）完成 ・安城北部幼稚園開園 ・陸上競技場オープン ・名大農学部移転（跡地は現在の総合運動公園）
1967	42	・旧桜井町全町合併 ・図書館、青年の家開館 ・移動図書館「みのり号」スタート
1968	43	・北部給食調理場開設（新田町） ・第1回新春矢作川マラソン大会開催（現在の安城シティマラソン）
1969	44	・作野小学校開校 ・野球場オープン ・さくの幼稚園開園 ・奨学金支給制度開始
1970	45	・野球場Aコートに夜間照明施設設置 ・安城市史刊行
1971	46	・祥南小学校開校 ・丈山小学校開校（泉、城ヶ入小合併） ・中部給食調理場開設（福釜町）
1972	47	・作手高原野外センターオープン（南設楽郡作手村・現新城市） ・市民会館開館 ・幼稚園給食実施 ・市民憲章制定 ・安城公園内に「文学の散歩道」設置
1973	48	・二本木小学校開校 ・婦人会館開館

西 暦	年号	主 な で き ご と
1974	49	・中部小学校区内に初の交通少年団が誕生 ・栄養士県費負担職員となる ・勤労青少年体育センターオープン ・図書館増築
1975	50	・東山中学校開校 ・米飯給食開始 ・学校施設開放開始
1976	51	・県立安城東高等学校開校
1977	52	・南部給食調理場移転開設（和泉町） ・保育園給食全園開始 ・婦人会館増築
1978	53	・市営秋葉プールオープン（秋葉公園内） ・子ども運動広場設置開始 ・県立養護学校開校
1979	54	・里町小学校開校 ・体育館オープン ・東栄幼稚園開園 ・安祥閣オープン ・青少年愛護センターオープン ・国際児童年を記念して子どもまつり開催 ・県立安城高等学校赤松町に移転新設
1980	55	・桜町小学校開校 ・教育研究所開設 ・桜井公民館開館 ・相撲場オープン ・農村環境改善センターオープン ・第1回安城選手権大会開催
1981	56	・桜林小学校開校 ・安祥中学校開校 ・文化センター（中央公民館・プラネタリウム併設）オープン
1982	57	・新田小学校開校 ・米国ハンチントンビーチ市と姉妹都市提携 ・市民大学開校 ・青少年健全育成の都市宣言「青少年をすこやかにはぐくむ都市」 ・市制30周年記念安城子どもまつり開催 ・丈山小学校フラワー・ブラボー・コンクール文部大臣奨励賞受賞
1983	58	・篠目中学校開校 ・茶臼山高原野外センターオープン（長野県根羽村） ・姉妹都市中学生交換派遣事業（ハンチントンビーチ市）開始 ・北部公民館開館 ・青少年の家改築（旧青年の家） ・全国高校総合体育大会開催（バスケットボール） ・県立安城南高等学校開校 ・東部小学校第11回マーチングバンド全国大会バンドフロント賞受賞
1984	59	・国民体育大会第5回東海大会バスケットボール競技会開催
1985	60	・市役所北庁舎完成 ・西部公民館開館 ・陸上競技場メインスタンド改修（第2種公認陸上競技場となる） ・和泉公園運動広場オープン ・中央図書館開館（コンピューターシステム導入）

西 暦	年号	主 な で き ご と
1986	61	・今池小学校開校 ・科学賞作品展を「かがくのひろば」に名称変更 ・日中友好交歓体操競技安城大会開催 ・国際親善ジュニアサッカー大会開催
1987	62	・北部学校給食共同調理場移転開設（池浦町） ・総合運動公園野球場スタンドオープン ・市制35周年記念第20回バスケットボール日本リーグ安城大会開催 ・市制35周年記念日本女子ソフトボールリーグ1部安城大会開催 ・市制35周年記念安城子どもまつり開催 ・中央公民館優良公民館文部大臣表彰
1988	63	・新幹線三河安城駅開業 ・作野公民館開館 ・国民体育大会第9回東海大会バスケットボール競技会開催 ・第17回日本男子・女子ソフトボール選手権大会開催 ・豪州アルトナ市と姉妹都市提携 ・安城南部小学校第16回マーチングバンド・バトントワーリング「優秀賞」受賞 ・北部学校給食共同調理場優良施設文部大臣表彰
1989	平成 元	・姉妹都市中学生交換派遣事業（アルトナ市）開始 ・第49回国民体育大会安城市準備委員会設立 ・丈山小学校緑化推進運動内閣総理大臣表彰
1990	2	・安祥公民館開館 ・第19回男子・女子ソフトボール選手権大会開催 ・中央図書館と地区公民館の図書業務オンラインシステム導入
1991	3	・東部公民館開館 ・南部公民館開館 ・歴史博物館開館 ・英語指導助手（AET）招へい事業開始 ・第49回国民体育大会安城市実行委員会設立 ・日韓ジュニア交流競技会バスケットボール女子開催 ・第20回全日本総合男子・女子ソフトボール選手権大会開催
1992	4	・移動図書館「みのり号」運行廃止 ・桜井公民館改築 ・青年大学をユースカレッジに名称変更 ・市制40周年記念安城子どもまつり開催 ・桜井小学校全日本健康推進学校全国優秀校「すこやか大賞」受賞 ・志貴小学校学校給食優良学校文部大臣表彰
1993	5	・二本木公民館開館 ・第49回国民体育大会バスケットボール競技・ソフトボール競技リハーサル大会開催 ・桜井公民館優良公民館文部大臣表彰
1994	6	・教育センターオープン ・茶臼山高原野外センター浴室棟オープン ・第49回国民体育大会「わかしゃち国体」バスケットボール競技少年女子 ・ソフトボール競技少年女子開催 ・豪ホブソンス・ベイ市と姉妹都市提携
1995	7	・中部公民館開館 ・二本木小学校第8回全日本マーチングフェスティバル「グッドサウンド賞」受賞 ・安城西中学校中日教育賞受賞

西 暦	年号	主 な で き ご と
1996	8	・昭林公民館開館 ・総合運動公園テニスコートオープン ・丈山苑開苑 ・シルバーカレッジ開校 ・二本木小学校第9回全日本マーチングフェスティバル「グッドサウンド賞」受賞 ・作野小学校全国保健体育優良校表彰 ・東山中学校日本学生科学賞「内閣総理大臣賞」受賞
1997	9	・市制45周年記念安城子どもまつり開催 ・安城北中学校第10回毎日カップ中学校体力づくりコンテスト優良校表彰 ・作野小学校第25回マーチングバンド・バトントワーリング「優秀賞」受賞 ・今池小学校第28回博報賞「国際理解教育部門団体」受賞 ・安祥閣、農村環境改善センターの事務が教育委員会に委任される
1998	10	・総合運動公園多目的グラウンドオープン ・生涯学習推進計画策定 ・こども110番の家設置開始 ・東山中学校第40回創意工夫育成功労学校表彰「科学技術庁長官賞」受賞 ・北部公民館優良公民館文部大臣表彰
1999	11	・レジャープール（マーメイドパレス）オープン ・学校通訳開始（ポルトガル語） ・情報教育支援員派遣開始 ・安城南部小学校第12回全日本マーチングフェスティバル「優秀賞」受賞 ・二本木小学校第12回全日本マーチングフェスティバル「グッドサウンド賞」受賞
2000	12	・市営秋葉プール廃止 ・南部小学校第19回全日本小学校バンドフェスティバル「グッドサウンド賞」受賞
2001	13	・北部公民館かきたホールオープン ・スポーツセンター、ソフトボール場オープン ・安城東部小学校NHK全国短歌大会ジュニアの部「学校奨励賞」受賞 ・安城西中学校農林漁業関係者の協力を得て進める学校・地域の体験学習「農林水産大臣賞」受賞
2002	14	・三河安城小学校開校 ・市制50周年記念安城市民博覧会開催（ふれあいゾーンで子どもまつりを開催） ・南部公民館優良公民館文部大臣表彰
2003	15	・校舎改築（桜町小） ・校舎増改築（安城西中） ・市民ギャラリー・埋蔵文化財センターオープン ・小学校1年生で少人数学級開始 ・第2次生涯学習推進計画策定 ・新編安城市史刊行開始（～2008年）
2004	16	・大規模改修（桜町小） ・小学校2年生で少人数学級開始

西 暦	年号	主 な で き ご と
2005	17	・ 小学校門扉設置開始 ・ 中学校1年生で少人数学級開始 ・ 学校間ネットワーク運用開始 ・ スポーツ振興計画策定 ・ 市民会館の事務が教育委員会に委任される ・ 丈山小学校フラワー・ブラボー・コンクール（FBC） ・ 秋花壇「農林水産大臣賞」受賞 ・ 里町小学校全国健康推進学校表彰最優秀賞 ・ 明祥中学校第6回環境美化教育委員会「最優秀校（環境大臣賞）」受賞
2006	18	・ 梨の里小学校開校 ・ スクールヘルパー事業開始 ・ 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業（スクールガード）開始 ・ 特別支援教育相談・就学指導相談開始 ・ 肢体不自由学級新設（三河安城小） ・ 「かがくのひろば」環境賞新設 ・ 第1回安祥文化のさとまつり開催 ・ 子ども読書活動推進計画策定 ・ レジャープール（マーメイドパレス）・安祥閣・丈山苑の運営管理を指定管理者に委託
2007	19	・ 南部調理場移転開設（和泉町） ・ 小学校における英語活動等国际理解推進事業実施（新田小） ・ 全国学力・学習状況調査参加開始 ・ 生涯学習情報誌「あんてな」発刊 ・ 市制55周年記念安城子どもまつり開催 ・ 市民体育大会を市民地域スポーツ交流会に変更 ・ 丈山小学校フラワー・ブラボー・コンクール（FBC） ・ 春花壇「国土交通大臣賞」受賞
2008	20	・ 桜井小学校移転開校 ・ 少人数学級編制に係る市費負担教員の任用等に関する条例制定 ・ 学校通訳にタガログ語追加 ・ デンマークコリング市と姉妹都市提携 ・ 中部調理場を幼児食専用調理場とする ・ 体育協会NPO法人（特定非営利活動法人）法人格取得 ・ 幼稚園の事務を保健福祉部子ども課（現：こども健康部保育課）へ補助執行 ・ 作野小学校第36回マーチング・バトントワーリング全国大会「金賞」受賞
2009	21	・ 校舎増改築（安城南中） ・ 格技棟・技術科棟改築（安城西中） ・ 中部調理場改築 ・ 小学校校内LAN設置完了 ・ 放課後子ども教室開始（梨の里小） ・ 北部コミュニティ会議発足 ・ 第37回マーチングバンド・バトントワーリング全国大会「金賞」受賞（安城北部小、作野小） ・ 作野小学校愛知県教育文化奨励賞受賞（マーチングバンド） ・ 二本木小学校読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰

西 暦	年号	主 な で き ご と
2010	22	・校舎増築・校地拡張・太陽光発電設備設置（里町小） ・校舎増築・太陽光発電設備設置（安城西中、篠目中） ・格技棟・技術科棟改築（安城南中） ・格技棟改築（安城北中、明祥中） ・桜井中愛知県健康推進学校特別優秀校 ・作野小学校第38回マーチングバンド・バトントワーリング全国大会「金賞」受賞
2011	23	・校舎増築（作野小） ・小学校フェンス設置完了 ・小学校3年生で少人数学級開始 ・作野小学校第39回マーチングバンド・バトントワーリング全国大会「金賞」受賞 ・作野小学校第30回全日本小学校バンドフェスティバル「金賞」受賞
2012	24	・普通教室・特別支援教室扇風機設置（全小中学校） ・全校に特別支援学級の設置を完了 ・市制60周年記念「安城子どもまつり」開催 ・市制60周年記念「新美南吉絵本大賞」全国公募 ・作野小学校第40回マーチングバンド・カラーガード全国大会「金賞」受賞 ・作野小学校第31回全日本小学校バンドフェスティバル「銅賞」受賞 ・中央図書館読み聞かせボランティア「紙芝居の会」文部科学大臣表彰
2013	25	・小中学校施設耐震化完了 ・各中学校区に学校司書配置 ・第50回安城市小中学生科学賞「かがくのひろば」開催 ・安城版ブックスタート事業開始 ・梨の里小学校全国学校体育研究最優秀校（文部科学大臣賞）受賞 ・作野小学校愛知県教育文化奨励賞受賞（マーチングバンド） ・作野小学校第41回マーチングバンド・カラーガード全国大会「金賞」受賞
2014	26	・屋内運動場非構造部材耐震化（安城西部小、錦町小、桜井小、三河安城小、梨の里小） ・中央図書館子どもの読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰
2015	27	・教育委員会事務室を教育センターへ移転 ・屋内運動場非構造部材耐震化（安城西部小、安城北部小、錦町小、桜井小、三河安城小、梨の里小以外の小学校15校、全中学校） ・体育館改築（安城北部小） ・小中学校へタブレットパソコン設置（～2016年） ・学校給食協会を一般財団法人に法人化 ・市民会館大規模改修 ・市民会館の運営管理を指定管理者に委託
2016	28	・校舎増築（賃貸借 丈山小6教室） ・小学校4年生で少人数学級開始 ・スクールアシスタント制度開始 ・歴史博物館ほか3施設（市民ギャラリー・埋蔵文化財センター・安祥城址公園）の運営管理の一部を指定管理者に委託 ・明祥プラザオープン ・図書館事務を市民生活部へ補助執行

西 暦	年号	主 な で き ご と
2017	29	・校舎増築（丈山小職員室） ・第3子以降給食費無料化を開始 ・日本語初期指導教室設置（祥南小、二本木小） ・通級指導教室を里町小学校に増設 ・図書館教育アドバイザーを設置 ・一般財団法人学校給食協会を公益財団法人に変更 ・アンフォーレ（図書情報館）オープン【中央図書館閉館】 ・アンフォーレ課による学校図書配送業務開始
2018	30	・学校教育プラン2028策定 ・校舎増築（桜井小6教室） ・地震対策としてブロック塀等を改修 -プールブロック塀（安城東部小、明和小、安城北中、東山中） -正門石積（明和小） ・サルビア学園の給食を自校調理方式からセンター給食方式に変更 ・小中学校の自然教室実施期間を1日短縮（短縮により県条例上「自然教室」から「野外旅行」へ） ・文化センターリニューアルオープン ・困難を抱える若者相談開始（青少年の家） ・市体育館、ソフトボール場A球場リニューアルオープン
2019	令和元	・成人式を市体育館で開催（前年まで：デンパーク） ・普通教室・特別教室ほかに空調機を設置（全小中学校） ・地震対策としてブロック塀等を改修：正門石積（安祥中） ・学校施設長寿命化計画策定（全小中学校） ・若者支援地域協議会、青少年愛護センター若者相談窓口を設置（青少年の家） ・レジャープールリニューアルオープン ・秋葉公園テニスコート管理業務を環境都市推進課からスポーツ課へ移管 ・幼稚園2園（安城、さくの）を廃止し、同施設において幼保連携型認定こども園を新設 ・ネーミングライツパートナー開始【東祥アリーナ安城（安城市体育館）、デンソーブライトペガサススタジアム（ソフトボール場）】
2020	2	・新型コロナウイルス感染症の影響による4～5月一部休校のため夏休み短縮 ・スポーツセンターリニューアルオープン ・ふれあい学級の北教室を北部福祉センターに、南教室を明祥プラザに増設 ・不登校児童生徒支援アドバイザーをつながりディレクターに改め2名に増員 ・通級指導教室本務校を安城北部小学校に増設 ・ネーミングライツパートナー開始【へきしんギャラクシープラザ（安城市文化センター）】 ・市内小中学校全児童生徒にタブレット端末を貸与 ・大学生緊急奨学支援金事業開始（～2022年）
2021	3	・北部調理場移転開設（新田町） ・つながりディレクターを3名に増員 ・ICT活用アドバイザーを設置 ・各小中学校にスクールサポートスタッフを配置 ・通級指導教室本務校を安城西中学校に増設 ・校舎増築（錦町小） ・丈山小学校リース校舎買い取り ・幼稚園2園（北部、東栄）を廃止し、同施設において幼保連携型認定こども園を新設 ・幼保連携型認定こども園4園（安城、北部、東栄、さくの）をこども未来事業団へ移行

西 暦	年号	主 な で き ご と
2022	4	・アレルギー対応食「卵」除去食の提供開始（北部調理場所管校） ・つながりディレクターを、つながりディレクター兼SSWに改め4名に増員 ・教育センター臨床心理士を7名に増員 ・関係小学校にスクールアシスタント（介助員）を配置 ・通級指導教室本務校を東山中学校に増設 ・保育園5園（城ヶ入、東部、高棚、えのき、三ツ川）を廃止し、同施設において幼保連携型認定こども園を新設
2023	5	・つながりディレクター兼SSWを、SSWに改め2名配置し6名に増員 ・市費非常勤養護教諭を配置（小学校5校、中学校3校） ・自然教室緊急時生徒運転業務員を小学校へも配置 ・通級指導教室本務校を梨の里小学校に増設 ・高速カラー印刷機を市内2校へ導入 ・成人式を「二十歳を祝う会」に名称変更 ・アレルギー対応食「乳」除去食の提供開始（北部調理場所管校） ・給食費の無償化事業開始
2024	6	・SSWを新たに1名配置し、7名に増員 ・学校運営補助教員（市費常勤講師）を小学校5校に各1名配置 ・通級指導教室本務校を錦町小学校に増設 ・アレルギー対応食「卵」「乳」除去食の提供開始（南部調理場所管校） ・コミュニティ・スクールモデル校（桜井中、東山中）に準備委員会を設置
2025	7	・教育振興部から教育部へ部名変更 ・屋内運動場及び武道場に空調機を設置（全中学校） ・SSWを新たに2名配置し、9名に増員 ・学校運営補助教員（市費常勤講師）を小学校4校に各1名配置 ・通級指導教室本務校を安城中部小学校に増設 ・桜井中と東山中に、コミュニティ・スクールを導入 ・桜井中学校令和7年度学校給食優良学校文部科学大臣表彰 ・市内小中学校全児童生徒のタブレット端末を更新 ・近代五種アジア選手権大会開催
2026 (予定を含む)	8	・安城市ソフトボール場A面リニューアルオープン ・第20回アジア競技大会開催（近代五種、女子ソフトボール） ・安城北部小、桜林小、安城南中にコミュニティ・スクールを導入 ・茶臼山高原野外センターを廃止 ・SSWを新たに3名配置し、12名に増員 ・学校運営補助教員（市費常勤講師）を小学校8校に各1名配置 ・通級指導教室本務校を祥南小学校に増設 ・校内教育支援センター支援員を全中学校に配置 ・休日の部活動を廃止 ・西部公民館第2駐車場用地買い取り

3 教育関係施設・休館日一覧

施設名	所在地	郵便番号	電話番号	FAX	開館時間	休館日
教育委員会事務局 総務課	横山町下毛賀知13番地1 (教育センター内)	446-0045	71-2253	77-0001		
北部調理場	新田町吉池71番地	446-0061	76-4700	77-1850		
中部調理場	福釜町笠松1番地	446-0052	71-1051	74-6784		
南部調理場	和泉町南梶25番地	444-1221	92-3669	92-5918		
・学校教育課	横山町下毛賀知13番地1	446-0045	71-2254	77-0001		
教育センター	同上	同上	75-1010	75-0201	AM 8:30～PM 7	
・生涯学習課	桜町17番11号 (文化センター内)	446-0041	76-1515	77-6065		
青少年の家	新田町池田上1番地	446-0061	76-3432	76-1131	AM 9～PM 10	○
市民会館	桜町18番28号	446-0041	75-1151	75-1152	AM 9～PM 9 (ホール以外は PM10まで延長可)	△
安祥閣	安城町馬池97番地1	446-0026	74-3333	74-3333	AM 9～PM 5	□
文化センター	桜町17番11号	446-0041	76-1515	77-6065	AM 9～PM 9	○
桜井公民館	桜井町大役田1番地1	444-1154	99-3313	99-5463	同上	
北部公民館	里町4丁目12番地4	446-0001	98-3751	98-8751	同上	
西部公民館	福釜町釜ヶ淵20番地1	446-0052	76-9393	77-6063	同上	
作野公民館	篠目町古林畔26番地	446-0073	74-3977	77-6061	同上	
安祥公民館	安城町城堀30番地	446-0026	77-5070	77-6062	同上	
東部公民館	大岡町源覚16番地	446-0017	77-7881	77-7883	同上	
明祥公民館	和泉町大下38番地1	444-1221	92-3521	92-5774	同上	
二本木公民館	三河安城本町1丁目13番地9	446-0059	77-8611	77-8974	同上	
中部公民館	新田町小山西83番地	446-0061	74-8570	74-8567	同上	
昭林公民館	安城町広美10番地1	446-0026	77-6688	72-0120	同上	
・スポーツ課	(体育館内)					
体育館	新田町新定山41番地8	446-0061	75-3535	77-9293	AM 9～PM 9	○
レジャープール (マーメイドパレス)	和泉町大下23番地1	444-1221	92-7351	92-7352	トレーニングルーム AM 10～PM 9 プール PM 1～PM 8(平日) AM 10～PM 8 (土・日・祝日・夏休み期間) ※6月～9月は PM 9まで	▽ (7月21日から 8月31日の月曜 日は閉館)
スポーツセンター	新田町新定41番地	446-0061	75-3545	75-3999	AM9～PM9 プール (平日 PM 1～PM 9) (土・日・祝日・夏休み AM 10～PM 9)	○
・図書情報館	御幸本町504番地1	446-0032	76-6111	77-6066	AM 9～PM 8 (土・日・祝日は AM 9～PM6)	※
・文化振興課	(歴史博物館内)					
歴史博物館	安城町城堀30番地	446-0026	77-6655	77-6600	AM 9～PM 5	▽
市民ギャラリー	同上	同上	77-6853	77-4491	同上	▽
埋蔵文化財センター	同上	同上	77-4490	同上	同上	▽
丈山苑	和泉町中本郷180番地1	444-1221	92-7780	92-7780	同上	▽
作手高原野外センター	新城市作手白鳥字本宮辻1番地4	441-1413	0536 37-2107	同左	5月～9月	年末年始
公益財団法人安城市学校給食協会	新田町吉池71番地	446-0061	75-2322	77-1850		

休館日 ※ 火曜日(国民の祝日のときは開館)、年末年始(12/29～1/4)
館内整理日(毎月第4金曜日、ただし祝日にあたる場合は開館)、特別図書整理期間(年に5日以内)
○ 月曜日(国民の祝日のときは開館)、年末年始(12/29～1/3)
□ 月曜日(国民の祝日のときは翌日)、年末年始(12/28～1/4)
△ 火曜日(国民の祝日のときは開館)、年末年始(12/29～1/3)
▽ 月曜日(国民の祝日のときは開館)、年末年始(12/28～1/4)

施 設 名	所 在 地	郵便番号	電話番号	F A X
(小学校・21校) 安城中部 小 学 校	安城市大東町 1 2 番 8 号	446-0065	75-2721	75-2722
安城南部 //	// 安城町城堀 4 8 番地	446-0026	76-2332	76-2639
安城西部 //	// 福釜町猿町 1 2 8 番地	446-0052	76-2303	76-2617
安城東部 //	// 大岡町前畑 7 2 番地 1	446-0017	76-2334	76-2478
安城北部 //	// 今本町 8 丁目 9 番地 9	446-0008	98-0825	98-0826
錦 町 //	// 錦町 9 番 3 9 号	446-0035	75-2725	75-2726
高 棚 //	// 高棚町蛭田 4 4 番地	446-0053	92-0593	92-3676
明 和 //	// 東端町明和 6 6 番地	444-1213	41-1244	41-1274
志 貴 //	// 柿碕町御用地 4 5 番地	446-0003	97-8202	97-8684
桜 井 //	// 小川町清水道 6 番地 1	444-1162	99-2201	99-2202
作 野 //	// 篠目町 4 丁目 2 2 番地 1	446-0073	76-6056	76-6044
祥 南 //	// 安城町庚申 1 1 番地	446-0026	76-8773	76-7409
丈 山 //	// 和泉町南本郷 1 番地	444-1221	92-0024	92-3689
二 本 木 //	// 緑町 1 丁目 2 3 番地 1	446-0055	76-4449	76-4407
里 町 //	// 里町足取 1 番地 5	446-0001	98-5900	98-5901
桜 町 //	// 桜町 1 5 番 5 号	446-0041	75-3003	75-3004
桜 林 //	// 桜井町中狭間 3 5 番地 1	444-1154	99-3777	99-3778
新 田 //	// 新田町新栄 1 0 0 番地	446-0061	76-1488	76-1489
今 池 //	// 今池町 2 丁目 1 番 5 2 号	446-0071	98-3033	98-3025
三河安城 //	// 箕輪町昭和 4 7 番地	446-0051	71-3250	72-2776
梨 の 里 //	// 篠目町溝川 3 8 番地	446-0073	71-3345	74-5251
(中学校・8校) 安 城 南 中 学 校	// 城南町 2 丁目 7 番地 2	446-0043	75-3531	75-3592
安 城 北 //	// 新田町小山西 1 8 番地	446-0061	75-3525	75-3590
明 祥 //	// 東端町住吉 1 番地 1 2	444-1213	92-0019	92-3777
安 城 西 //	// 福釜町中根 4 3 番地	446-0052	76-2320	76-2420
桜 井 //	// 小川町の場丘 1 番地 1	444-1162	99-0028	99-0097
東 山 //	// 里町東山 1 番地	446-0001	98-1531	98-4686
安 祥 //	// 安城町天草 2 3 番地	446-0026	76-7811	76-7812
篠 目 //	// 篠目町竜田 1 5 1 番地	446-0073	76-1777	76-1778


~~~~~  
令和8年8月発行          100部

令和8年度

## 安 城 市 の 教 育

編集・発行    安城市教育委員会  
〒446-0045  
安城市横山町下毛賀知13番地1  
電話（0566）71-2253  
FAX（0566）77-0001